HITACHI

日立カラーページプリンタ

BEAMSTAR-PriusLaser3500N

PC-PK3500N 用
Microsoft® Windows®対応
日本語 PostScript®プリンタドライバ
取扱説明書

製品を使用する前に、取扱説明をよく読み，十分理解してください。

PK3500NDRVPSWJ-010

重要なお知らせ

この取扱説明書は、次の条件でご使用下さいますようお願い申し上げます。

(1) 自己の業務の目的範囲内で使用すること。

(2) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

(3) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。

(4) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気づきのことがございましたら、お買い求め先へご一報下さいますようお願いいたします。

(5) 本製品を運用した結果については、前項にかかわらず、責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows NT は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript 3、PostScript ロゴ、Adobe Type Manager は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。
- TrueType は、米国 Apple Computer, Inc.の商品名称です。
- 平成明朝体、平成角ゴシック体は（財）日本規格協会　文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

その他の社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。日立製作所は他社商品に関しては、一切の責任を負いません。

略称について

本書では、以下の略称を使用しています。

- Microsoft®Windows®Operating System 95 日本語版を Windows95 と表記しています。
- Microsoft®Windows®Operating System 98 日本語版を Windows98 と表記しています。
- Microsoft®Windows® Operating System Millennium Edition 日本語版を WindowsMe と表記しています。
- Microsoft® Windows NT® Workstation Operating System Version 4.0 日本語版およびMicrosoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0 日本語版を Windows NT 4.0 と表記しています。
- Microsoft® Windows® Operating System 2000 日本語版を Windows 2000 と表記しています。
- Microsoft® Windows® Operating System XP 日本語版を Windows XP と表記しています。

版権についてのお知らせ

はじめに

本取扱説明書は、PC-PK3500N 添付の PC-PK3500N 用 Microsoft® Windows®対応日本語 PostScript®プリンタドライバの使用方法、使用上の注意事項を説明しております。本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。
なお、本プリンタ装置のハードウェア取扱説明書もあわせてご覧下さい。

お問い合わせ先

HITAC カスタマ・アンサ・センタ
電話 0120-2580-12

本センタは、コンピュータをもっと使いこなしていただくための相談窓口です。製品の技術的なお問い合わせの回答をいたします。
明らかにハードウェア障害と思われる内容につきましては、お買い求め先または保守会社にご連絡下さい。

受付時間

月曜日 ～ 金曜日 9:00 ～ 17:00

インターネットをご使用可能なお客様は、以下のアドレスからも受け付けております。ご利用下さい。

http://www.hitachi.co.jp/beamstar/

お願い

電話での対応の時に、FAXでお願いすることもあります。技術的なお問い合わせとは、製品仕様（機能内容）や操作方法などをいいます。ただし、各言語によるユーザプログラムの技術支援は除きます。

目次

目次

目次

第１章

システム環境

第１章　システム環境

本プリンタドライバは以下のシステム環境でご利用になれます。ただし、オペレーティングシステム以外の下記のハードウエアは、搭載するアプリケーションにより、これらの条件は異なりますので参考値としてお考えください。

オペレーティング システム ＊１	Windows95 日本語版 Windows 98 日本語版 WindowsMe 日本語版 WindowsNT Workstation4.0 日本語版 WindowsNT Server4.0 日本語版 Windows2000 Professional 日本語版 Windows2000 Server 日本語版 WindowsXP Home Edition 日本語版 WindowsXP Professional 日本語版
マイクロプロセッサ ＊２	Pentium®(133MHz)以上 (Pentium®(200MHz)上を推奨)
メモリ容量	32MB 以上(64MB 以上を推奨)(Windows95/98/Me/NT) 64MB 以上(128MB 以上を推奨)(Windows2000/XP)
ハードディスク空き容量 *3	100MB 以上(300MB 以上を推奨)
ディスプレイ	VGA(640×480ﾄﾞｯﾄ)以上の解像度 256 色以上(65536 色以上を推奨)

*1 本プリンタドライバは、オペレーティングシステムにのみ依存するため、ハードウエアの限定はいたしません。

*2 WindowsNT、Windows2000、WindowsXP プリンタドライバは X86 系 CPU のみご使用できます。

*3 WindowsNT、Windows2000 または WindowsXP の lpr 機能で印刷する場合、スプールにジョブのデータを溜めてから印刷します。大量印刷する場合は空き容量が十分にあることを確認して印刷願います。

第２章

インストール

第２章　インストール

アプリケーションソフトから印刷するには、お使いのコンピュータにあらかじめプリンタドライバを組み込んでおく必要があります。以下の手順でインストールを行ってください。

- WindowsNT4.0、Windows2000 または WindowsXP でプリンタドライバの組み込みを行うためには、アドミニストレータの権限が必要です。

1．プラグアンドプレイによる自動インストール

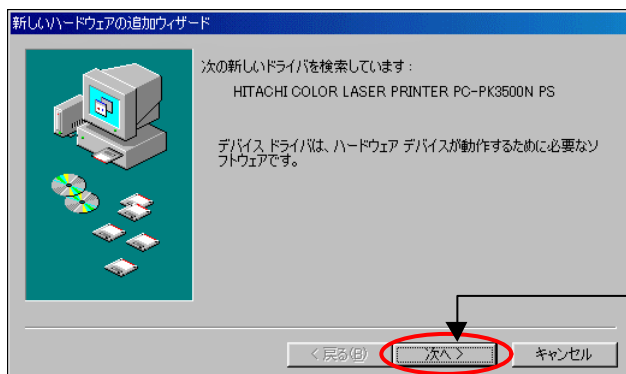
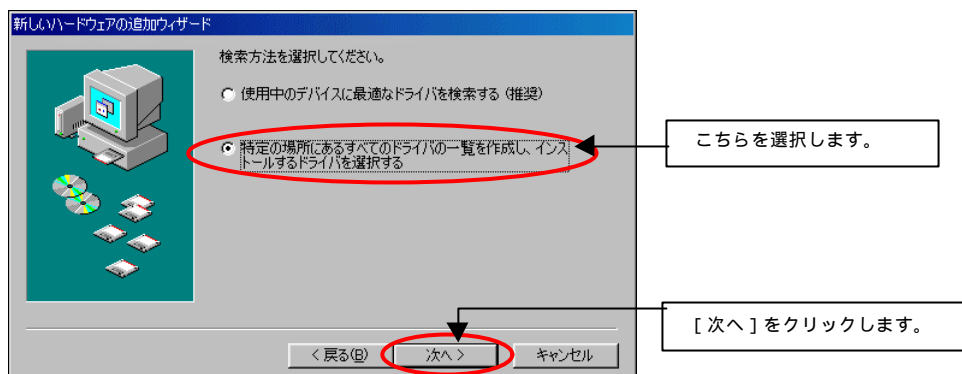
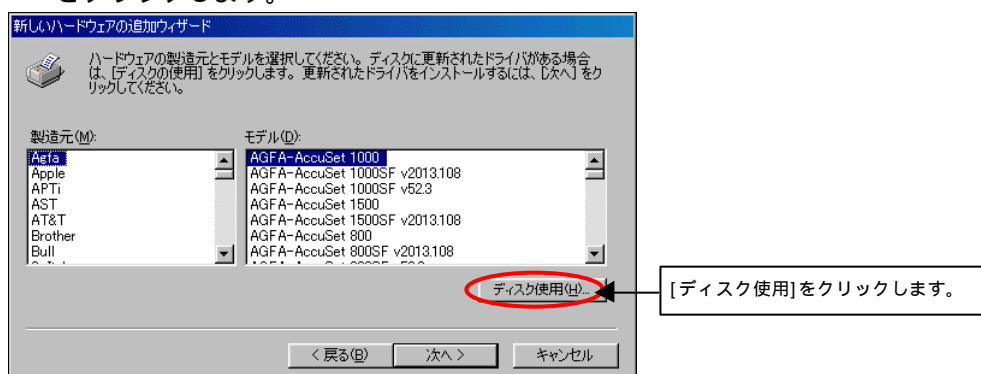
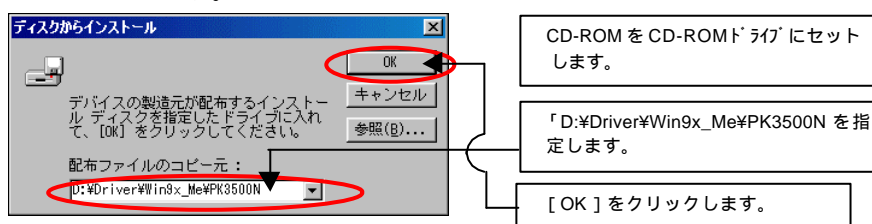
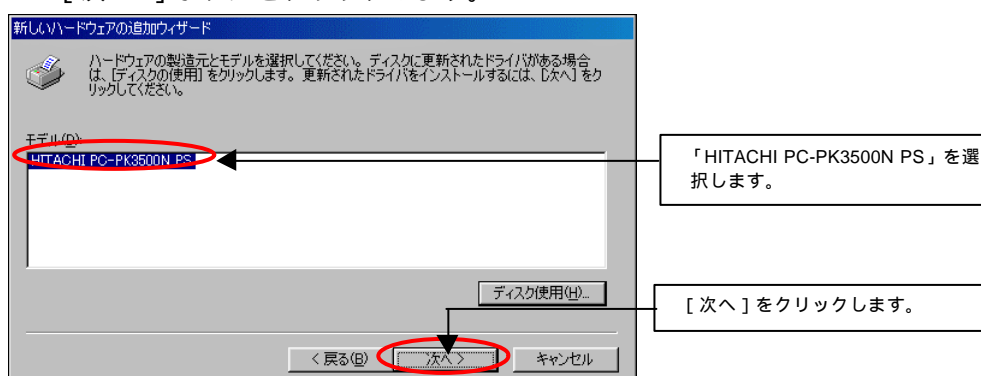
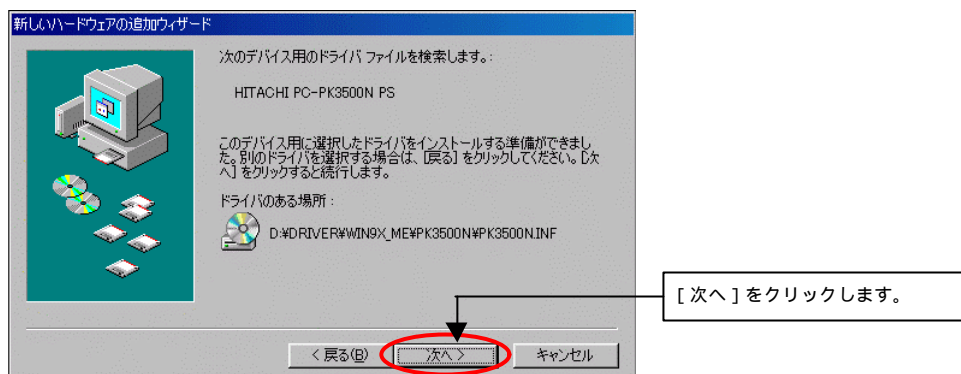
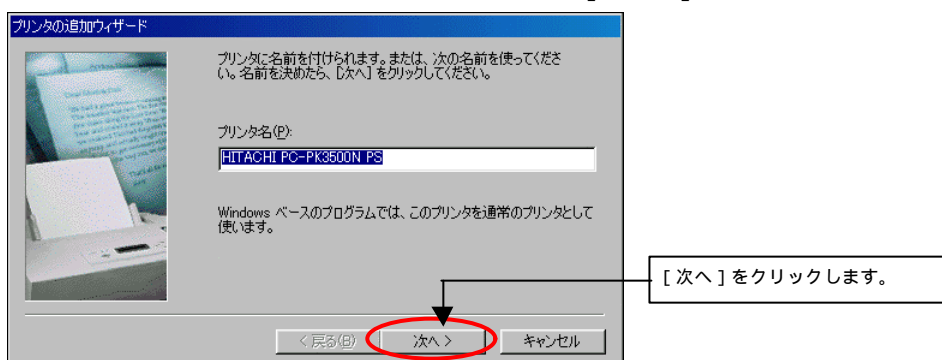
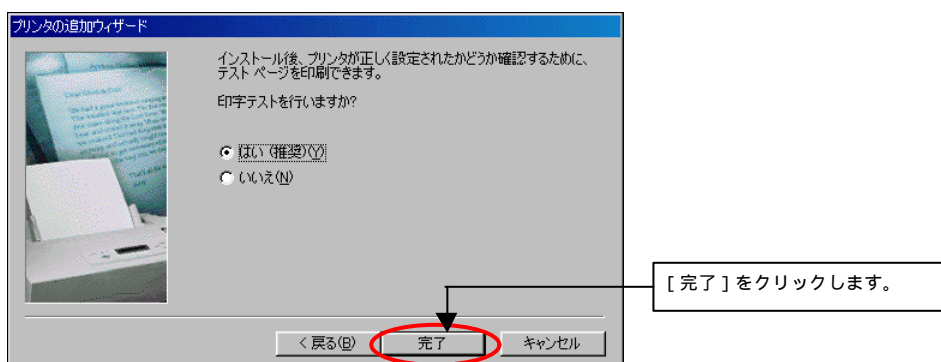
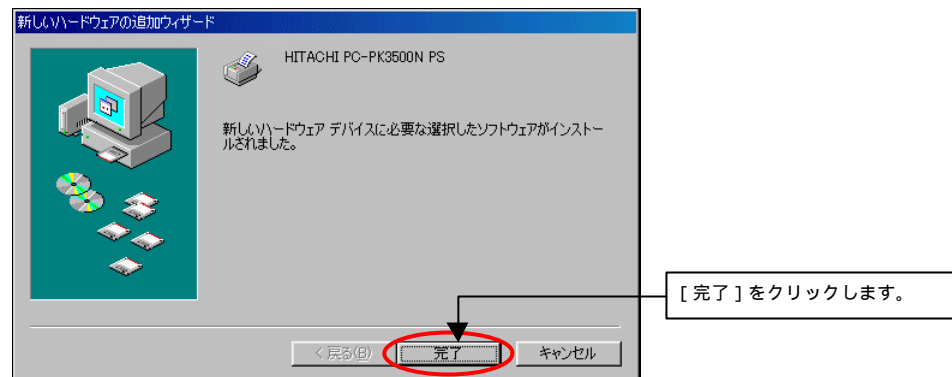
お使いの環境によっては、プリンタを接続して最初に Windows95/98/Me/ 2000/XP を起動すると、自動的にプリンタの機種を判別してインストール作業が開始されます。

- Windows95/98/Me/2000/XP を起動したときにプラグアンドプレイの起動がかからない場合や［デバイスドライバウィザード］ダイアログボックスが表示された場合、［キャンセル］ボタンをクリックし、「2．自動セットアップによるインストール」（P.14）または「3．プリンタアイコンからインストール」(P.19)を行ってください。
- インストールをする前に、必ず使用許諾書をよくお読みになり、その内容に同意したうえで、インストールを行って下さい。
- ネットワーク接続をする場合は、ネットワークマニュアルの第２章「設定方法」を参照して下さい。

1.1 Windows95/98 の場合

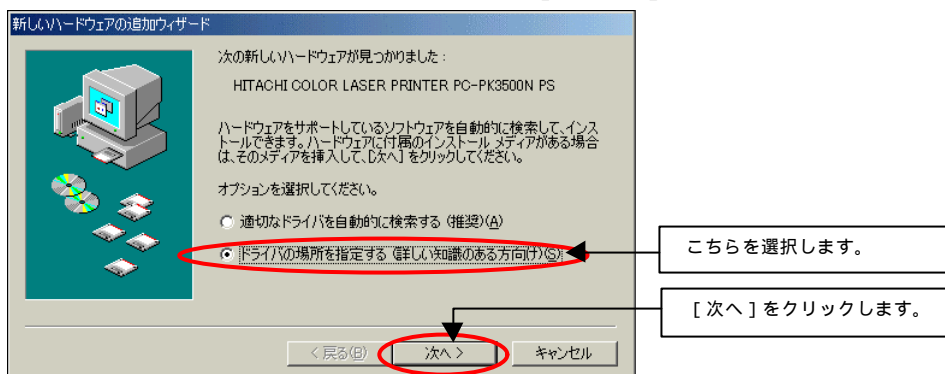
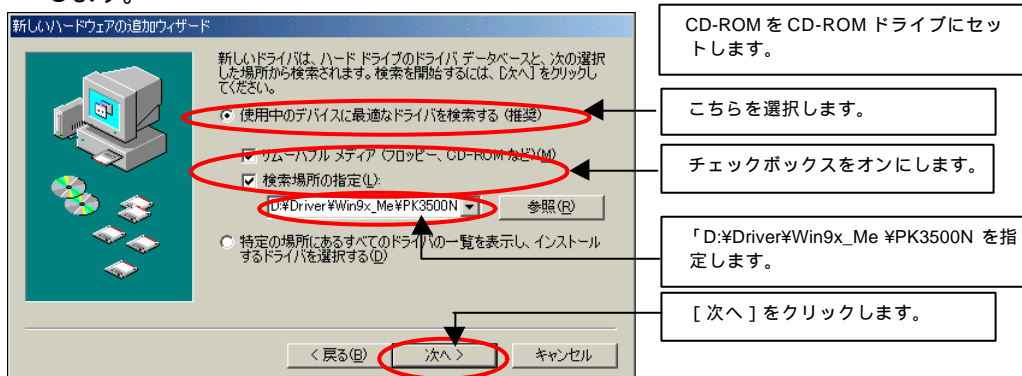
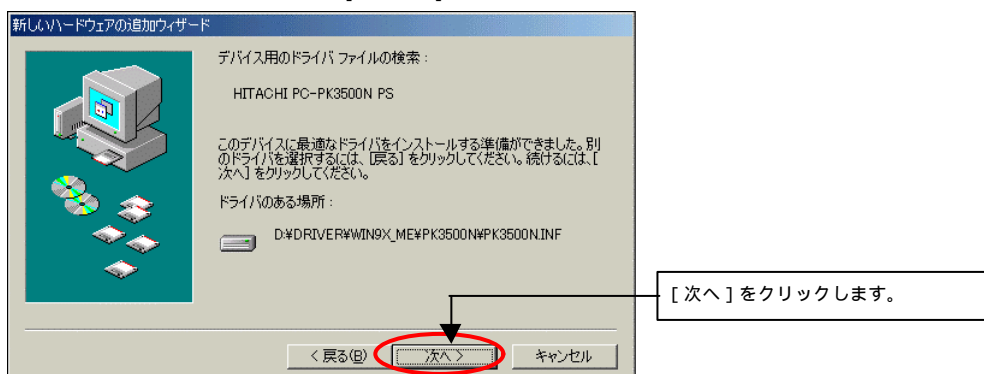
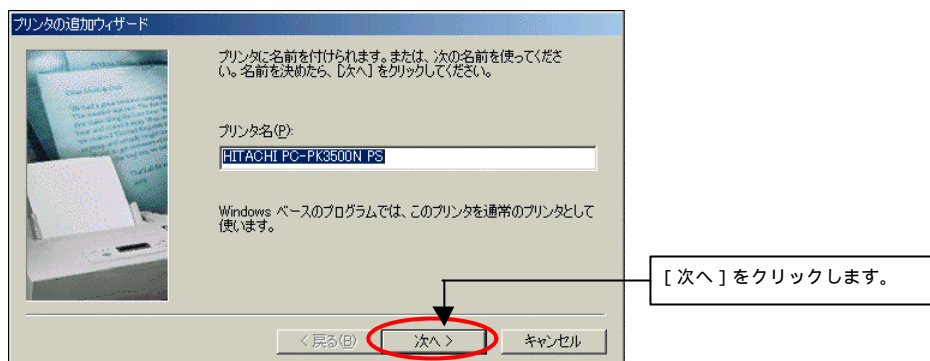
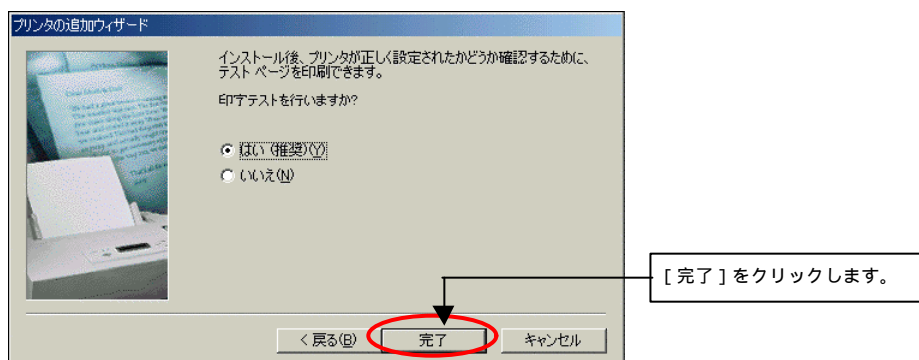
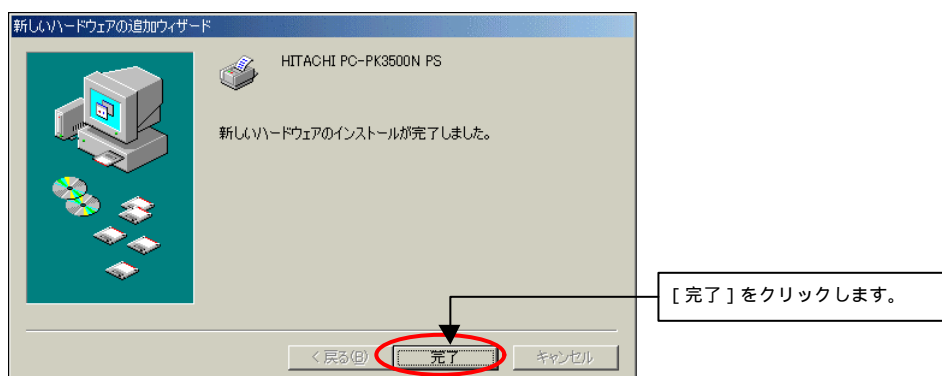
オペレーティングシステムのバージョン等により手順が異なる場合があります。その場合、画面の指示に従いインストール願います。ここでは、Windows98 Second Edition を使って説明します。

インストール手順

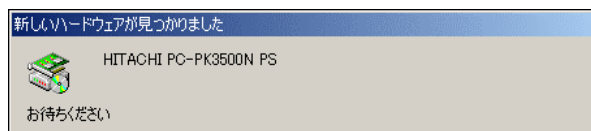
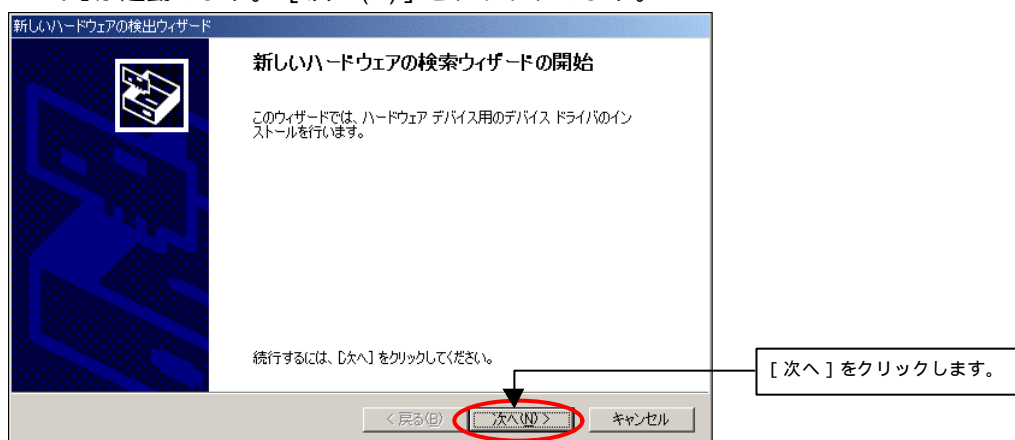
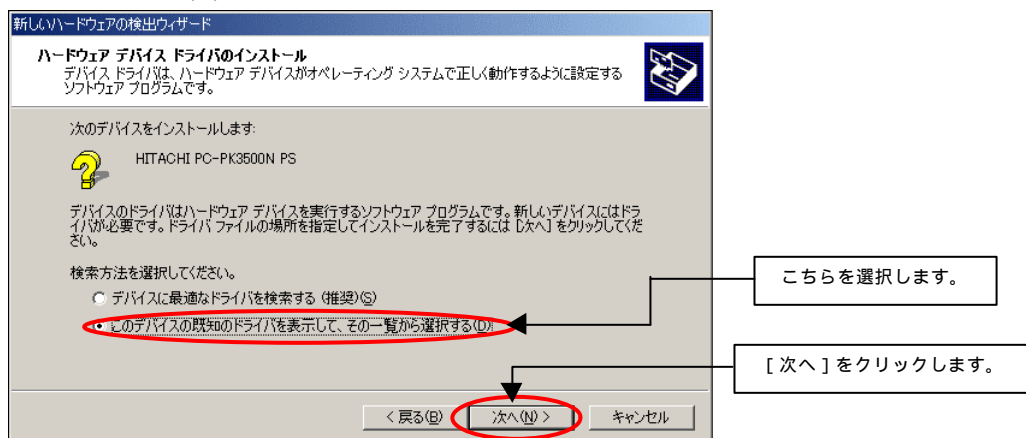
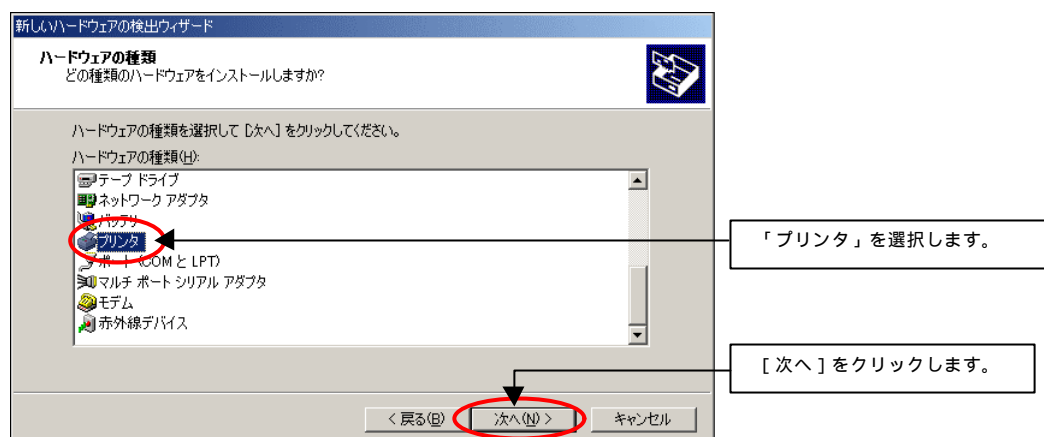
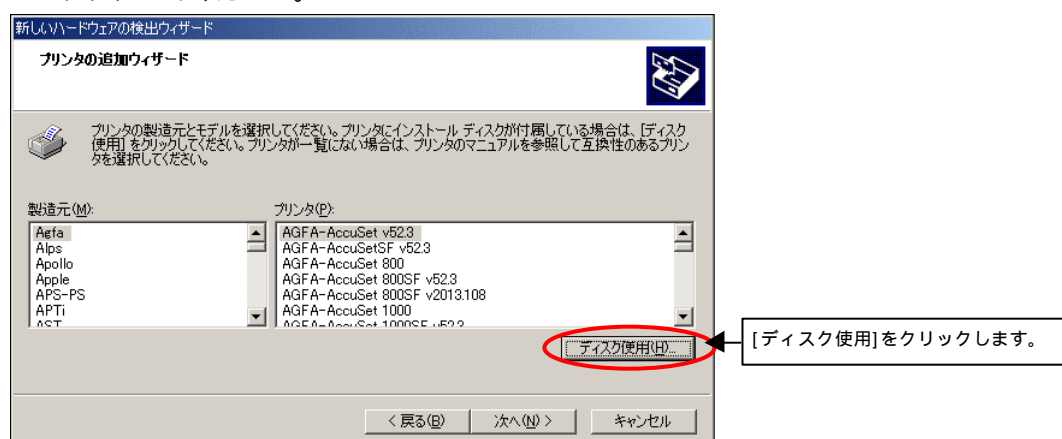
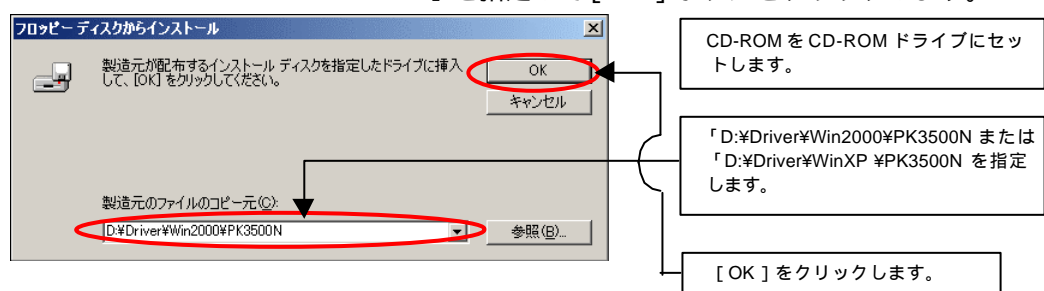
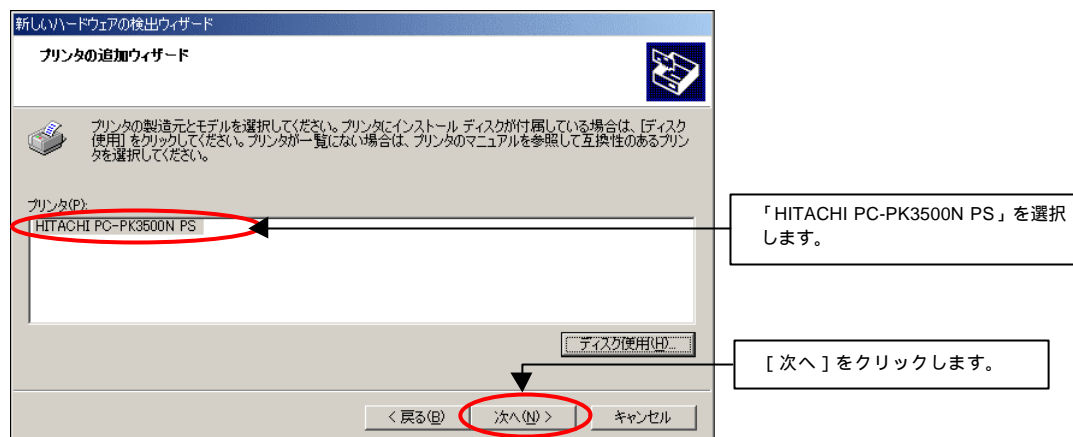
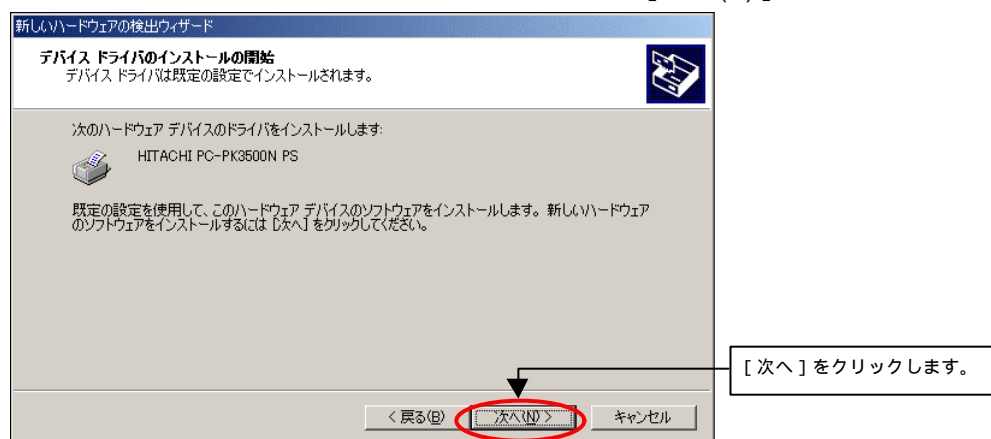
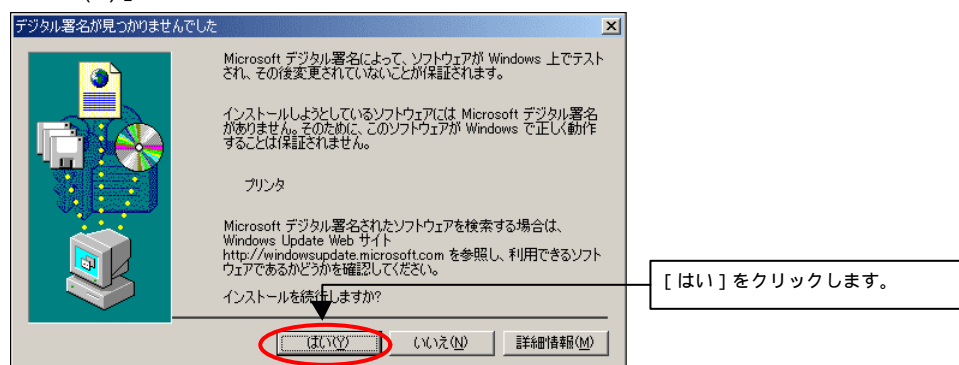
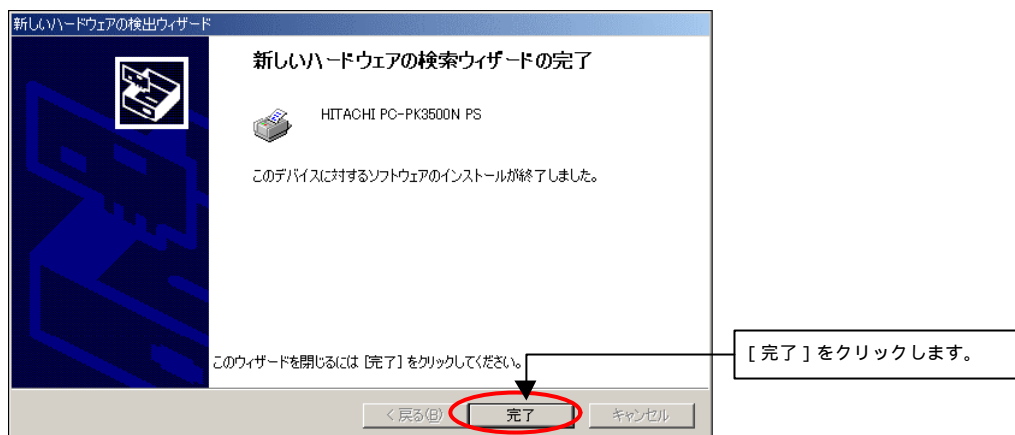
1. ハードウェア取扱説明書をご参照のうえ、パソコンとプリンタをパラレルインターフェース接続（プリンタケーブル接続）します。
2. プリンタの電源を入れてから Windows95/98 を起動すると Windows95/98 が新しいハードウェアを検出して以下の画面が表示されます。
   ［次へ>］ボタンをクリックします。

3. ドライバの検索方法を選択します。「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。

4. インストールするプリンタドライバを選択します。［ディスク使用(H)］ボタンをクリックします。

5. 「ﾃﾞｨｽｸからｲﾝｽﾄｰﾙ」ウィンドウが表示されましたら、本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブ（ここではＤドライブ=CD-ROM ドライブ）にセットし、「D:¥Driver¥Win9x_Me¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。

6. 「ﾓﾃﾞﾙ(L)」で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、［次へ>］ボタンをクリックします。

7. ドライバのある場所が「D:¥DRIVER¥WIN9X_ME¥PK3500N¥3500NPSJ.INF」であることを確認して、［次へ>］ボタンをクリックします。

8. プリンタ名を入力します。特に必要のない限り、初期値である「HITACHI PC-PK3500N PS」のままご使用下さい。入力後［次へ>］ボタンをクリックします。

9. 「印字テストを行いますか？」に対して、「はい」または「いいえ」を選択して［完了］ボタンをクリックします。（「はい」を選択すると、ドライバの情報が記述されたテストページが印刷されます。）ファイルのコピーが始まります。

10. **インストールが終了しました。［完了］ボタンをクリックして、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を終了してください。**

1.2 Windows Me の場合

インストール手順

1. ハードウェア取扱説明書をご参照のうえ、パソコンとプリンタをパラレルインターフェース接続（プリンタケーブル接続）します。

2. プリンタの電源を入れてから Windows Me を起動すると Windows Me が新しいハードウェアを検出して以下の画面が表示されます。
「ﾄﾞﾗｲﾊﾞの場所を指定する」を選択して［次へ >］ボタンをクリックします。

3. 以下の画面が表示されましたら、本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブ（ここではＤドライブ=CD-ROM ドライブ）にセットします。「使用中のﾃﾞﾊﾞｲｽに適切なﾄﾞﾗｲﾊﾞを検出する」を選択し､｢ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙﾒﾃﾞｨｱ｣､｢検索場所の指定｣のチェックボックスをチェックし､検索場所の指定を「D:¥Driver¥Win9x_Me ¥PK3500N」と指定して［次へ>］ボタンをクリックします。

4. デバイス用のドライバファイルの検索で「HITACHI PC-PK3500N PS」が表示されているのを確認し、[次へ >]ボタンをクリックします。

5. プリンタ名を入力します。特に必要のない限り、初期値である「HITACHI PC-PK3500N PS」のままご使用下さい。［次へ>］ボタンをクリックします。

6. 「印字テストを行いますか？」に対して、「はい」または「いいえ」を選択して［完了］ボタンをクリックします。（「はい」を選択すると、ドライバの情報が記述されたテストページが印刷されます。）ファイルのコピーが始まります。

7. インストールが終了しました。［完了］ボタンをクリックして、「新しいハードウェアの追加ウィザード」を終了してください。

1.3 Windows2000/XP の場合

インストール手順

1. ハードウェア取扱説明書をご参照のうえ、パソコンとプリンタをパラレルインタフェース接続（プリンタケーブル接続）します。
2. プリンタの電源を入れてから Windows2000 または WindowsXP を起動すると新しいハードウェアを検出して以下の画面が表示されます。

3. プリンタドライバのセットアップを行う「新しいハードウェアの検出ウィザード」が起動します。［次へ(N)］をクリックします。

4. ハードウェア デバイス ドライバのインストール画面が表示されましたら、「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する(D)」を選択して、［次へ(N)］をクリックします。

5. ハードウェアの種類の中から「プリンタ」を選択して、［次へ(N)］をクリックします。

6. プリンタの追加ウィザード画面が表示されましたら、［ディスク使用(H)］をクリックしてください。

7. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブ（ここでは D ドライブ＝CD-ROM ドライブ）にセットし、Windows2000 をご使用の場合は「D:¥Driver¥Win2000¥PK3500N」、WindowsXP をご使用の場合は「D:¥Driver¥WinXP ¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。

8. 「プリンタ(P)」一覧で「HITACHI PC-PK3500N PS」が表示されますので、これを選択し、［次へ(N)］をクリックします。

9. デバイスドライバのインストールを開始します。［次へ(N)］をクリックします。

10. 「デジタル署名が見つかりませんでした」という表示がされますが、そのまま［はい(Y)］をクリックします。ファイルのコピーが始まります。

11. **インストールが終了しました。［完了］をクリックして、「新しいハードウェアの検出ウィザード」を終了してください。**

２．自動セットアップによるインストール

日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると自動的にソフトウェアセットアップ画面を表示しますので、メニューに従いドライバをインストールしてください。

お願い

- CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットすると、オートスタートアップ機能によってセットアップメニューが自動的に表示されますが、システムの状況によってはオートスタートアップ機能が使用できない場合があります。このような場合は、CD-ROM のルートディレクトリにある「Autorun.exe」ファイルをダブルクリックしてセットアップメニューを起動してください。
- 環境によっては自動セットアップでインストールができない場合があります。その場合は、「３．プリンタアイコンからインストール」(P.19)を行ってください。

インストール手順

1. 日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。

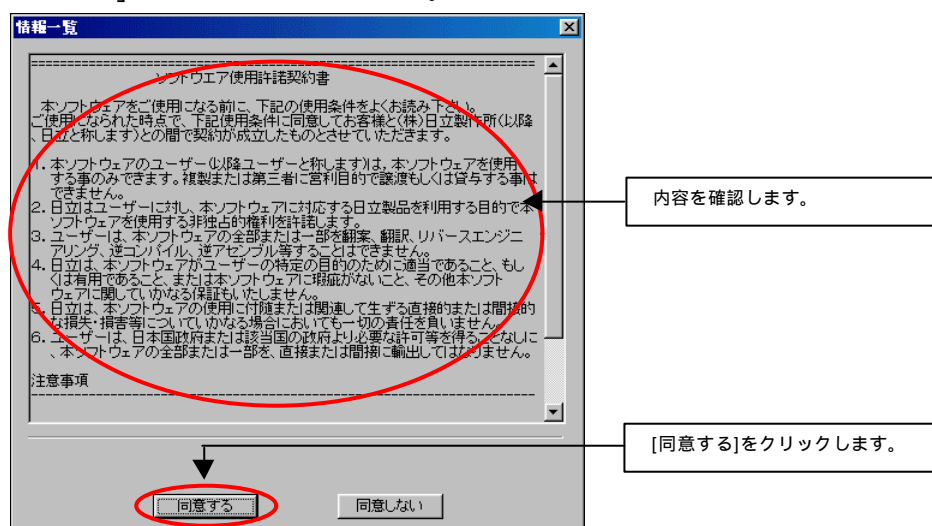
お願い

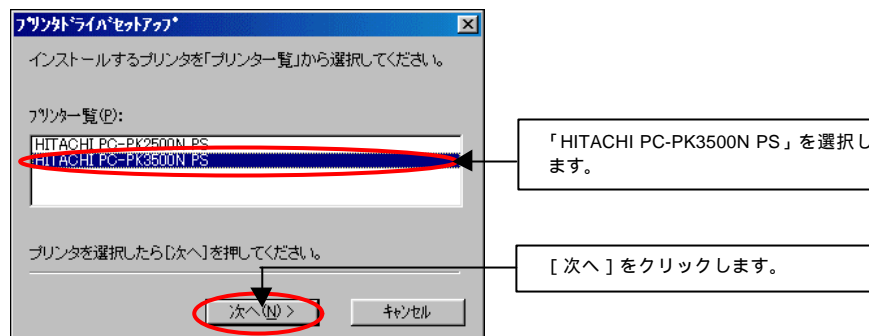
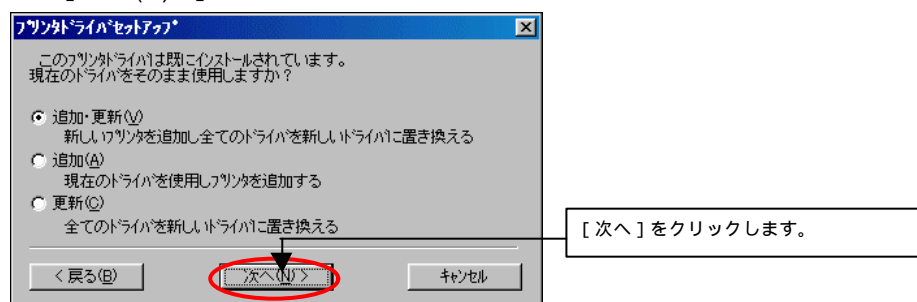
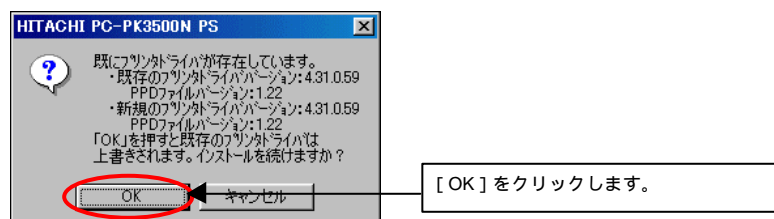
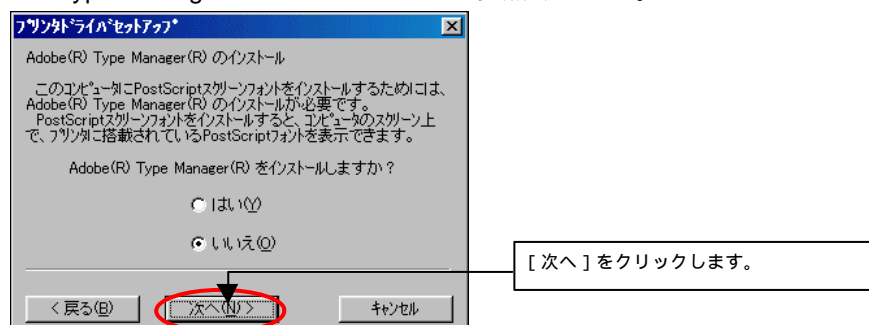
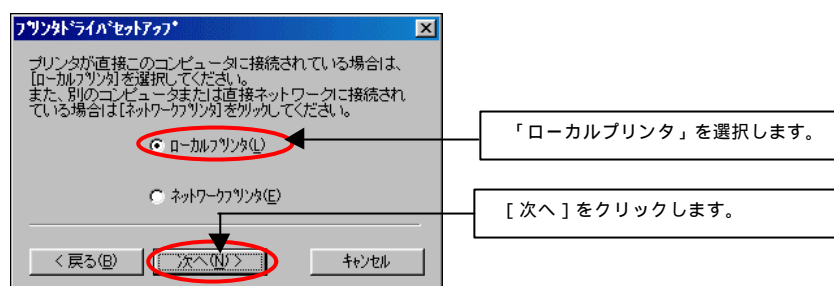
- 自動的にセットアップメニューが表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある「Autorun.exe」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動させてください。

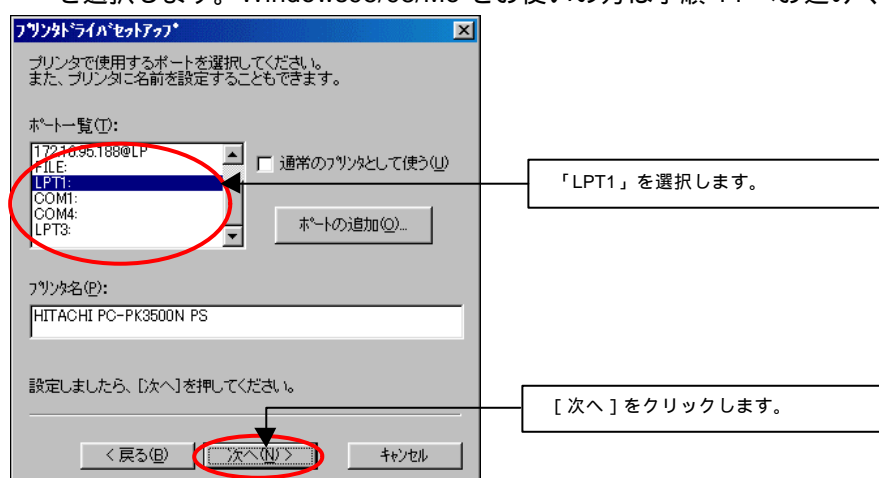
2.　［プリンタドライバのインストール］ボタンをクリックします。

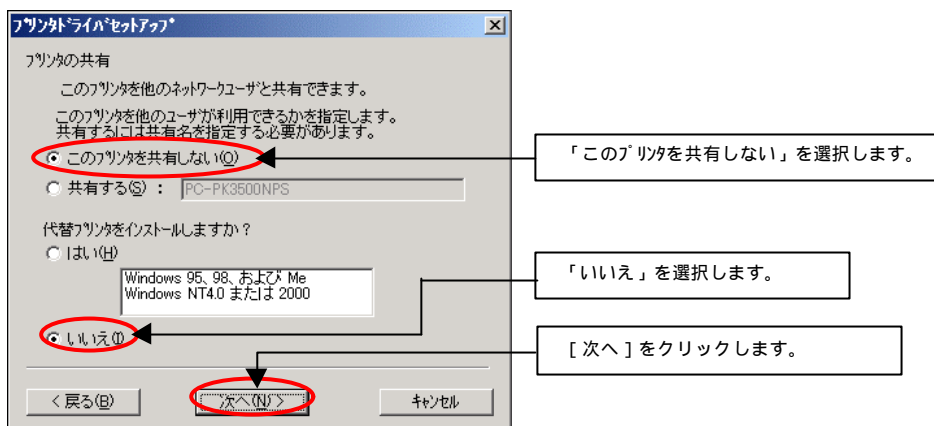
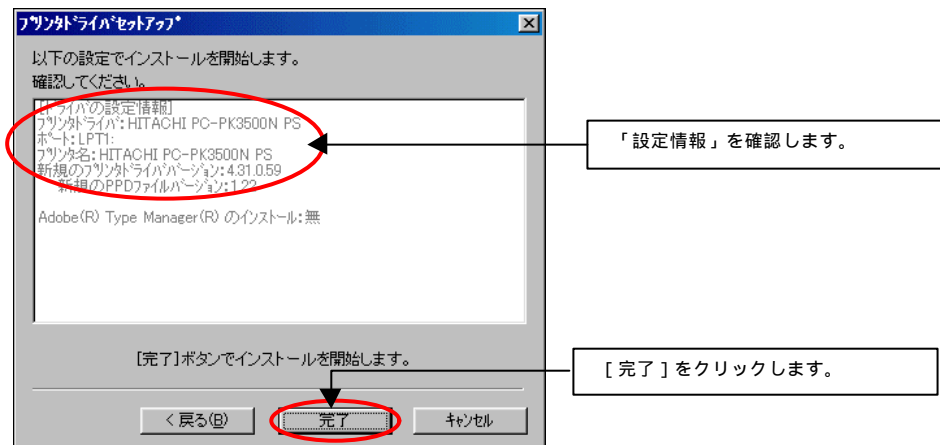
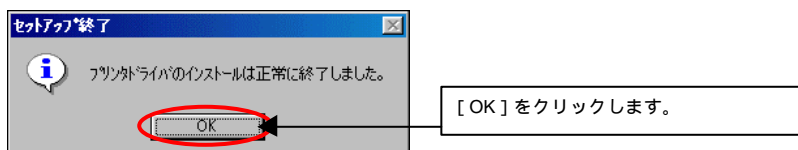
「プリンタドライバ」をクリックします。

3.　「ソフトウェア使用許諾契約書」が表示されますので、内容を確認して［同意する］ボタンをクリックします。

お願い

◆ ソフトウェア使用許諾契約書に同意しないとドライバのインストールはできません。

4. 以降、プリンタドライバセットアップ画面に従いインストールを行います。プリンタ一覧から「HITACHI PC-PK3500N PS」を選択し、［次へ>］ボタンをクリックします。
   プリンタの追加やバージョンアップ等、すでに本プリンタドライバがインストールされている場合は手順５へ、新規にインストールする場合は手順７へお進みください。

5. プリンタの追加やバージョンアップ等、すでに本プリンタドライバがインストールされている場合、下記ダイアログが表示されます。用途に応じて選択して、［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

6. プリンタドライバのバージョン確認ダイアログが表示されます。確認後、［OK］ボタンをクリックします。

7. Adobe Type Manager をインストールするかどうかを指定します。
   Adobe Type Manager は後でインストールすることもできます。インストール手順は第６章「２. PostScript スクリーンフォントのインストール」の「(1)Adobe Type Manager のインストール」を参照ください。

8. プリンタの接続形態を選択します。直接ローカル接続されているプリンタや、オペレーティングシステムの lpr または PrintMonitor 等のポートで直接ネットワークに接続されているプリンタへ設定を行う場合は、ローカルプリンタを選択してください。ネットワーク上の他のコンピュータにある共有プリンタに対する設定を行う場合は、ネットワークプリンタを選択してください。但し、このときに対象とするプリンタドライバのセットアップは、ローカルコンピュータ上の該当するプリンタドライバに関する設定となります。ここではローカルプリンタを接続します。

♦ ネットワークプリンタを選択した場合、ネットワーク上のコンピュータ及びプリンタが検索され、ツリー形式で表示されます。ご使用するコンピュータ及び共用プリンタをクリックし、選択してください。ネットワーク環境によっては検索に時間がかかる場合があります。

9. 使用するポートを選択し、［次へ(N)>］をクリックします。ここでは「LPT1」を選択します。Windows95/98/Me をお使いの方は手順 11 へお進みください。

♦ LAN 接続で印刷する場合などは、ポート一覧にご使用するポートがない場合があります。その場合、ポートの追加でポートを作成して設定を行ってください。LAN 接続に関する詳細は「LAN ポート取扱説明書」 をご覧ください。（LAN ポート取扱説明書はプリンタ付属の CD-ROM 内に格納されています。）

10. WindowsNT4.0、Windows2000 または WindowsXP をお使いの場合、プリンタの共有、代替プリンタのインストールを設定します。用途に応じて設定をします。ここではプリンタの共有を「共有しない」、代替プリンタのインストールを「いいえ」に設定し［次へ(N)>］ボタンをクリックします。

11. 設定情報の確認画面が表示されます。［完了］をクリックします。

12. インストールが終了すると、下記メッセージが表示されます。［OK］ボタンをクリックしてインストールを終了します。

13. 手順７で「はい」を選択した場合、Adobe Type Manager のインストールウィザードが起動します。インストール手順は第６章「２．PostScript スクリーンフォントのインストール」の「(1)Adobe Type Manager のインストール」の手順３以降を参照ください。

３．プリンタアイコンからインストール

ここではオペレーティングシステムの「プリンタ」または「プリンタとＦＡＸ」フォルダからのインストール手順を説明します。

3.1　Windows95/98/Me の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。
3. 以降、画面の指示に従ってインストールを続けます。
4. プリンタの接続先を選択します。
5. プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。
6. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥Win9x_Me ¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
7. 「プリンタ」一覧で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
8. 使用するポートを選択します。
9. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
10. 印字テストをするかを選択します。
11. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.2　WindowsNT4.0 の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。
3. プリンタの管理を選択します。
4. 使用するポートを選択します。
5. プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。
6. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥WinNT40¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
7. 「プリンタ」一覧で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
8. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
9. プリンタの共有について設定します。
10. テストページを印刷するかを選択します。
11. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.3 Windows2000 の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「設定」－「プリンタ」を選択します。
2. 「プリンタの追加」のアイコンをダブルクリックします。
3. 以降、画面の指示に従ってインストールを続けます。
4. プリンタがどのように接続しているかを選択します。
5. 使用するポートを選択します。
6. プリンタドライバの選択では［ディスク使用］ボタンをクリックします。
7. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥Win2000¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
8. 「プリンタ」一覧で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
9. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
10. プリンタの共有について設定します。
11. テストページを印刷するかを選択します。
12. プリンタの追加ウィザードを完了させます。［完了］ボタンをクリックします。
13. 「デジタル署名がみつかりませんでした」というメッセージが表示されますが、そのまま「はい」をクリックします。ファイルのコピーが始まります。
14. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

3.4　WindowsXP の場合

インストール手順

1. タスクバーのスタートから「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プリンタと FAX」のアイコンをダブルクリックします。
3. プリンタのタスクの「プリンタのインストール」を選択します。
4. プリンタの追加ウィザードが開始されます。［次へ］ボタンをクリックします。
5. 使用するプリンタの種類を指定します。
6. ポートの選択をします。
7. プリンタソフトウェアのインストールでは［ディスク使用］ボタンをクリックします。
8. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、「D:¥Driver¥WinXP ¥PK3500N」を指定して［OK］ボタンをクリックします。
9. 「プリンタ」一覧で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。
10. プリンタ名を入力します。特に必要がない限り、初期値のままご使用ください。
11. プリンタの共有について設定します。
12. テストページを印刷するかを選択します。
13. プリンタ追加ウィザードを完了させます。［完了］ボタンをクリックします。
14. ハードウェアのインストール画面が表示されますが、そのまま［続行］ボタンをクリックします。ファイルのコピーが始まります。
15. インストールが終了すると、本プリンタアイコンが追加されます。

第 3 章

Windows95/98/Me での設定方法

第３章　Windows95/98/Me での設定方法

1．オプションの設定

プリンタドライバのインストールが終了したら、プリンタに搭載されているオプションの設定を行います。オプションは、プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開いて設定します。設定項目は以下のとおりです。

項目	設定
両面ユニット	あり
	なし
カセット２	あり
	なし
カセット３	あり
	なし
ハードディスク	あり
	なし
カセット１　オプション (*1)	標準カセット
	ハガキアダプタ　(*2)
プリンタメモリ	64 MB RAM
	128 MB RAM
	192 MB RAM
	256 MB RAM

*1 「封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

*2 ハガキアダプタは、ハガキサイズに印刷するときにのみ設定します。

操作手順

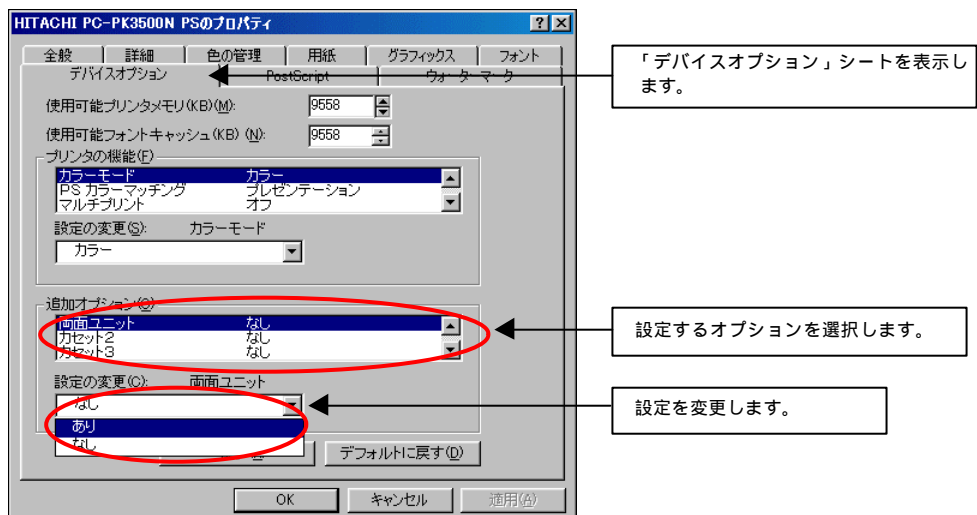
1. タスクバーのスタートから「設定(S)」－「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択します。

▼「プリンタ」フォルダが表示されます。

2.　「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択し、カーソルを合わせたまま右クリックして「プロパティ(R)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のプロパティ」が表示されます。

3.　「デバイスオプション」シートを選択します。

4.　「追加オプション」で、プリンタに搭載されているオプションを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

2. プリンタ機能の使い方

プリンタの機能を設定するには、プリンタのプロパティを開き、プロパティの各シート上で印刷条件を設定します。プロパティを開くには２種類の方法があります。

- アプリケーションソフトからを開く
- プリンタアイコンから開く

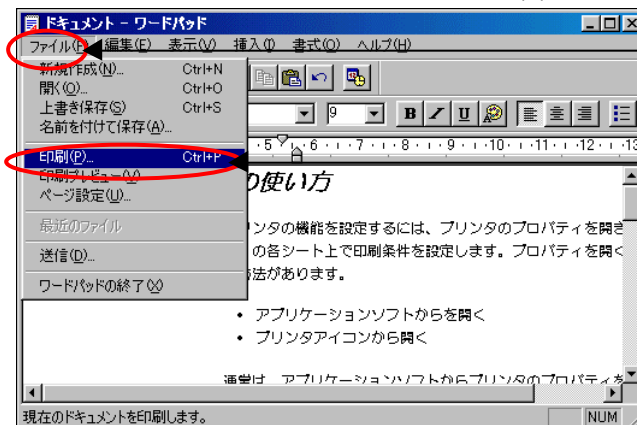
通常は、アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開いて設定します。プリンタのプロパティをアプリケーションソフトから開けない場合には、第３章「2.2 プリンタアイコンから開く」でプロパティを開いて設定します。

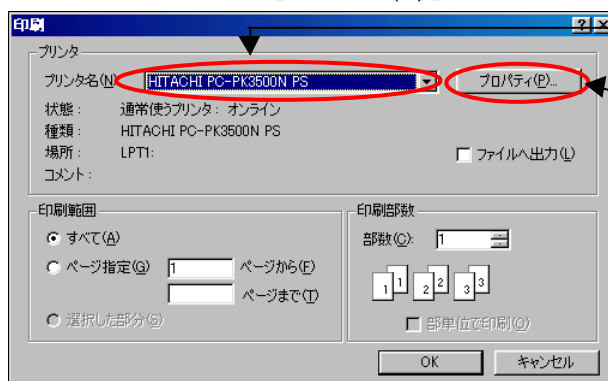
◆プリンタの設定は該当アプリケーションソフト起動前に設定しておかなければ有効にならない場合があります。

2.1 アプリケーションソフトからプロパティを開く

アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの説明書を参照して下さい。ここでは、ワードパッドの場合を例にします。

操作手順

1.　ワードパッドのメニューバーの「ﾌｧｲﾙ(F)」-「印刷(P)」を選択します。

▼「印刷」のプロパティが開きます

2.　「ﾌﾟﾘﾝﾀ名(N)」に本プリンタ名「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されていることを確認し、［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)］ボタンをクリックします。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が表示されます。

3.　設定項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

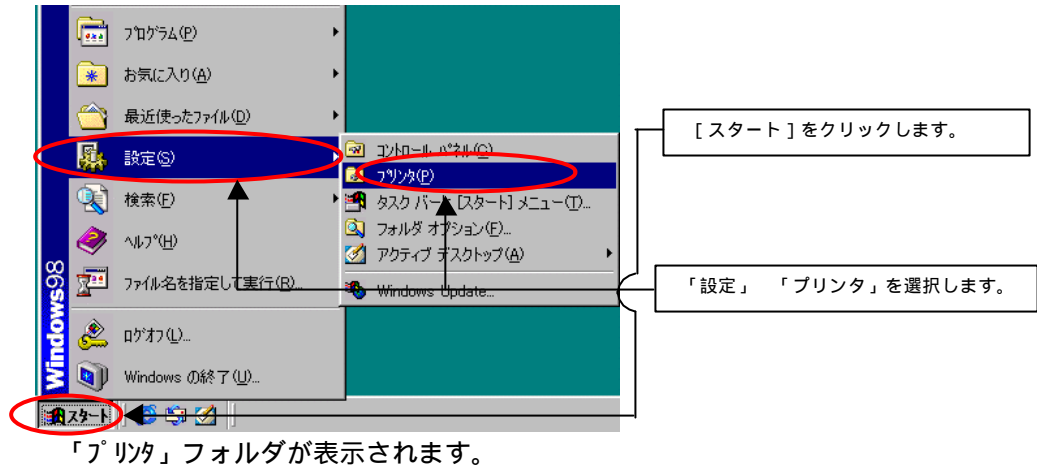
メモ

◆アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開くには、アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「印刷」や「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」から開きます。

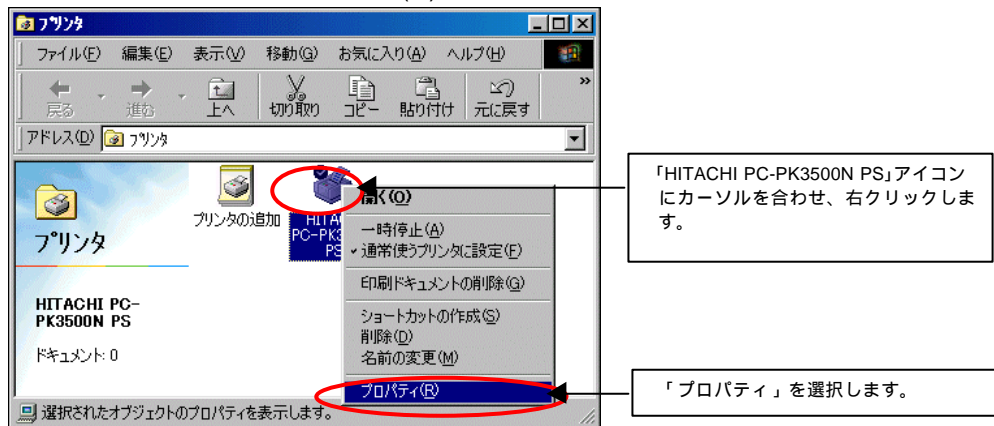
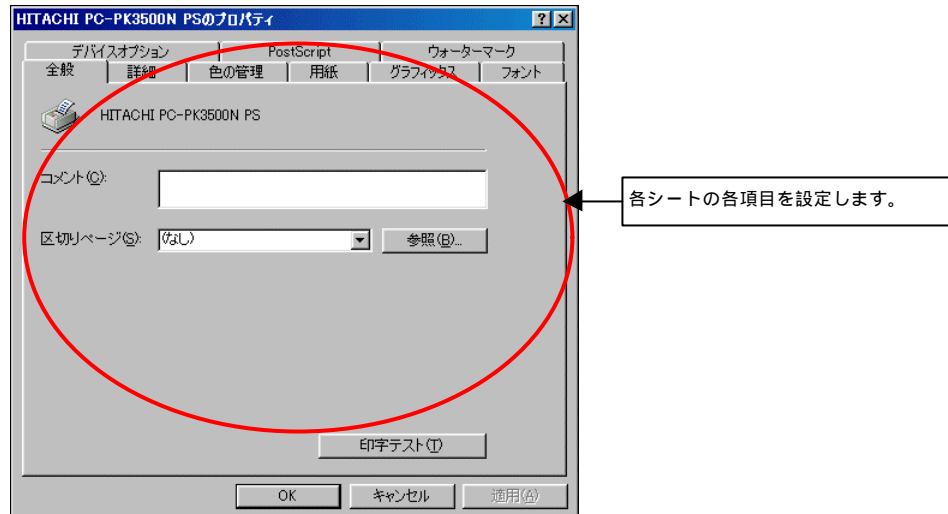
2.2 プリンタアイコンからプロパティを開く

プリンタプロパティをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

操作手順

1. タスクバーのスタートメニューから「設定(S)」-「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択します。

▼「ﾌﾟﾘﾝﾀ」フォルダが表示されます。

2. 「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択し、カーソルを合わせたまま右クリックして「プロパティ(R)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のプロパティ」が表示されます。

3.　設定項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。

◆ 各設定項目の詳細は、第３章「３．プリンタドライバの詳細設定」またはヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティの右上 ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をチェックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

３．プリンタドライバの詳細設定

プリンタドライバの詳細設定はプリンタプロパティを開いて各シートを設定します。プリンタプロパティを開く方法は第３章「２．プリンタ機能の使い方」を参照して下さい。

3.1 用紙サイズの設定

印刷する用紙サイズを設定します。本プリンタで印刷できる用紙サイズは「Executive」,「Letter」,「Legal」,「A3」,「A3 ノビ」,「A4」,「11×17」,「B5-JIS」,「B5-ISO」,「B4」,「ハガキ」、「サイズ指定用紙」です。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。

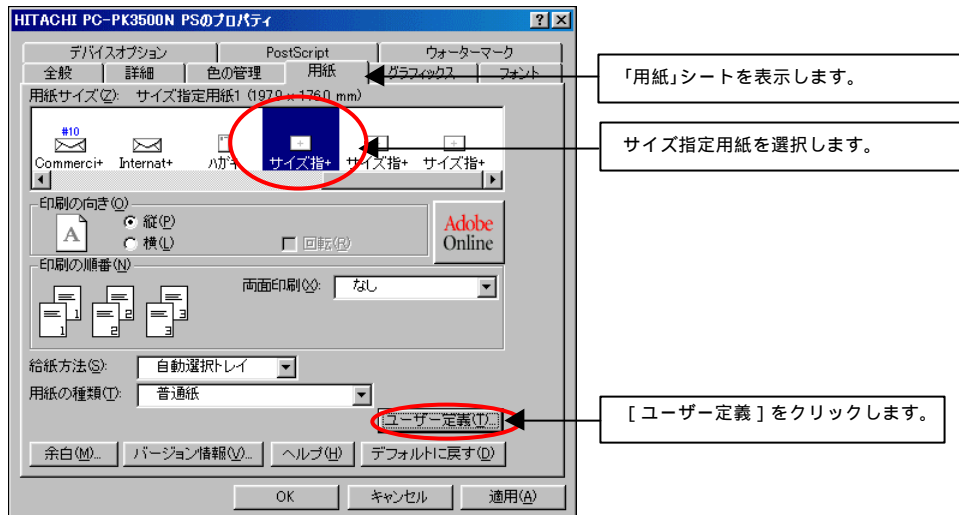
2. 「用紙」シートの「用紙サイズ(Z)」で印刷する用紙サイズを選択します。

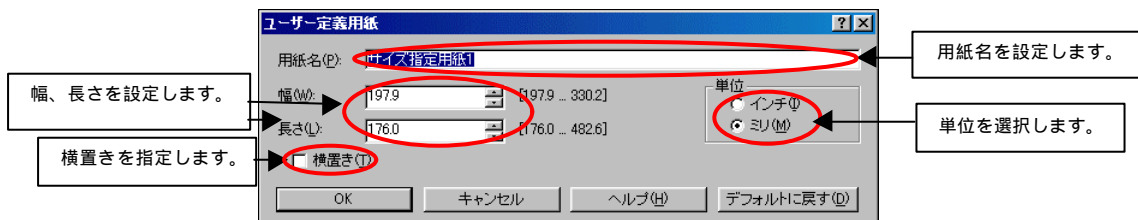
- カセット２およびカセット３から Executive、A3 ノビ、ハガキ、サイズ指定用紙のそれぞれの用紙サイズに印刷することはできません。
- ハガキサイズに印刷するためにはハガキアダプタが必要です。また給紙方法を「カセット１　ハガキアダプタ」に設定する必要があります。詳しい設定方法は、第３章「3.5　給紙方法の変更 (2)ハガキアダプタを使用する場合」を参照して下さい。
- 「Commercial #10」および「International DL」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

3.2 ユーザー定義用紙の設定

ユーザー定義用紙を定義します。「用紙名」、「幅」、「長さ」、「単位（インチまたはミリ）」、「横置き」を設定することができます。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「用紙」シートの用紙サイズでサイズ指定用紙 1、2、3 のどれかを選択します。
3. ［ユーザー定義(T)］ボタンをクリックします。

▼「ユーザー定義用紙」のプロパティが表示されます。

4. 「用紙名」、「幅」、「長さ」、「単位」、「横置き」を設定します。

メモ

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の［?］ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

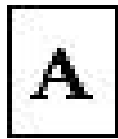
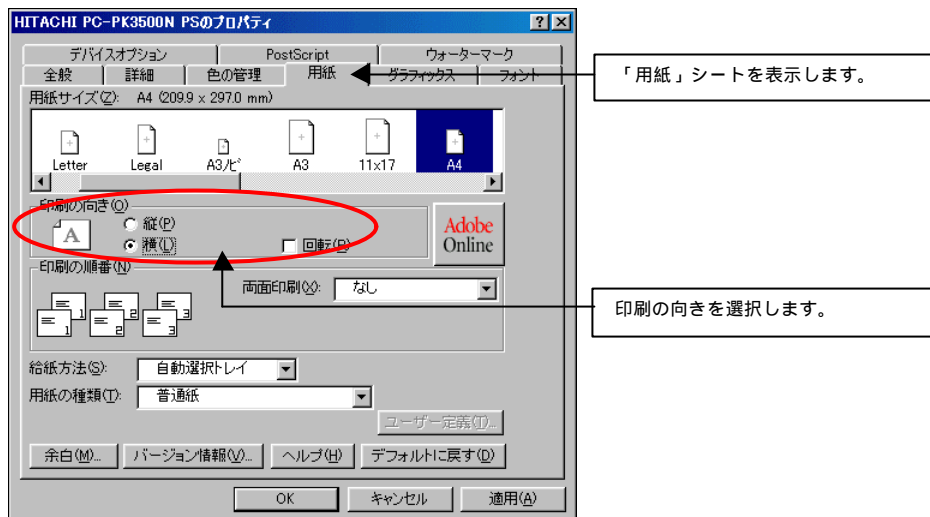
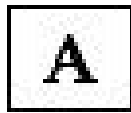
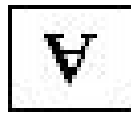
♦ アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」からサイズ指定用紙を選択する場合は、必ずこの設定手順で設定してから、選択して下さい。

3.3 印刷の向きの設定

「印刷の向き」を指定することで用紙を縦長に使う（ポートレイト）か、横長に使う（ランドスケープ）かを設定できます。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。

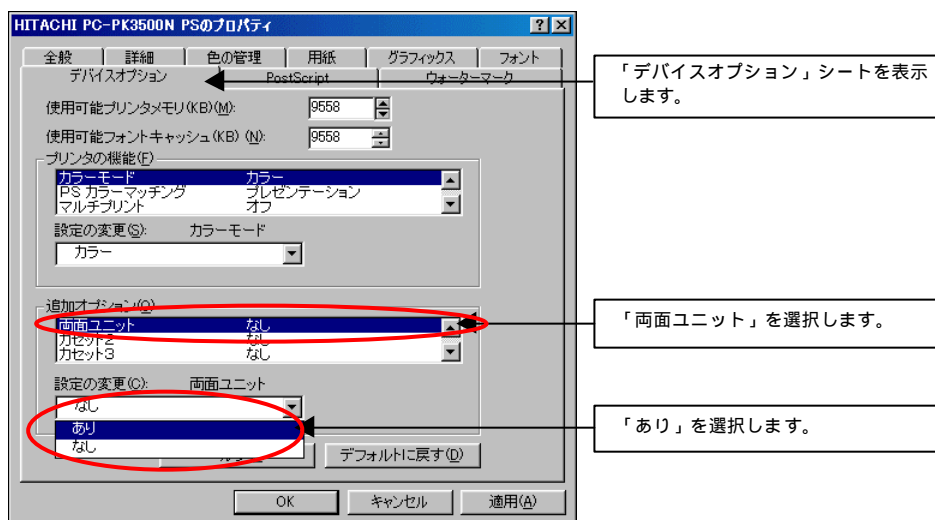
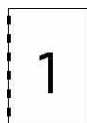
2. 「用紙」シートの「印刷の向き」で縦・横を選択します。

♦ 「回転」は印刷の向きが「横」のときに指定ができます。

3.4 両面印刷の設定

両面ユニットが追加されている場合に両面印刷の設定を選択することができます。設定方法は｢なし｣、「長辺を綴じる」、「短辺を綴じる」の中から選択します。

- ♦ 両面印刷を設定する前に、必ず追加オプションで「両面ユニット」の設定を「あり」に設定して下さい。
- ♦ 両面印刷の設定で、「なし」は両面印刷を「しない」ことを意味します。

設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートの追加オプションで「両面ユニット」の設定を「あり」にします。

3. 「用紙」シートの印刷の順番で「両面印刷」の設定（綴じ位置）を選択します。

なし（片面印刷）　長辺を綴じる　短辺を綴じる

3.5 給紙方法の設定

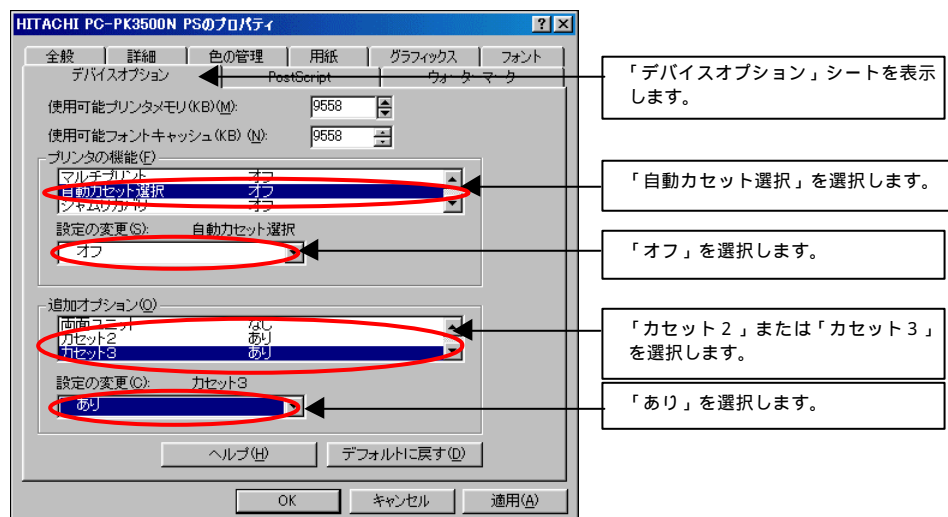
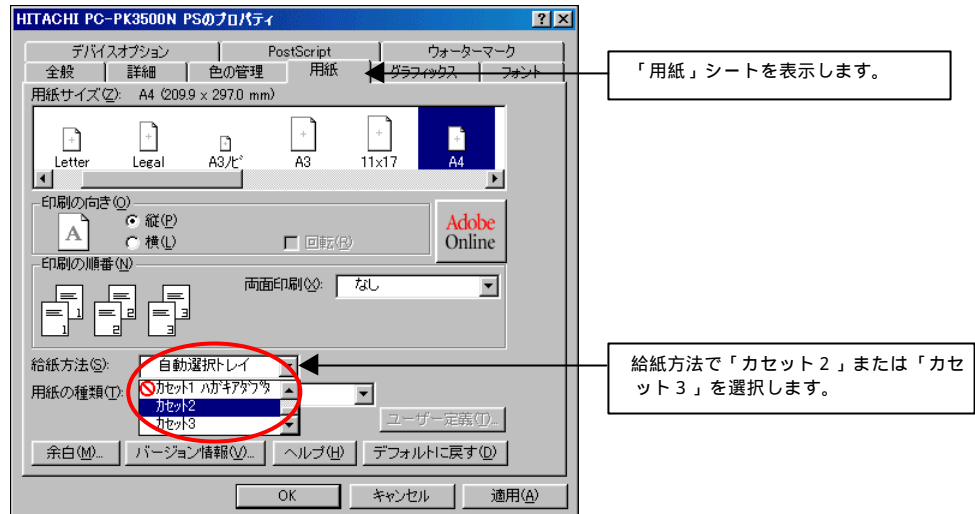
印刷するドキュメントをどの給紙部から出力するかを選択します。給紙方法は「自動選択トレイ」、「カセット１」、「カセット２」、「カセット３」、「カセット１ ハガキアダプタ」の中から選択します。

- 「カセット２」、「カセット３」、「カセット１ ハガキアダプタ」を設定する前に、必ず「追加オプション」で「カセット２」、「カセット３」の設定を「あり」、「カセット１ オプション」の設定を「ハガキアダプタ」にして下さい。
- 「自動選択トレイ」以外の特定のカセットを選択する場合は、必ず「自動カセット選択」を「オフ」にして下さい。
- 「カセット１ 封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

(1) カセット２，カセット３を使用する場合

用紙サイズが「Letter」､「Legal」､「11×17」､「A3」､「A4」､「B4」､「B5-JIS」､「B5-ISO」のときに使用することができます。
使用する用紙をカセット２またはカセット３にセットします。

設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「自動カセット選択」を「オフ」にして、追加オプションで「カセット２」または「カセット３」の設定を「あり」にします。

3.　「用紙」シートの給紙方法でカセット２またはカセット３を選択します。

HITACHI PC-PK3500N PSのプロパティ

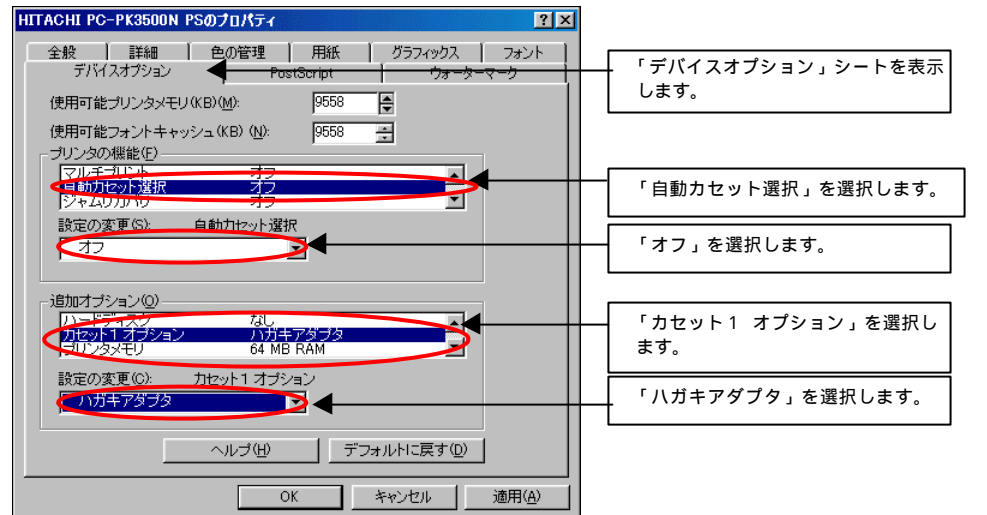
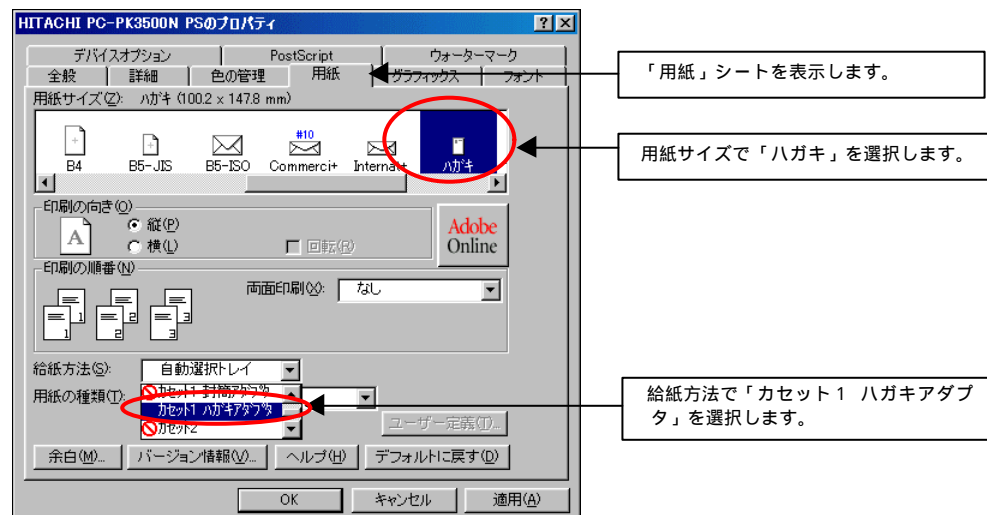
⑥「用紙」シートを表示します。

⑦給紙方法で「カセット２」または「カセット３」を選択します。

(2)　ハガキアダプタを使用する場合

用紙サイズが「ハガキ」のときのみ使用することができます。

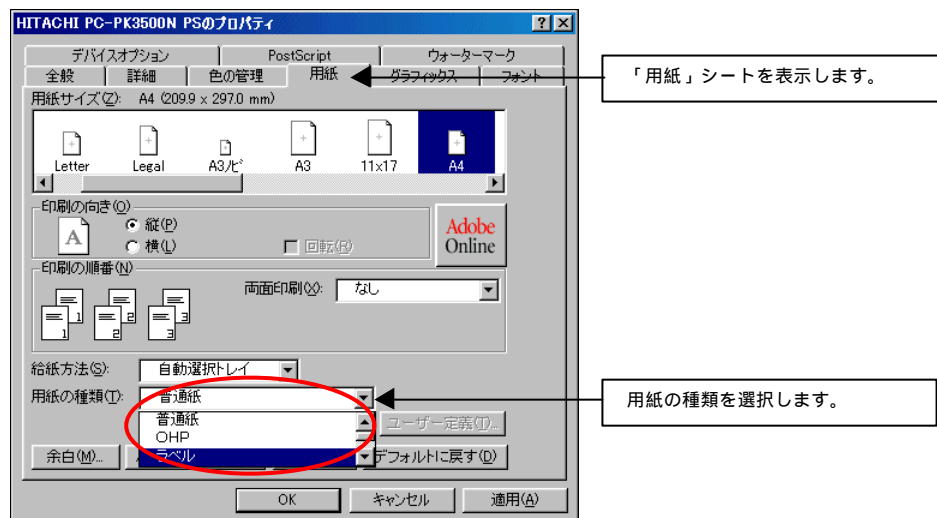
設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「自動カセット選択」を「オフ」にして、追加オプションで「カセット１ オプション」の設定を「ハガキアダプタ」にします。

3. 「用紙」シートの用紙サイズで「ハガキ」を選択して、給紙方法で「カセット１ ハガキアダプタ」を選択します。

3.6 用紙種類の変更

印刷を行う用紙の種類を変えて印刷することができます。「普通紙」、「OHP」、「ラベル」、「厚紙」から選択します。

♦ 「封筒」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

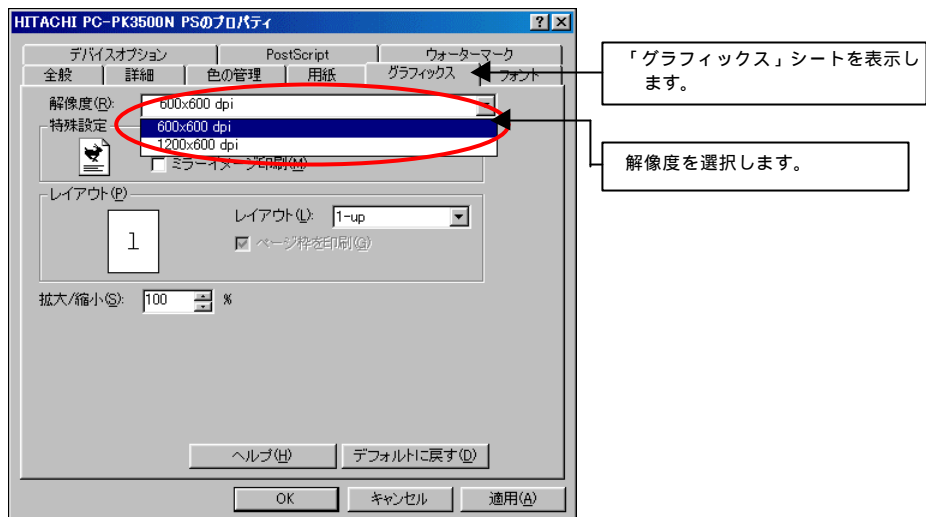
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「用紙」シートの用紙の種類を選択し、ドロップダウンリストボックスから用紙の種類を選択します。

♦ 「OHP」、「ラベル」、「厚紙」を指定すると、給紙方法の設定にかかわらず、カセット１から印刷されます。これらの用紙種類はカセット１に給紙して下さい。

3.7 解像度の設定

印刷する解像度を選択します。解像度は 600×600dpi、1200×600dpi から選択します。

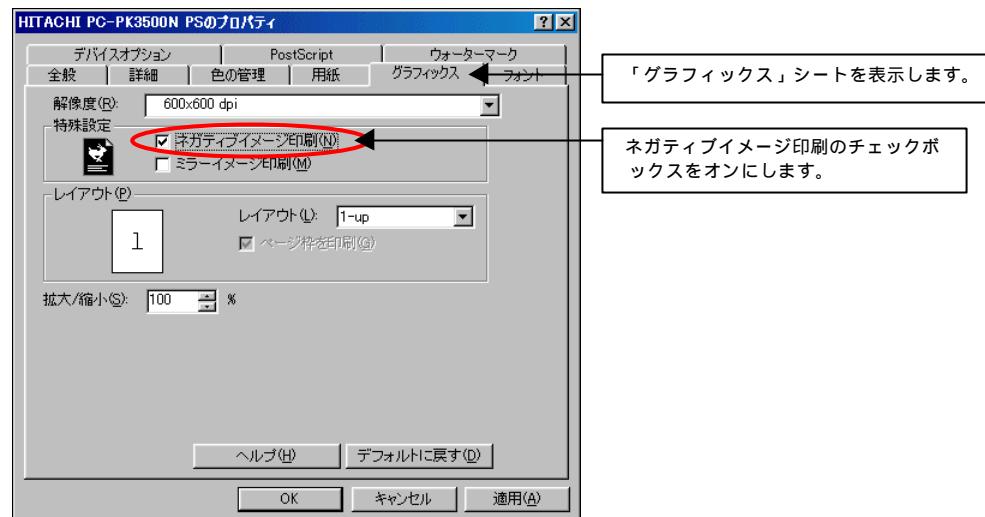
設定手順

1. プリンタプロパティを開きます。
2. 「グラフィックス」シートの解像度でドロップダウンリストから選択します。

3.8 ネガティブイメージ印刷

明るい部分と暗い部分が反転して印刷します。ネガティブイメージ印刷を行う場合は、「ネガティブイメージ印刷(N)」のチェックボックスをオンにします。

設定手順

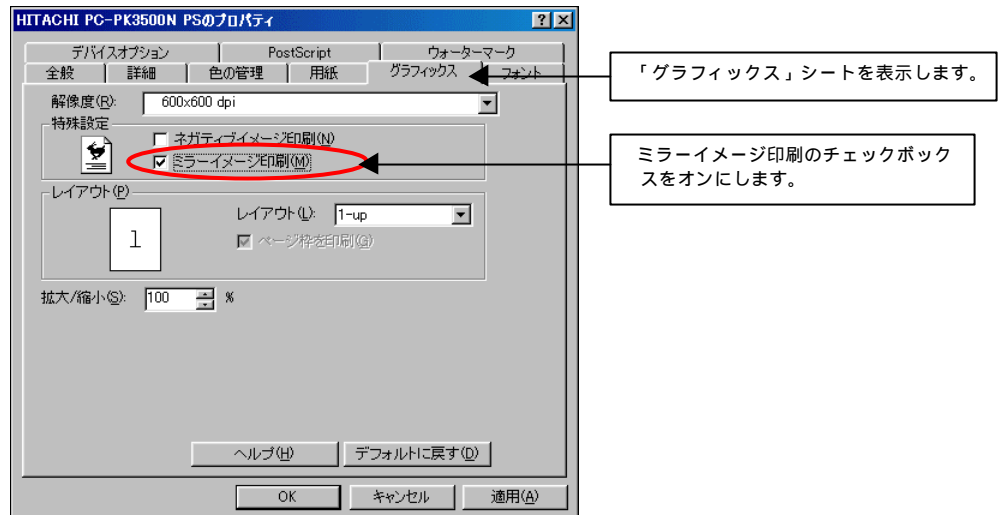
1. プリンタのプロパティを開きます。

2. 「グラフィックス」シートの特殊設定で指定します。

◆白黒反転印刷を行う場合は、必ずカラーモードを「モノクロ」に設定して下さい。詳しい設定方法は第３章「3.13 カラーモード」を参照して下さい。

3.9 ミラーイメージ印刷

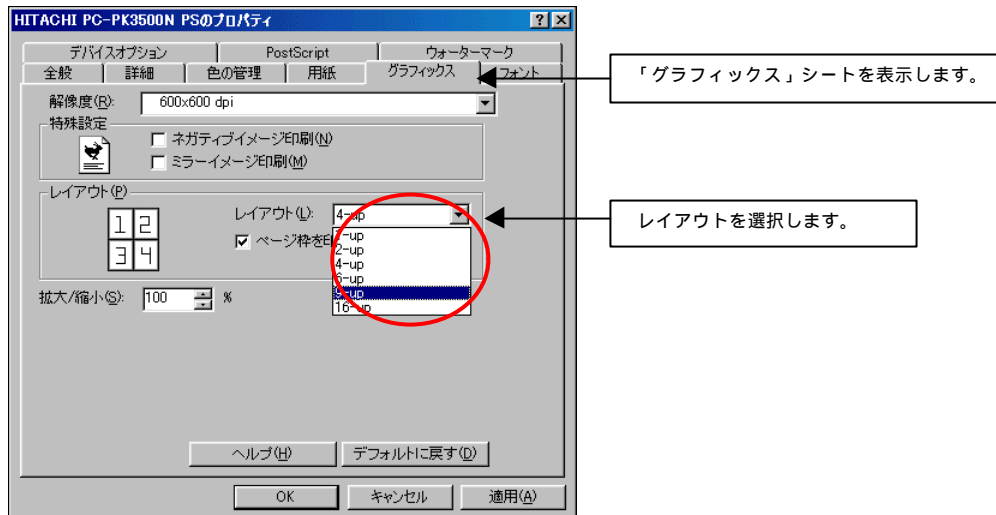
ミラーイメージ印刷は印刷を行うイメージを左右反転して印刷します。ミラーイメージ印刷を行う場合は、「ミラーイメージ印刷(M)」のチェックボックスをオンにします。

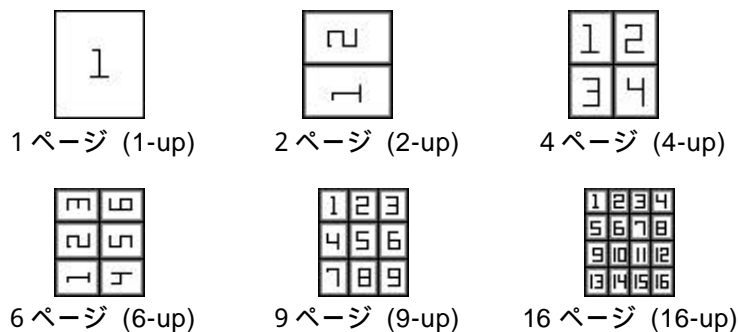
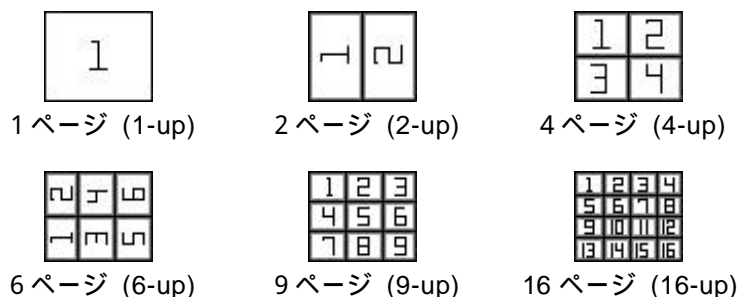
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「グラフィックス」シートの特殊設定で設定します。

3.10 レイアウトの変更

２ページ、４ページ、６ページ、９ページ、１６ページ分の原稿を縮小して並べて１枚の用紙に印刷することができます。

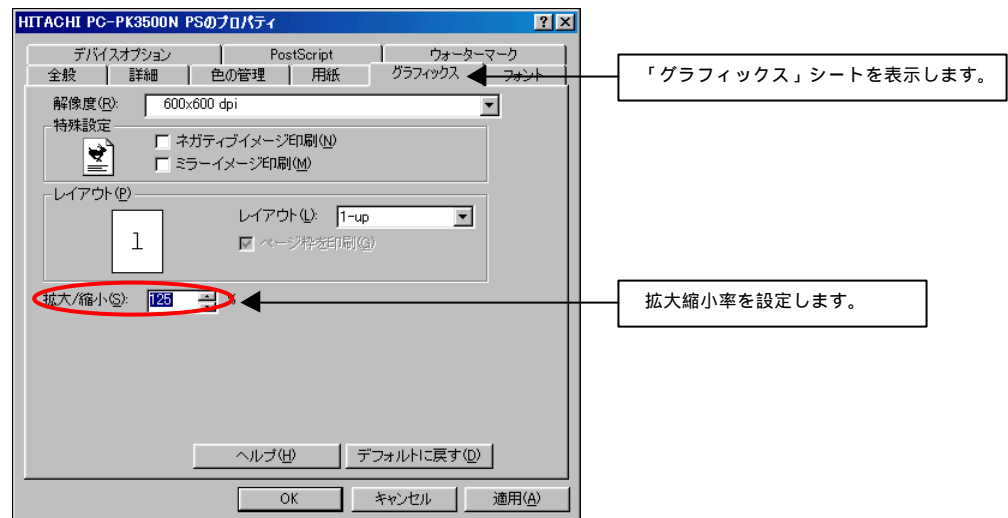
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「グラフィックス」シートのレイアウトでドロップダウンリストボックスから選択します。

- １ページ印刷の場合はページ枠を印刷することができません。
- ページ枠を印刷するには、プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開いて「ページ枠を印刷」のチェックボックスをオンにします。

●印刷方向が縦の場合（ポートレイト）

●印刷方向が横の場合（ランドスケープ）

3.11 拡大/縮小印刷

ドキュメントを拡大または縮小する割合を指定します。設定範囲は 25～400%で、任意の倍率で拡大縮小印刷を指定できます。ただし、拡大して印刷する場合は指定の用紙サイズに収まる範囲だけが印刷され、用紙サイズからはみ出した部分は印刷されません。

設定手順

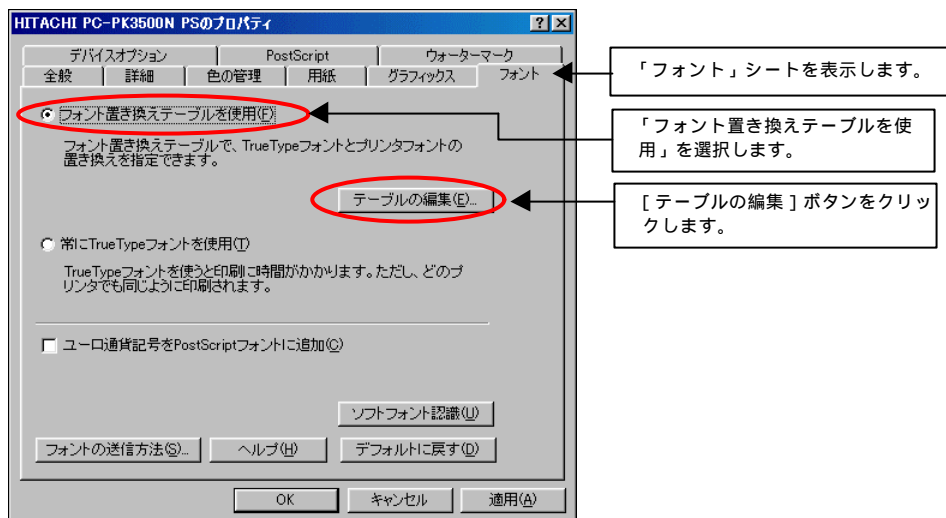
1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「グラフィックス」シートの「拡大／縮小」で設定します。25%～400%の間で指定します。

3.12 フォントの設定

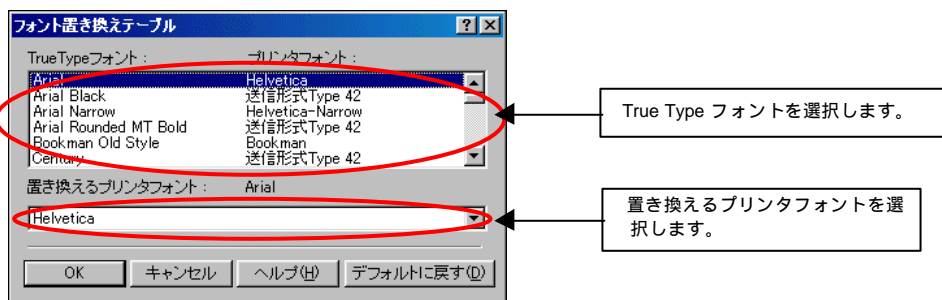
フォントの設定を行う場合は、プリンタアイコンからプロパティを開いて設定して下さい。（第３章「2.2 プリンタアイコンからプロパティを開く」参照。）

(1)　フォント置き換えテーブルを使用

ドキュメントを印刷するときに、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えるようにします。

設定手順

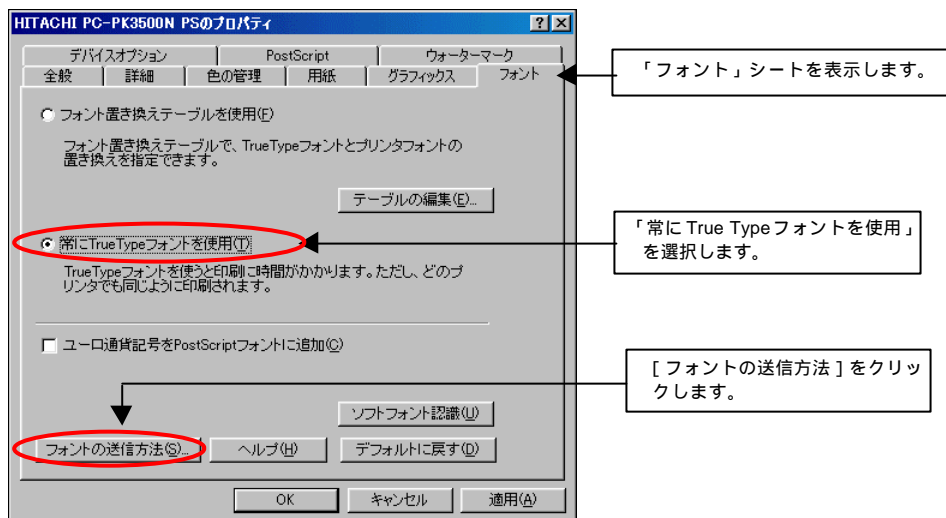
1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを.開きます。
2. 「フォント」シートの「フォント置き換えテーブルを使用(F)」をチェックオンにし、［テーブルの編集(E)］ボタンをクリックします。

▼「フォント置き換えテーブル」プロパティが表示されます。

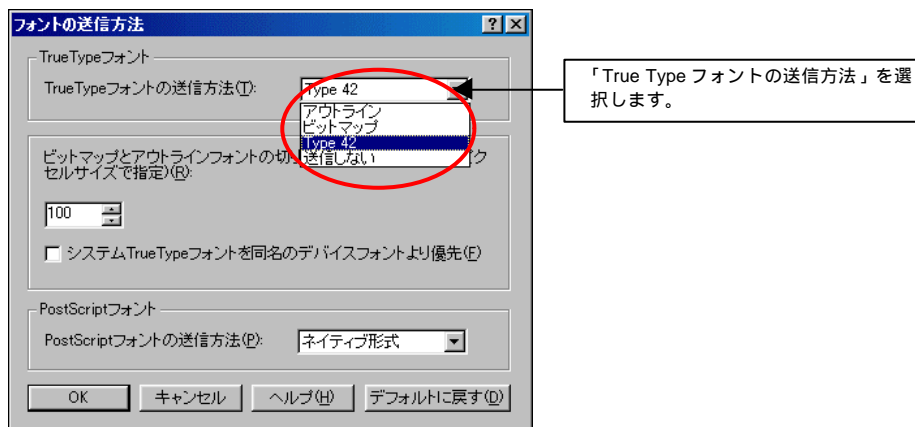
3. True Type フォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを指定します。

- ◆ TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えると、印刷されるドキュメントのフォントが画面のフォントと一致しなくなることがあります。
- ◆ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の［?］ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

(2)　常に True Type フォントを使用

ドキュメントを印刷するときに、TrueType フォントをプリンタにダウンロードするようにします。このため、印刷されるドキュメントのフォントが画面のフォントと正確に一致するようになります。

設定手順

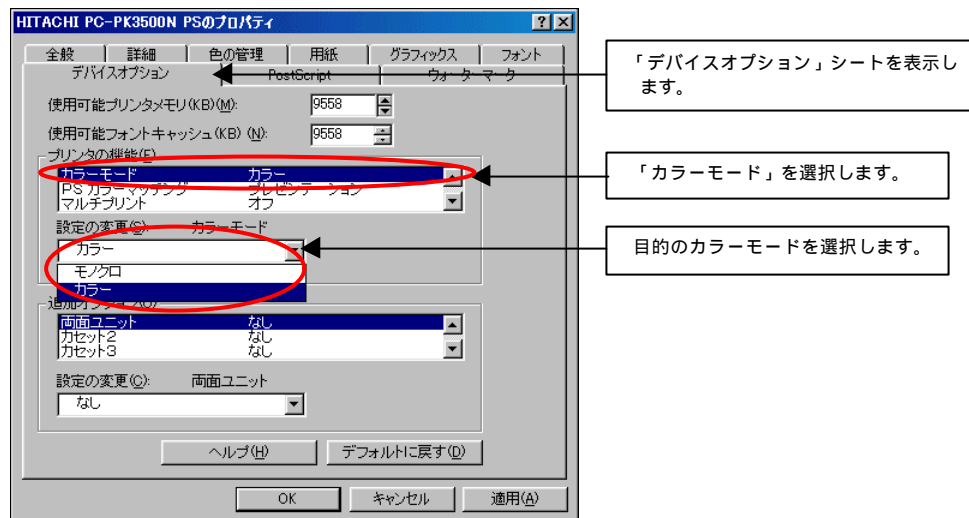
1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「フォント」シートの「常に True Type フォントを使用(T)」をチェックオンにします。
3. ［フォントの送信方法(S)］ボタンをクリックします。

▼「フォントの送信方法」のプロパティが表示されます。

4. TrueType フォントの送信方法のドロップダウンリストボックスからフォントの送信方法を選択します。

♦　各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の［?］ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

3.13 カラーモードの設定

カラーモードを選択します。印刷目的に合わせて「カラー」または「モノクロ」から選択します。

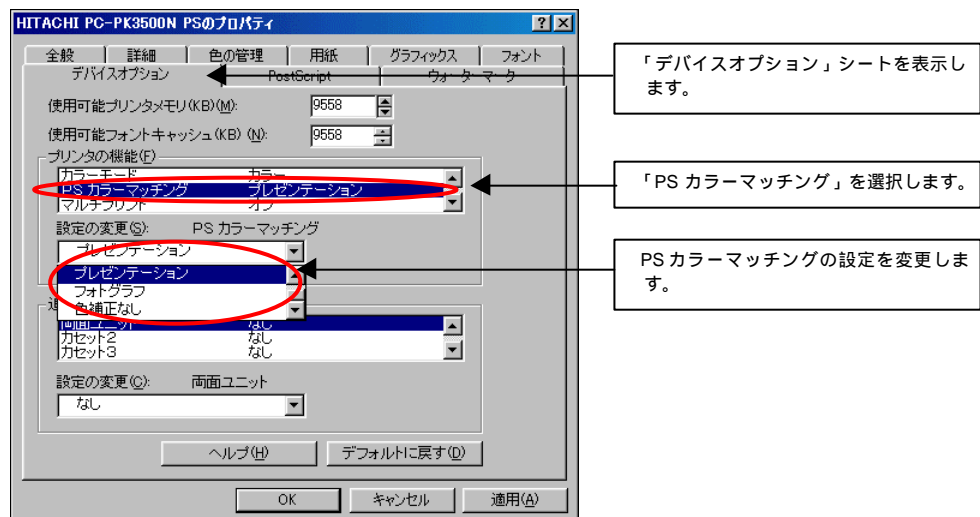
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタ機能で「カラーモード」を選択します。
3. 設定の変更で目的のカラーモードをドロップダウンリストボックスから選択します。

3.14 PS カラーマッチングの設定

カラーデータを印刷する際に、目的に合わせて色補正の種類を選択することができます。その種類は「スクリーンマッチ」、「プレゼンテーション」、「フォトグラフ」、「色補正なし」から選択します。通常は「プレゼンテーション」に設定されています。

スクリーンマッチ	画面と印刷結果のそれぞれの色を、可能な限り近いものに再現します。
プレゼンテーション	鮮やかさを強調します。プレゼンテーション資料を印刷するときに最適です。
フォトグラフ	写真などの画像を印刷するときに最適です。
色補正なし	補正を必要としないときに使用します。

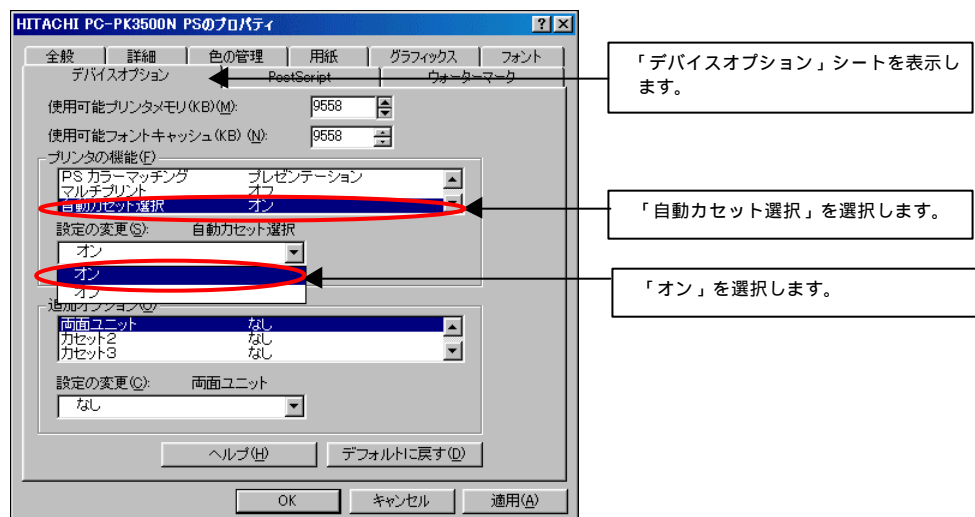
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「PS カラーマッチング」を選択します。
3. 設定の変更で PS カラーマッチングの設定を変更します。

3.15 自動カセット選択の設定

指定した用紙サイズが入っている用紙カセットを、自動で選択するかしないかを設定します。この設定は、カセット２または、カセット２およびカセット３の両方がプリンタに搭載されているときに有効です。

例えば、自動カセット選択が「オン」の場合、印刷中にカセット１が用紙切れになると、全カセットを検索し、カセット２に指定の用紙サイズがあればカセット２から、カセット２になければカセット３からという順番でカセットを自動検索して給紙します。
自動カセット選択が「オフ」の場合、自動検索は行いません。カセット１に用紙切れが発生した場合、指定した用紙サイズを補給するようプリンタパネルにメッセージが表示されます。

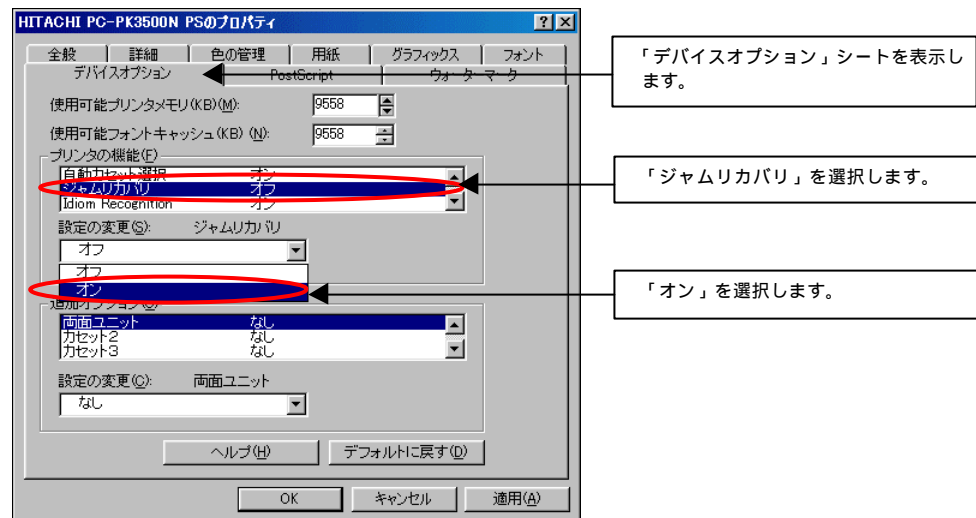
設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「自動カセット選択」を選択します。
3. 設定の変更で、「オン」を選択します。

♦ 自動カセット選択を「オン」に設定する場合は、給紙方法で「自動選択トレイ」を選択して下さい。（第３章「3.5 給紙方法の変更」参照。）

3.16 ジャムリカバリの設定

用紙がつまったときに、紙づまりを起こしたページから印刷を開始するかしないかを設定します。「オフ」に設定した場合、紙づまりが起きたページが印刷されないことがあります。「オン」に設定した場合、紙づまりが起きたページから自動的に再印刷します。

設定手順

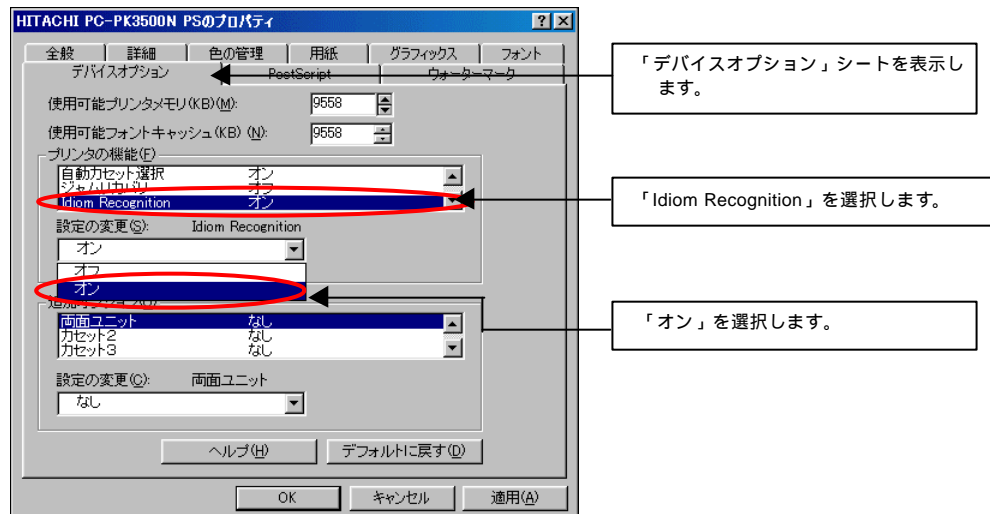
1. プリンタのプロパティを開きます。
2. デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「ジャムリカバリ」を選択します。設定の変更で「オン」を選択します。

3.17 Idiom Recognition（熟語認識機能）の設定

熟語認識機能を使用するか使用しないかを設定します。

「オン」が設定されているときは、プリンタドライバが、どのアプリケーションソフトが起動しているか、またそのアプリケーションソフトがどんな命令を呼び出しているかを認識し、アプリケーションソフトのもつニュアンスを考慮し、それをできるだけ高速に印刷できるよう調整します。また、アプリケーションソフトが生成したデータを自動的に PostScript 3 の言語構造に変換し、プリントのクォリティとパフォーマンスを高めます。

「オフ」が設定されているときは、これらの調整・変換は行いません。
「オン」に設定して予期せぬ結果が生じた場合は、「オフ」にして下さい。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートのプリンタの機能で「Idiom Recognition」を選択します。設定の変更で「オン」を選択します。

3.18 マルチプリントの設定

ハードディスクがプリンタに搭載されている場合に、マルチプリントを設定することができます。マルチプリントは２ページ以上のデータで部数が２部以上のときに有効です。

例えば、３ページデータを２部印刷する場合、通常１、１、２、２、３、３と印刷されますが、マルチプリントを「オン」に設定すると、１、２、３、１、２、３と印刷されます。

- ♦ マルチプリントを設定する前に、必ず追加オプションで「ハードディスク」の設定を「あり」に設定して下さい。
- ♦ マルチプリントを「オン」に設定する場合は、アプリケーションソフトの部単位印刷を「オフ」にして下さい。

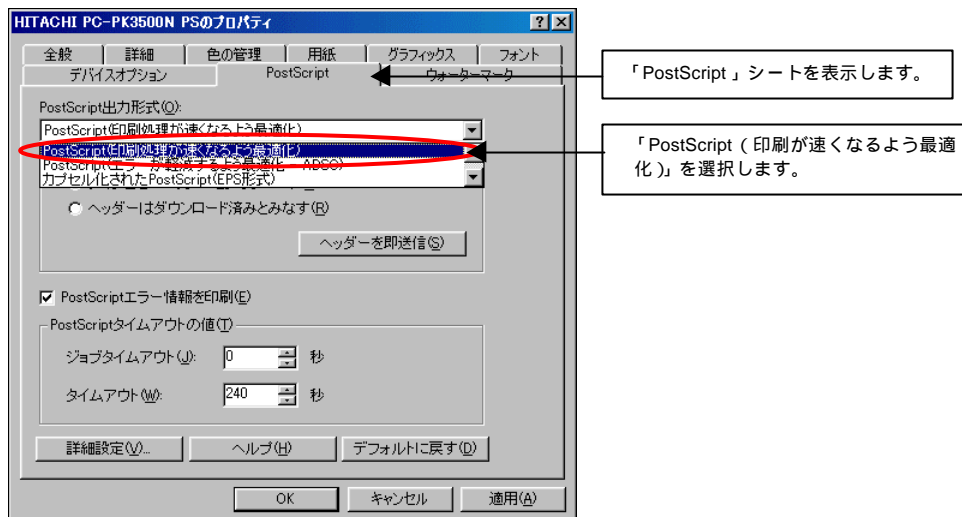
設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスオプション」シートの追加オプションでハードディスクの設定を「あり」にします。
3. プリンタの機能で「マルチプリント」の設定を「オン」にします。

3.19 PostScript 出力形式の設定

PostScript 出力形式を選択します。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「PostScript」シートの PostScript 出力形式で「PostScript（印刷処理が速くなるよう最適化）を選択します。

◆通常、印刷を行う場合は「PostScript（印刷処理が速くなるよう最適化）を選択して下さい。PostScript エラーが発生する場合は、「PostScript（エラーが軽減するよう最適化－ADSC）」を選択すると正常に出力できることがあります。

◆各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

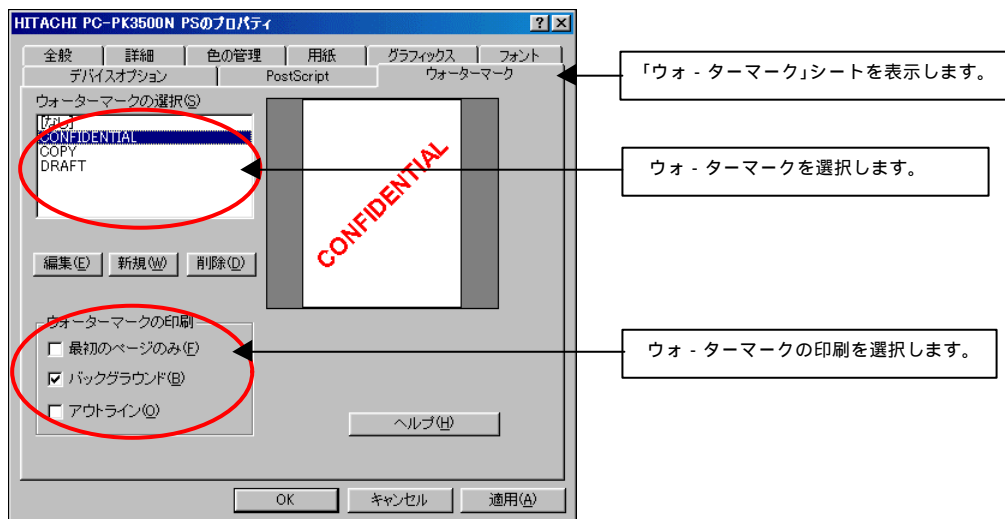
3.20 ウォーターマークの設定

(1) ウォーターマークの印刷

ウォーターマークを選択します。ウォーターマークは「CONFIDENTIAL」、「COPY」、「DRAFT」の中から選択し、新規のウォーターマークを作成することもできます。また、ウォーターマークの印刷方法を指定する場合は、「最初のページのみ」、「バックグラウンド」、「アウトライン」の中から選択します。印刷方法は複数選択が可能で、それぞれの印刷方法の内容は、以下の表のとおりです。ウォーターマークを編集、新規作成、削除する場合は、次ページ以降をご参照下さい。

最初のページのみ	印刷するドキュメントの最初のページだけにウォーターマークを印刷します。
バックグラウンド	印刷するドキュメントの下にウォーターマークを印刷します。
アウトライン	ウォーターマークの文字を塗りつぶさないで印刷します。

設定手順

1. プリンタのプロパティを開きます。
2. 「ウォーターマーク」シートのウォーターマークの選択からウォーターマークを選びます。
3. ウォーターマークの印刷でどのように印刷するかを設定します。

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

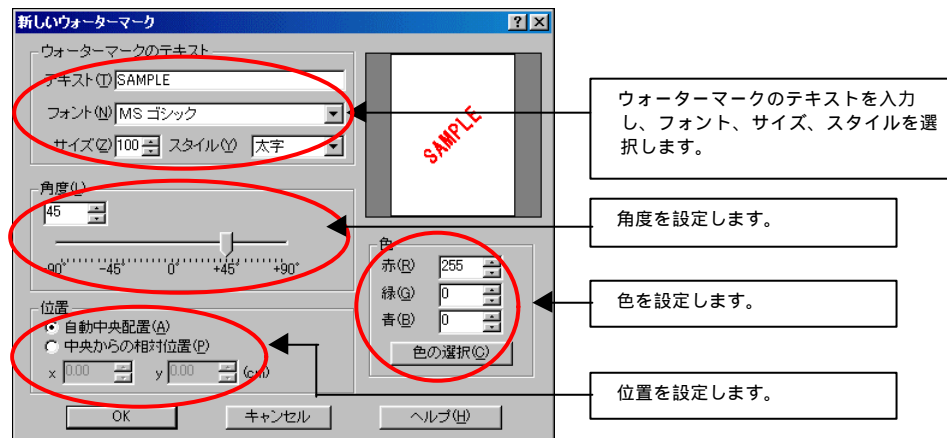
(2)　ウォーターマークの新規作成

新たに独自のウォーターマークを作成することができます。

設定手順

1.　［新規］ボタンをクリックします。

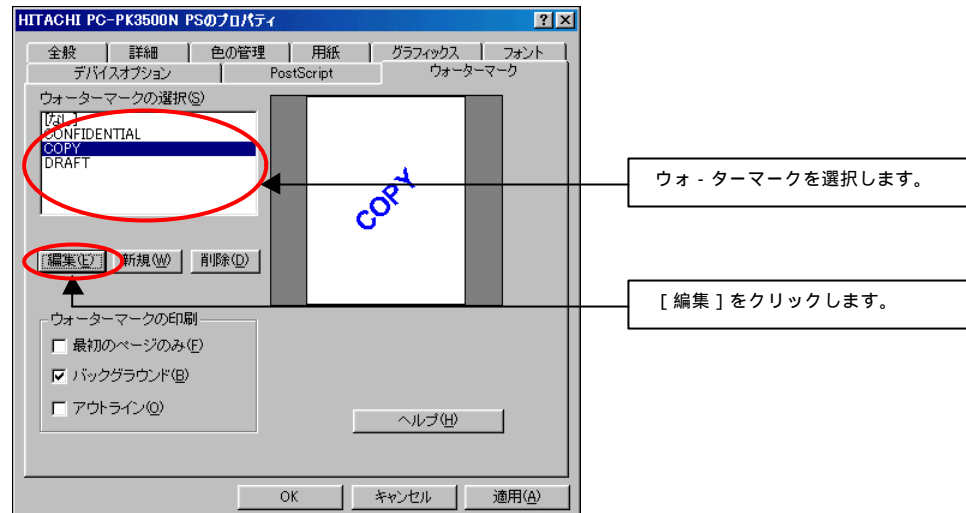
▼「新しいウォーターマーク」のプロパティが表示されます。

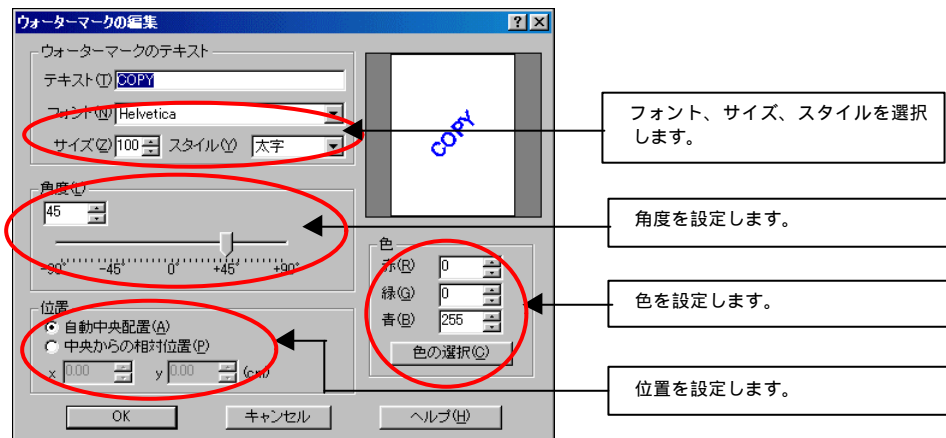
2.　「テキスト」､「フォント」､「サイズ」､「スタイル」､「角度」､「色」､「位置」を設定することができます。プレビュー画面で確認しながら設定して下さい。

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の?ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

(3)　既存のウォーターマークの編集

登録してあるウォーターマークを編集することができます。

設定手順

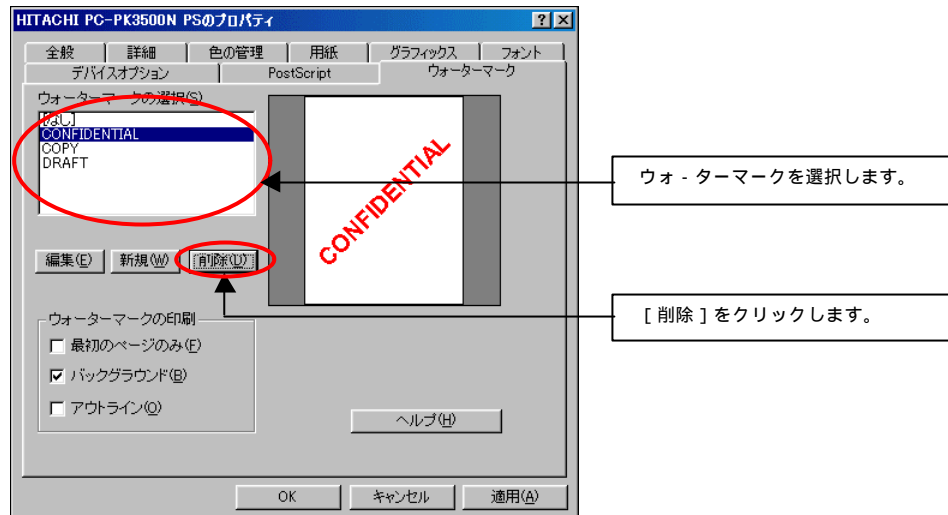
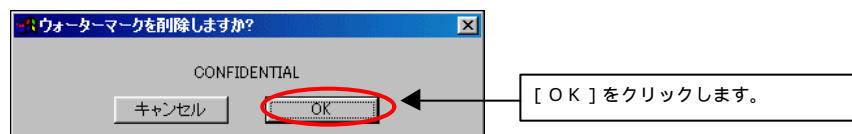
1.　編集するウォーターマークを選択し、［編集］ボタンをクリックします。

▼「ウォーターマークの編集」のプロパティが表示されます。

2.　ウォーターマークテキストの「フォント」、「サイズ」、「スタイル」、「角度」、「色」、「位置」を設定することができます。プレビュー画面で確認しながら設定して下さい。

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の［?］ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

(4)　ウォーターマークの削除

ウォーターマークを削除することができます。

設定手順

1.　削除するウォーターマークを選択し、［削除］ボタンをクリックします。

2.　削除する確認メッセージが表示されます。［OK］をクリックします。

3.　ウォータマークが削除されました。

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の?ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

第 4 章

Windows NT 4.0 での設定方法

第４章　WindowsNT4.0 での設定方法

１．オプションの設定

プリンタドライバのインストールが終了したら、プリンタに搭載されているオプションの設定を行います。オプションは、プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開いて設定します。設定項目は以下のとおりです。

両面ユニット	あり
	なし
カセット２	あり
	なし
カセット３	あり
	なし
ハードディスク	あり
	なし
カセット１　オプション (*1)	標準カセット
	ハガキアダプタ　(*2)
プリンタメモリ	64 MB RAM
	128 MB RAM
	192 MB RAM
	256 MB RAM

*1　「封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

*2 ハガキアダプタは、ハガキサイズに印刷するときにのみ設定します。

操作手順

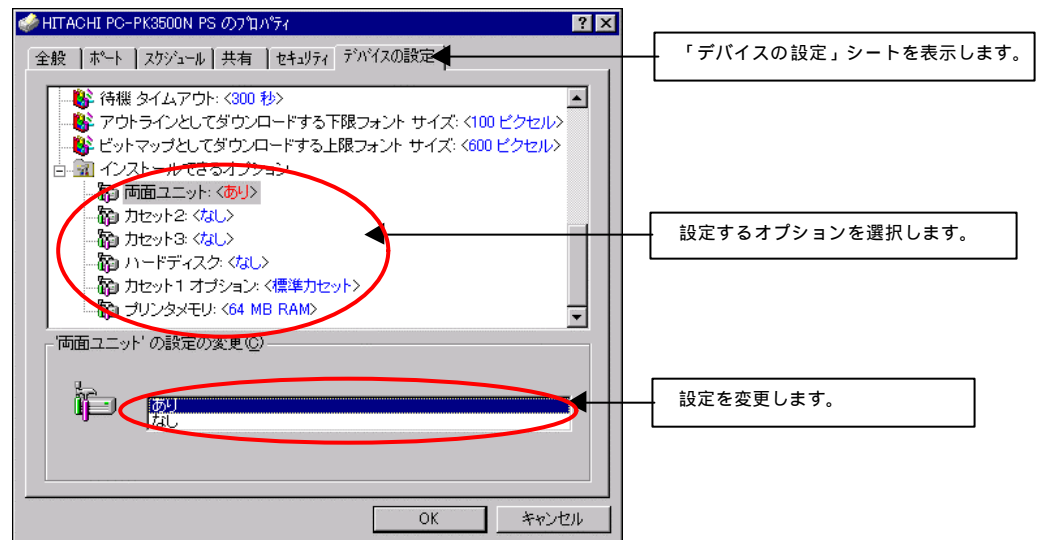
1.　スタートメニューから「設定(S)」-「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択します。

▼「ﾌﾟﾘﾝﾀ」フォルダが表示されます。

2.　「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択して、カーソルを合わせたまま右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が表示されます。

3.　「ﾃﾞﾊﾞｲｽの設定」シートを選択します。

4.　「インストールできるオプション」で、プリンタに搭載されているオプションを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

<以上でオプションの設定は終了です。>

２．プリンタ機能の使い方

プリンタの機能の設定をするには、プリンタのプロパティを開き、プリンタプロパティの各シートで印刷条件を設定します。プリンタプロパティを開くには次の２種類の方法があります。

- アプリケーションソフトからプリンタの「プロパティ」を開く。
- プリンタアイコンから「ドキュメントの既定値」を開く。

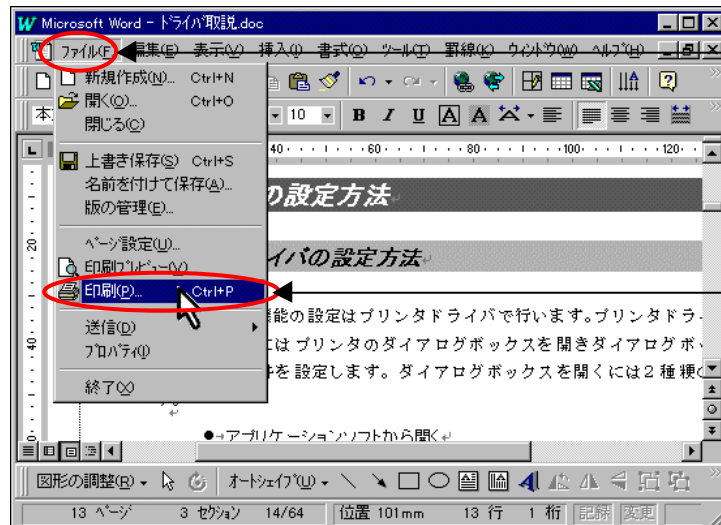
◆アプリケーションソフトからプリンタの「プロパティ」を開くのと、プリンタアイコンから「ドキュメントの既定値」を開くとで設定できる項目は同じです。設定した内容が、今回の印刷時のみ有効か、毎回有効になるかが異なります。

◆プリンタアイコンから「ドキュメントの既定値」を開いて設定する場合は、アドミニストレータの権限（フルコントロールアクセス権）が必要です。

2.1 アプリケーションソフトから「プロパティ」を開く

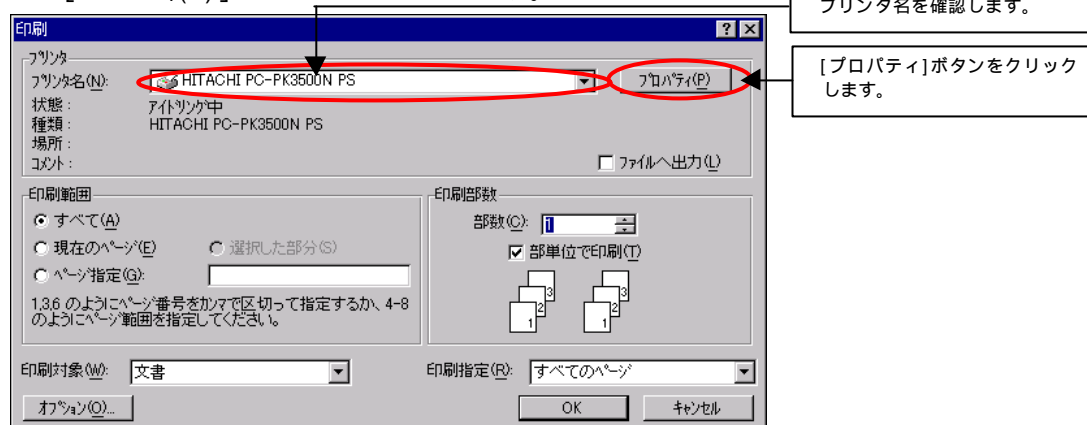
アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して下さい。ここではMicrosoft Word 97 を例に説明します。

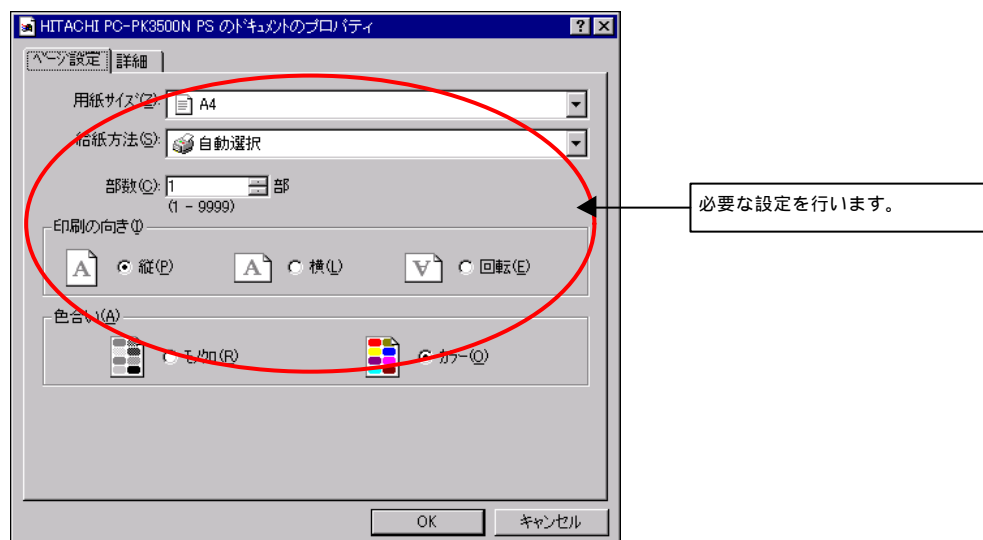
操作手順

1.　Microsoft Word 97 の「ﾌｧｲﾙ(F)」－「印刷(P)」メニューを選択します。

▼「印刷」のプロパティが表示されます。

2.　「ﾌﾟﾘﾝﾀ名(N)」で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)］ボタンをクリックします。

①プリンタ名を確認します。

②［プロパティ］ボタンをクリックします。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のﾄﾞｷｭﾒﾝﾄのプロパティ」が表示されます。

3.　必要な設定を行い［OK］ボタンをクリックすると設定が有効になります。

◆各設定項目の内容は、第４章の「３．プリンタドライバの詳細設定」またはヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の？ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

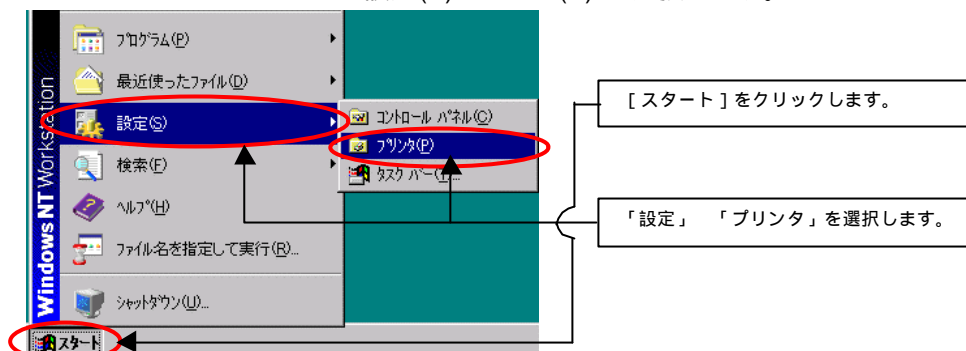
◆アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開くには、通常アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「印刷」メニューや「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」メニューから開きます。

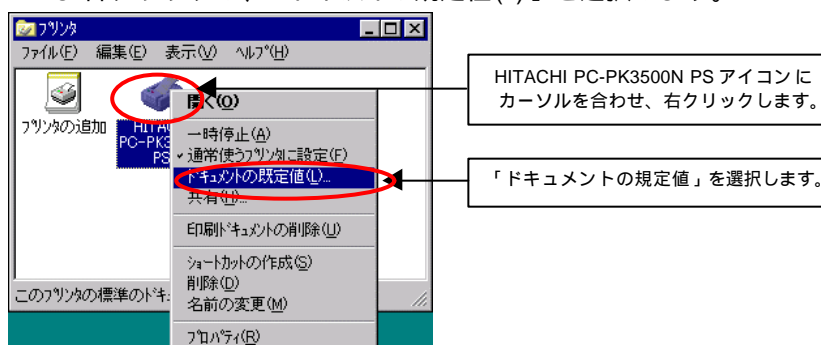
◆アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開けない場合、プリンタアイコンから「ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄの既定値」を開いて、印刷条件を設定してから、目的のアプリケーションソフトを起動します。

2.2 プリンタアイコンから「ドキュメントの既定値」を開く

プリンタアイコンからの「ドキュメントの既定値」のプロパティ設定は、全文書に関する標準設定ができます。

操作手順

1. スタートメニューから「設定(S)」-「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択します。

▼「ﾌﾟﾘﾝﾀ」フォルダが表示されます。

2. 「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択して、カーソルを合わせたまま右クリックし、「ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄの既定値(L)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS の既定のﾄﾞｷｭﾒﾝﾄのプロパティ」が表示されます。

3. 必要な設定を行い［OK］ボタンをクリックすると設定が有効になります。

お願い

◆ 各設定項目の内容は、第４章の「３．プリンタドライバの詳細設定」またはヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

３．プリンタドライバの詳細設定

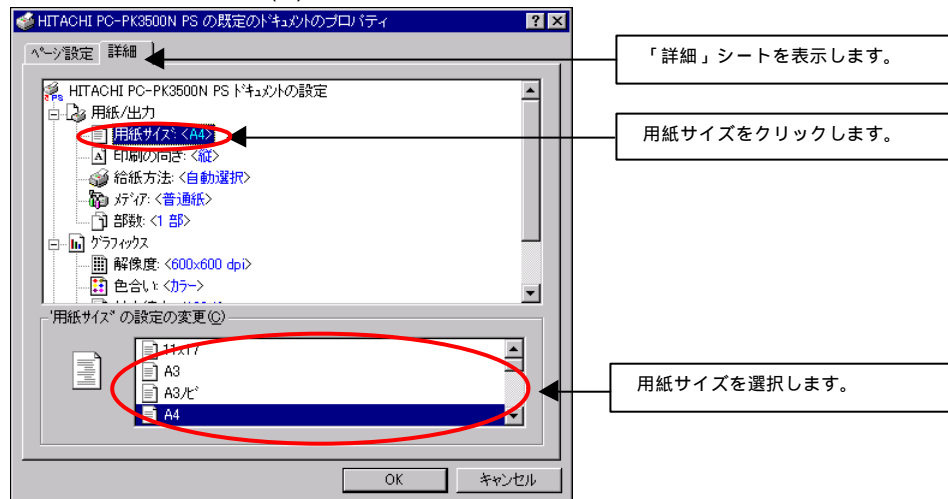
アプリケーションソフトからプリンタの「ドキュメントのプロパティ」を開いて設定するか、プリンタアイコンから「既定のドキュメントのプロパティ」を開いて設定します。

3.1 用紙サイズの設定

印刷する用紙サイズを設定します。本プリンタで印刷できる用紙サイズは、「Executive」、「Letter」、「Legal」、「A3」、「A3ノビ」、「A4」、「11×17」、「B4」、「B5-JIS」、「B5-ISO」、「ハガキ」「PostScript カスタムページサイズ」です。

操作手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。

2. 「詳細」シートの用紙／出力で「用紙サイズ」をクリックして、下の「用紙サイズの設定の変更(C)」で用紙サイズを選択します。

♦ 上記用紙サイズ以外の用紙を指定しないで下さい。上記以外の用紙サイズを指定した場合、上記サイズの中で一番近い用紙サイズで印刷されます。

♦ カセット２及びカセット３から Executive、A3ノビ、ハガキ、PostScript カスタムページサイズのそれぞれの用紙サイズに印刷することはできません。

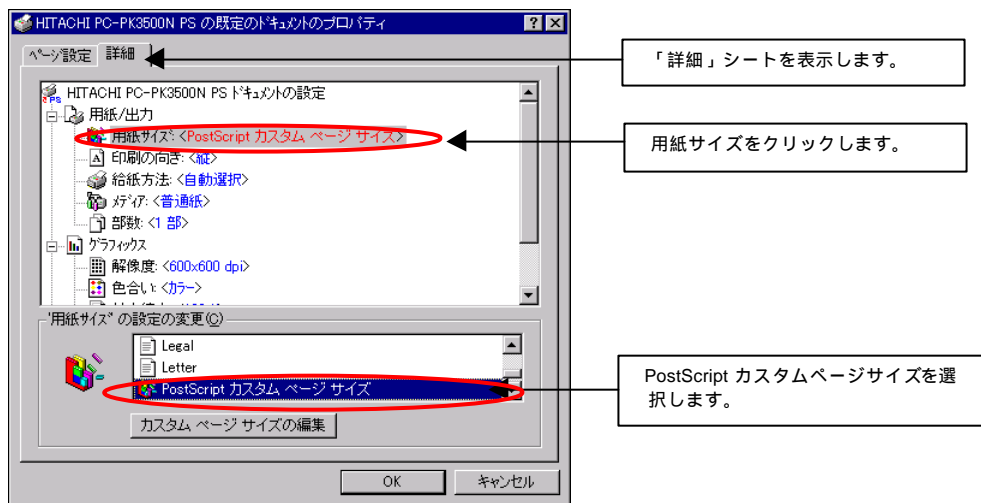
♦ ハガキサイズに印刷するためにはハガキアダプタが必要です。また給紙方法を「カセット１ ハガキアダプタ」に設定する必要があります。詳しい設定方法は、第４章「3.4 給紙方法の変更 (2)ハガキアダプタを使用する場合」を参照して下さい。

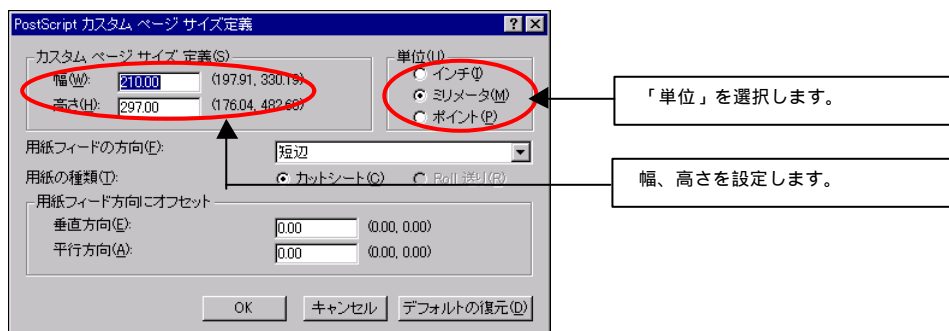
♦ 「Commercial #10」および「International DL」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

3.2 PostScript カスタムページサイズの設定

カスタムページサイズを定義します。「カスタムページサイズ定義」、「単位（インチ、ミリメータまたはポイント）」、「用紙フィードの方向」、「用紙の種類」、「用紙フィード方向にオフセット」を設定することができます。

操作手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの用紙／出力で「用紙サイズ」を選択します。
3. 用紙サイズの設定の変更で用紙サイズを選択します。「PostScript カスタムページサイズ」を選択した場合、［カスタムページサイズの編集］ボタンでカスタムページサイズを設定します。［カスタムページサイズの編集］ボタンをクリックします。

▼「PostScript カスタムページサイズ定義」画面が表示されます。

4. 「単位」を選択し、カスタムページサイズ定義で「幅」、「高さ」を設定します。

- 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。
- アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」から PostScript カスタムページサイズを選択する場合は、必ずこの設定手順で設定してから、選択して下さい。

3.3 印刷の向きの設定

ドキュメントを印刷する向きを指定します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの用紙／出力で「印刷の向き」を選択します。「印刷の向きの設定の変更(C)」で印刷の向きを設定します。

◆「印刷の向き」を指定することで用紙を縦長に使う（ポートレイト）か、横長に使う（ランドスケープ）かを設定できます。また、「回転」を指定すると「横＋180°回転」して印刷されます。

3.4 給紙方法の変更

印刷するドキュメントをどの給紙部から出力するかを選択します。給紙方法は「自動選択」、「カセット１」、「カセット１　ハガキアダプタ」、「カセット２」、「カセット３」の中から選択します。

- 「カセット２」、「カセット３」、「カセット１　ハガキアダプタ」を設定する前に、必ず「インストールできるオプション」で「カセット２」、「カセット３」の設定を「あり」、「カセット１オプション」の設定を「ハガキアダプタ」にして下さい。
- 「自動選択」以外の特定のカセットを選択する場合は、必ず「自動カセット選択」を「オフ」にして下さい。
- 「カセット１　封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

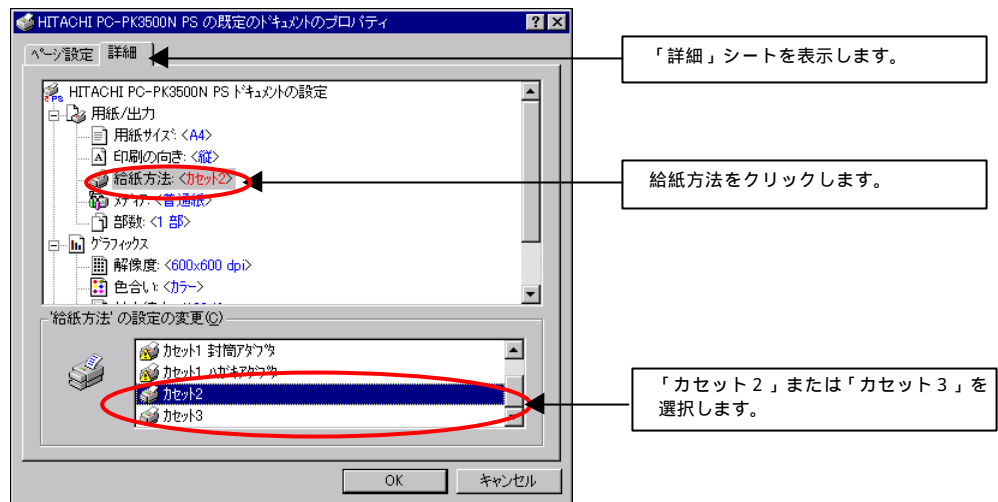
(1)　カセット２，カセット３を使用する場合

用紙サイズが「Letter」、「Legal」、「11×17」、「A3」、「A4」、「B4」、「B5-JIS」、「B5-ISO」のときに使用することができます。
使用する用紙をカセット２またはカセット３にセットします。

設定手順

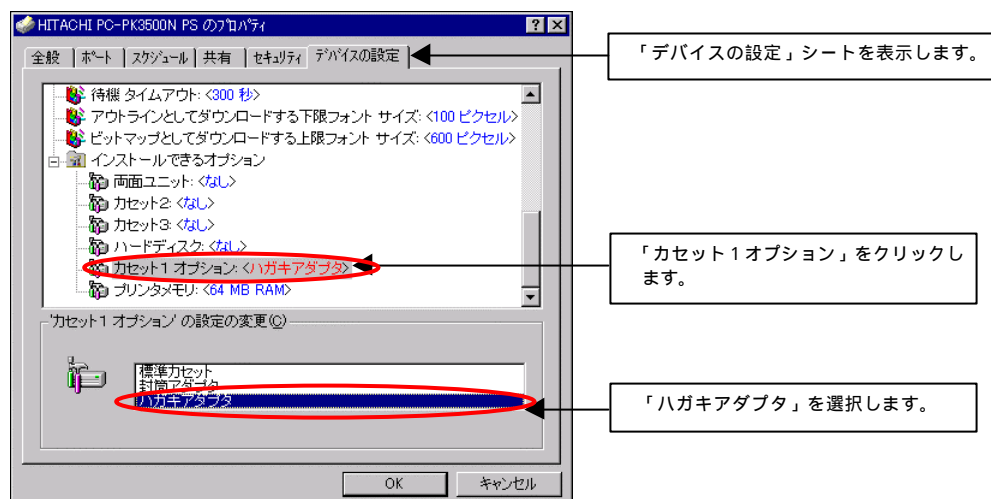
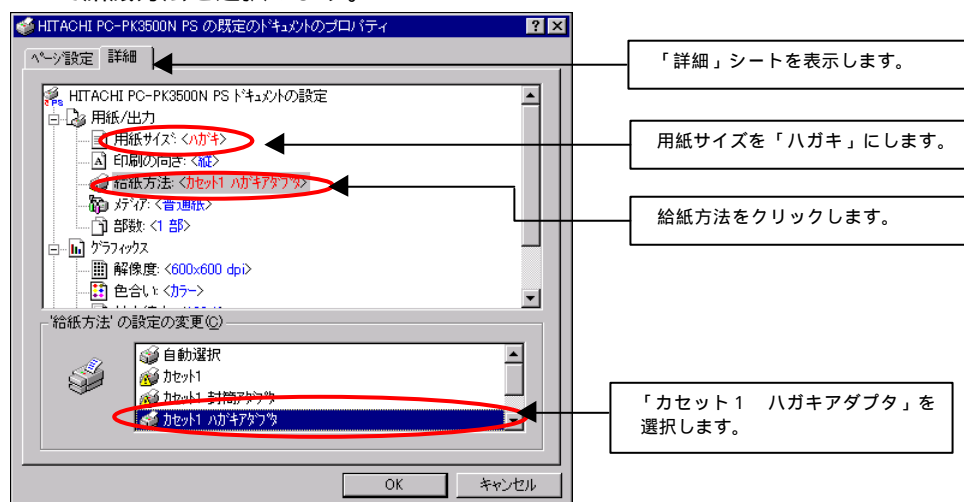
1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストールできるオプション」で「カセット２」または「カセット３」の設定を「あり」にし、［OK］ボタンをクリックします。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。

4. 「詳細」シートで用紙／出力の給紙方法を選択します。給紙方法の設定の変更で給紙方法を選択します。

(2)　ハガキアダプタを使用する場合

用紙サイズが「ハガキ」のときのみ使用することができます。

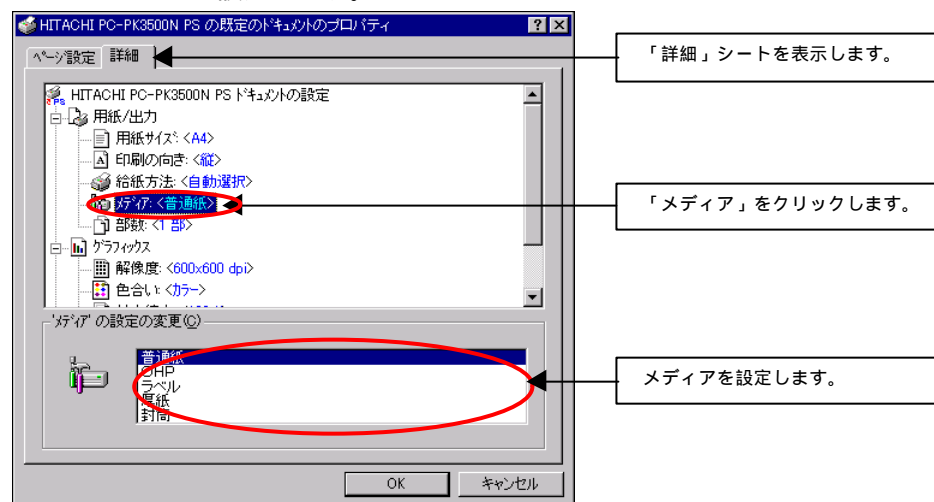
設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストールできるオプション」で「カセット１オプション」設定を「ハガキアダプタ」にしてプロパティ画面を閉じます。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
4. 「詳細」シートで用紙／出力の給紙方法を選択します。給紙方法の設定の変更で給紙方法を選択します。

3.5 用紙種類の変更

印刷を行う用紙の種類を変えて印刷することができます。「普通紙」、「OHP」、「ラベル」、「厚紙」から選択します。

♦ 「封筒」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

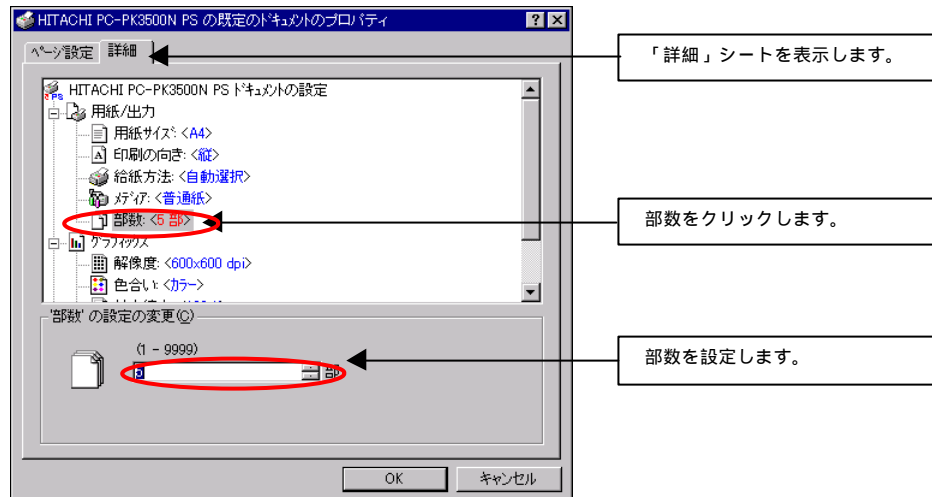
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの用紙／出力で「ﾒﾃﾞｨｱ」を選択します。「ﾒﾃﾞｨｱの設定の変更」でメディアを設定します。

♦ 「OHP」、「ラベル」、「厚紙」を指定すると、給紙方法の設定にかかわらず、カセット１から印刷されます。これらの用紙種類はカセット１に給紙して下さい。

3.6 印刷部数の指定

印刷する部数を設定します。アプリケーションからも設定できます。設定範囲は 1～999 部の範囲です。

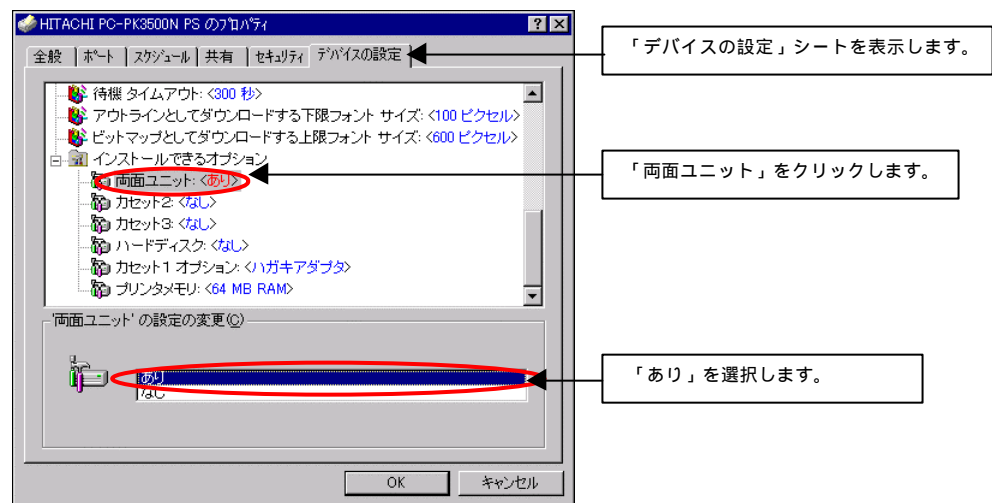
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの用紙／出力で「部数」を選択します。部数の設定の変更で部数を設定します。

3.7 両面印刷の設定

両面ユニットが追加されている場合に、両面印刷の設定を選択することができます。設定方法は｢なし｣、｢長い辺｣、｢短い辺｣の中から選択できます。

- ◆両面印刷を設定する前に、必ず「インストールできるオプション」で「両面ユニット」の設定を「あり」に設定して下さい。
- ◆両面印刷の設定で、「なし」は両面印刷を「しない」ことを意味します。

設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストールできるオプション」で両面ユニットの設定を「あり」にし、プロパティ画面を閉じます。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
4. 「詳細」シートの両面印刷の設定で両面印刷時の綴じ位置（「長い辺」または「短い辺」）を選択します。

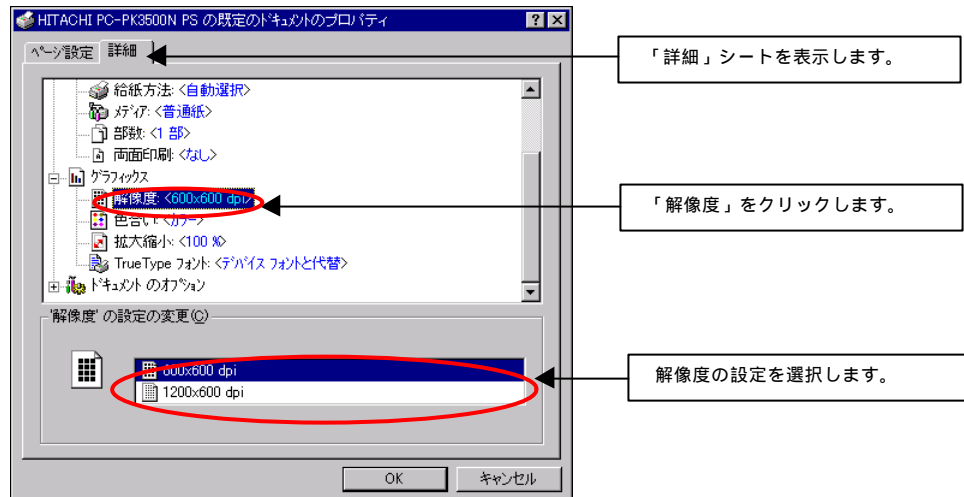
1　　1　　1

なし（片面印刷）　長い辺　短い辺

3.8 解像度の設定

印刷する解像度を選択します。解像度は 600×600dpi、1200×600dpi から選択します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのグラフィックスで「解像度」を選択します。「解像度の設定の変更」で解像度を設定します。

3.9 色合いの設定

カラー出力するか、グレースケール出力するかを選択します。

設定手順

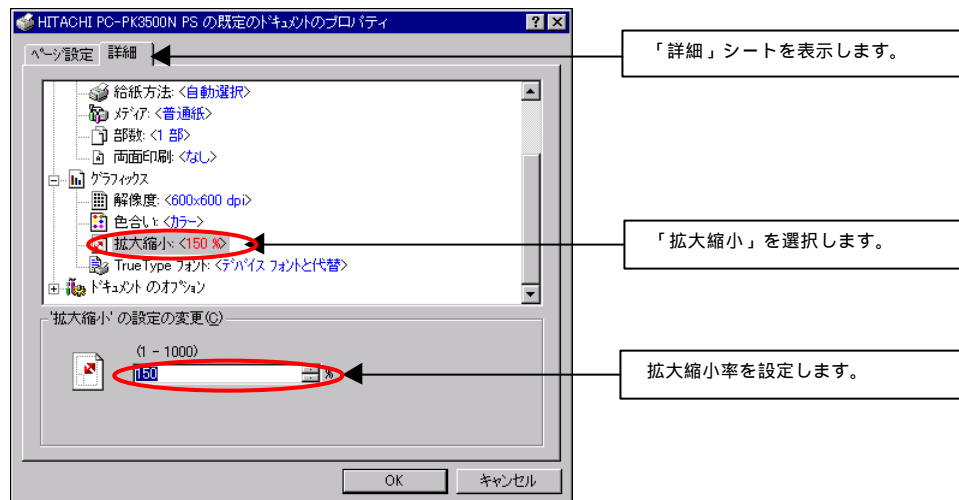
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのグラフィックスで「色合い」を選択します。色合いの設定の変更で色合いを設定します。

◆ モノクロ印刷を行う場合は、必ずカラーモードを「モノクロ」に設定して下さい。「色合い」で「モノクロ」を指定して印刷すると正しく印刷できないことがあります。詳しい設定方法は第４章「3.13　カラーモード」を参照して下さい。

3.10 拡大/縮小印刷

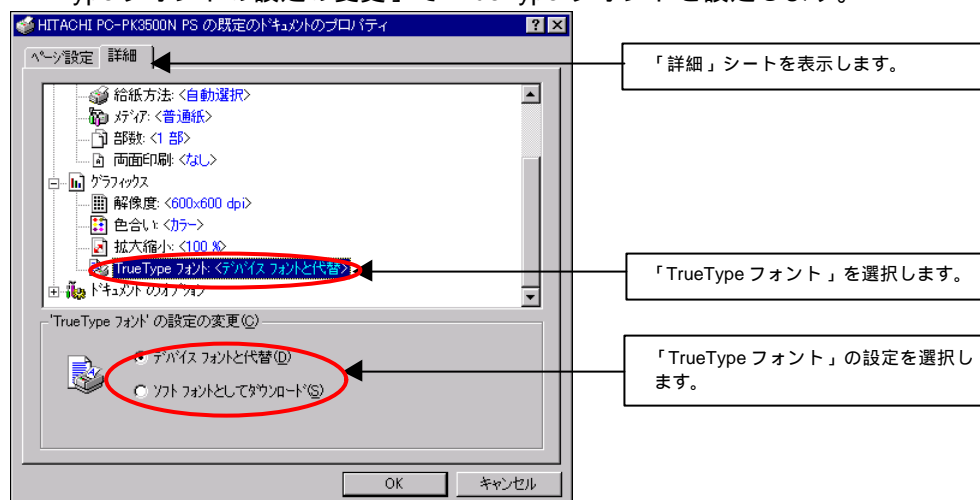
ドキュメントを拡大または縮小する割合を指定します。設定範囲は 1%～1000%で、任意の倍率で拡大縮小印刷を指定できます。ただし、拡大して印刷する場合は指定の用紙サイズに収まる範囲だけが印刷され、用紙サイズからはみ出した部分は印刷されません。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの「ｸﾞﾗﾌｨｯｸｽ」で「拡大縮小」を選択します。「拡大縮小の設定の変更」で拡大縮小率を設定します。

3.11 フォントの設定

「デバイスフォントと代替」か「ソフトフォントとしてダウンロード」するかを指定します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのグラフィックスで「TrueType フォント」を選択します。「TrueType フォントの設定の変更」で TrueType フォントを設定します。

●「デバイスフォントと代替」の場合

デフォルトでは TrueType フォントが入っている文書は、プリンタフォントを使って印刷されます。

●「ソフトフォントとしてダウンロード」の場合

プリントフォントを使わずにダウンロード TrueType フォントを使って文書を印刷します。

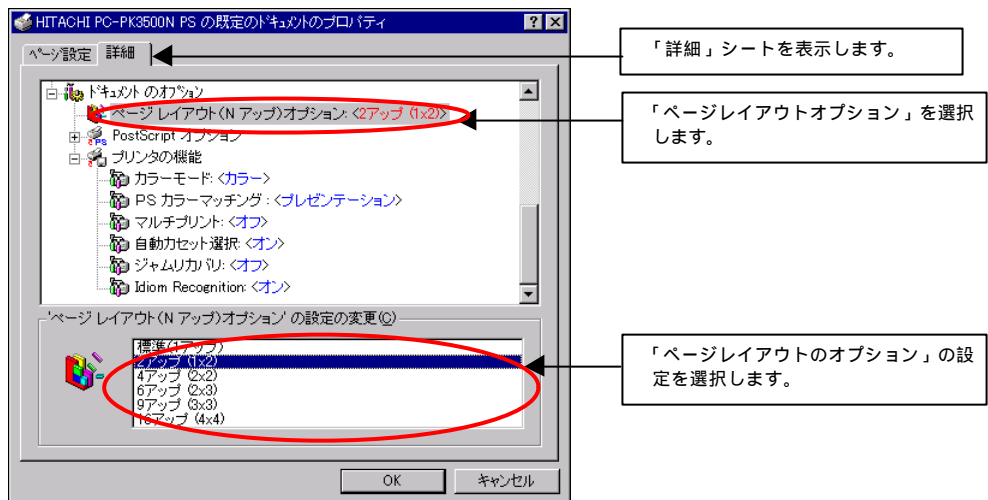
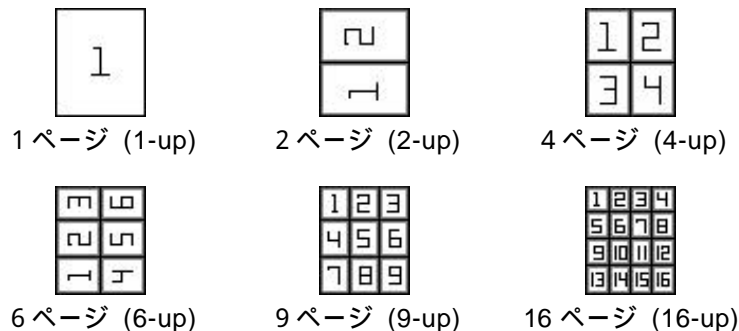
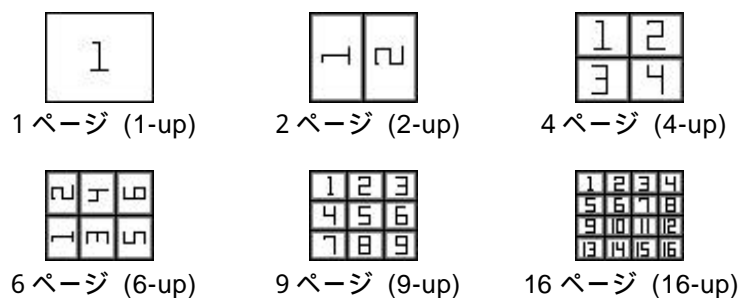
♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

3.12 レイアウトの変更

2 ページ、4 ページ、6 ページ、9 ページ、16 ページ分の原稿を縮小して並べて 1 枚の用紙に印刷することができます。印刷レイアウトの設定はプリンタドライバから行います。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。

2. 「詳細」シートのドキュメントのオプションで「ページレイアウト（Nアップ）オプション」を選択します。「ページレイアウトオプションの設定の変更」でページレイアウトを選択します。

●印刷方向が縦の場合（ポートレイト）

1ページ (1-up)　2ページ (2-up)　4ページ (4-up)

6ページ (6-up)　9ページ (9-up)　16 ページ (16-up)

●印刷方向が横の場合（ランドスケープ）

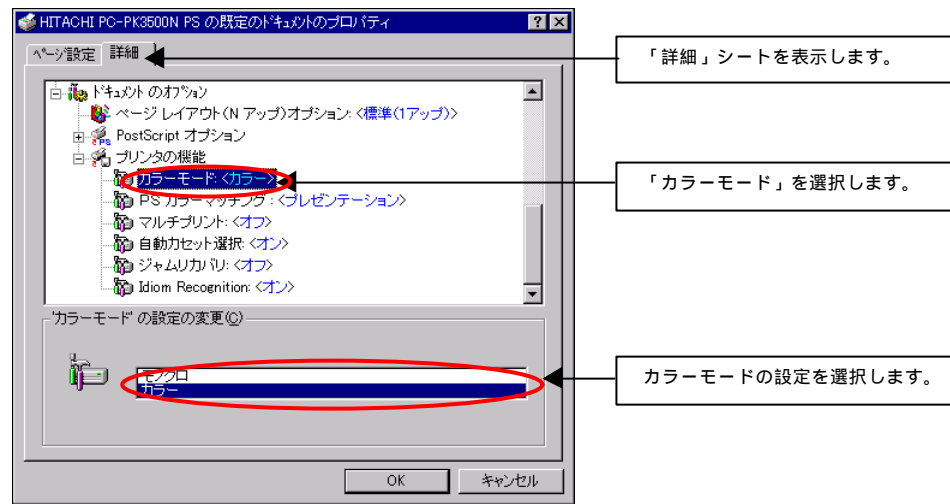
1ページ (1-up)　2ページ (2-up)　4ページ (4-up)

6ページ (6-up)　9ページ (9-up)　16 ページ (16-up)

3.13 カラーモードの設定

カラーモードを選択します。印刷目的に合わせて「カラー」または「モノクロ」から選択します。

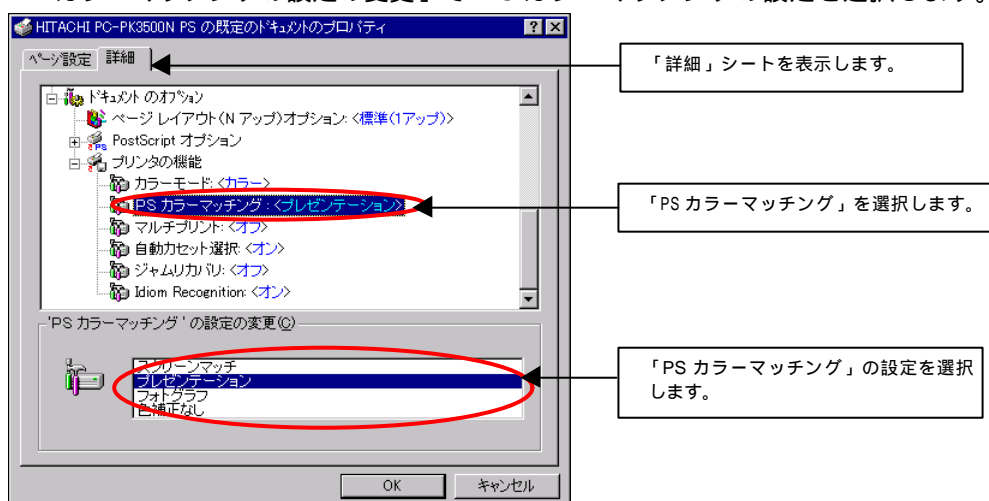
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのドキュメントのオプションのプリンタの機能で「カラーモード」を選択します。「カラーモードの設定の変更」でカラーモードを選択します。

3.14 PS カラーマッチングの設定

カラーデータを印刷する際に、目的に合わせて色補正の種類を選択することができます。その種類は「スクリーンマッチ」、「プレゼンテーション」、「フォトグラフ」、「色補正なし」から選択します。通常は「プレゼンテーション」設定されています。

スクリーンマッチ	画面と印刷結果のそれぞれの色を、可能な限り近いものに再現します。
プレゼンテーション	鮮やかさを強調します。プレゼンテーション資料を印刷するときに最適です。
フォトグラフ	写真などの画像を印刷するときに最適です。
色補正なし	補正を必要としないときに使用します。

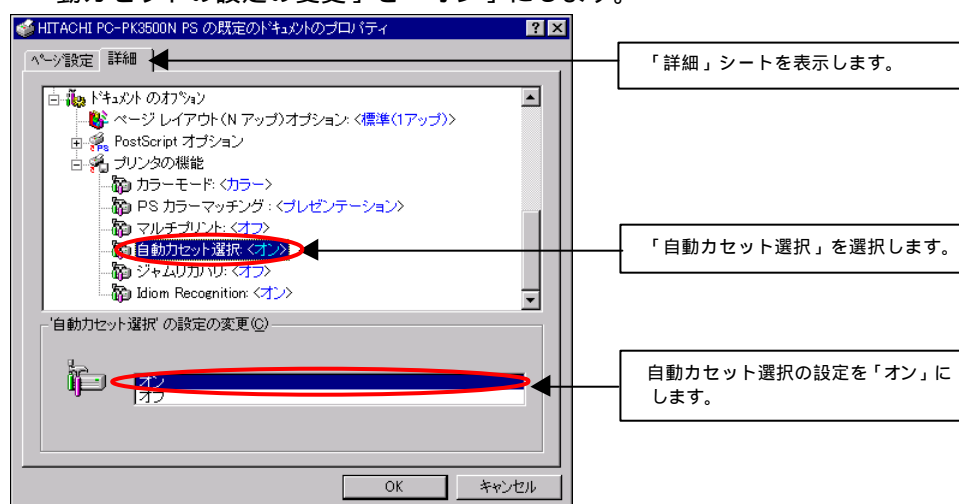
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのプリンタの機能で「PS カラーマッチング」を選択します。「PS カラーマッチングの設定の変更」で PS カラーマッチングの設定を選択します。

3.15 自動カセット選択の設定

指定した用紙サイズが入っている用紙カセットを、自動で選択するかしないかを設定します。この設定は、カセット２または、カセット２およびカセット３の両方がプリンタに搭載されているときに有効です。

例えば、自動カセット選択が「オン」の場合、印刷中にカセット１が用紙切れになると、全カセットを検索し、カセット２に指定の用紙サイズがあればカセット２から、カセット２になければカセット３からという順番でカセットを自動検索して給紙します。
自動カセット選択が「オフ」の場合、自動検索は行いません。カセット１に用紙切れが発生した場合、指定した用紙サイズを補給するようプリンタパネルにメッセージが表示されます。

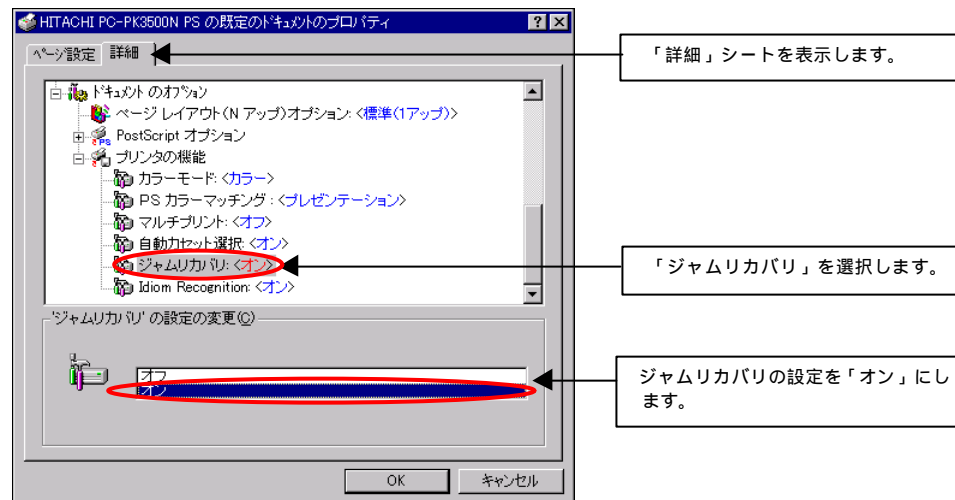
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのプリンタの機能で「自動カセット選択」を選択します。「自動カセットの設定の変更」を「オン」にします。

♦ 自動カセット選択を「オン」に設定する場合は、給紙方法で「自動選択」を選択して下さい。（第４章「3.4 給紙方法の変更」参照。）

3.16 ジャムリカバリの設定

用紙がつまったときに、紙づまりを起こしたページから印刷を開始するかしないかを設定します。「オフ」に設定した場合、紙づまりが起きたページが印刷されないことがあります。「オン」に設定した場合、紙づまりが起きたページから自動的に再印刷します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのプリンタの機能で「ジャムリカバリ」を選択します。「ジャムリカバリの設定の変更」で「オン」を選択します。

3.17 Idiom Recognition（熟語認識機能）の設定

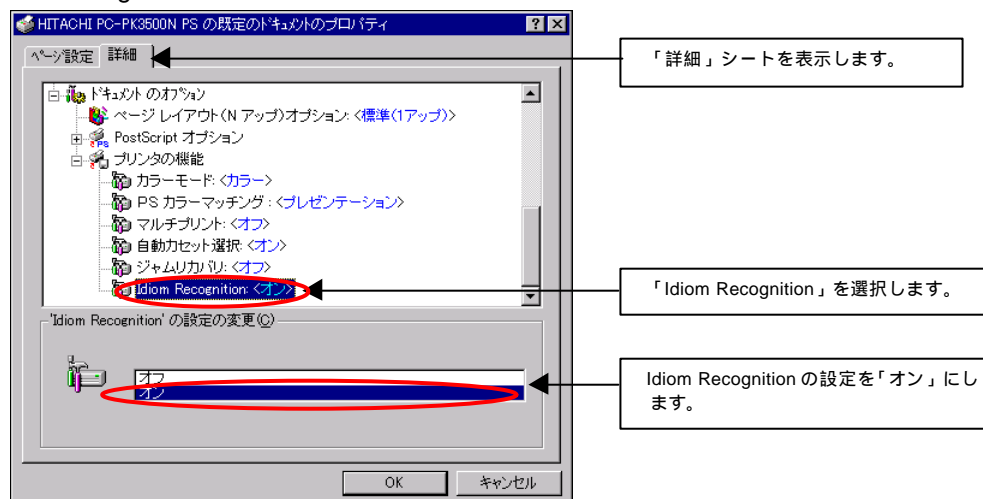
熟語認識機能を使用するか使用しないかを設定します。

「オン」が設定されているときは、プリンタドライバが、どのアプリケーションソフトが起動しているか、またそのアプリケーションソフトがどんな命令を呼び出しているかを認識し、アプリケーションソフトのもつニュアンスを考慮し、それをできるだけ高速に印刷できるよう調整します。また、アプリケーションソフトが生成したデータを自動的に PostScript 3 の言語構造に変換し、プリントのクォリティとパフォーマンスを高めます。

「オフ」が設定されているときは、これらの調整・変換は行いません。

「オン」に設定して予期せぬ結果が生じた場合は、「オフ」にして下さい。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートのプリンタの機能で「Idiom Recognition」を選択します。「Idiom Recognition」の設定の変更で「オン」を選択します。

3.18 マルチプリントの設定

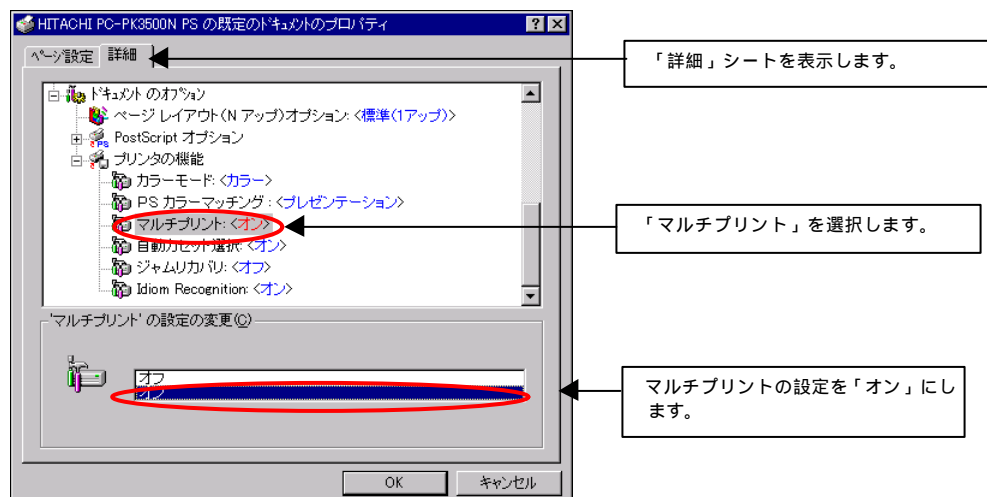
ハードディスクがプリンタに搭載されている場合に、マルチプリントを設定することができます。マルチプリントは２ページ以上のデータで部数が２部以上のときに有効です。

例えば、３ページデータを２部印刷する場合、通常 1、1、2、2、3、3 と印刷されますが、マルチプリントを「オン」に設定すると、1、2、3、1、2、3 と印刷されます。

- ♦ マルチプリントを設定する前に、必ず「インストールできるオプション」で「ハードディスク」の設定を「あり」に設定して下さい。
- ♦ マルチプリントを「オン」に設定する場合は、アプリケーションソフトの部単位印刷を「オフ」にして下さい。

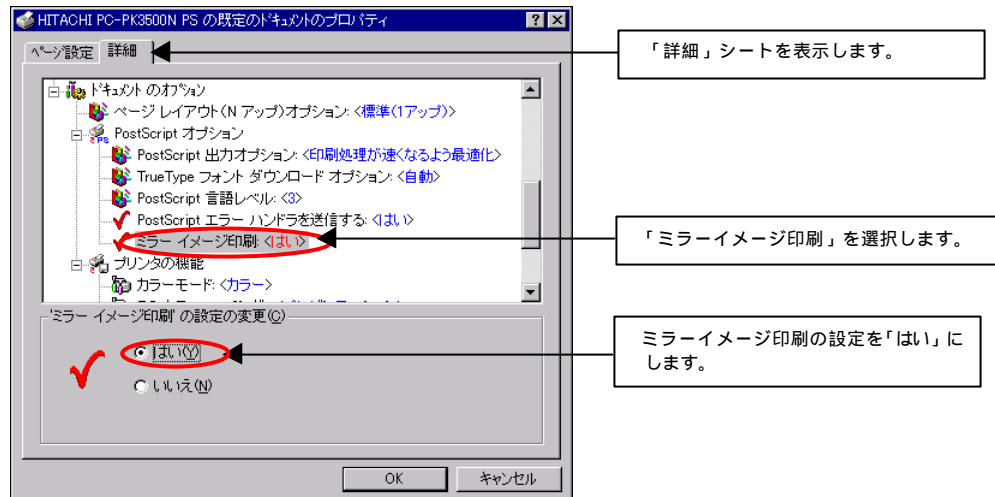
設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストールできるオプション」で「ハードディスク」の設定を「あり」にします。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
4. 「詳細」シートのプリンタの機能で「マルチプリント」を選択します。マルチプリントの設定を「オン」にします。

3.19 ミラーイメージ印刷

ミラーイメージ印刷は印刷を行うイメージを左右反転して印刷します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「既定のドキュメントのプロパティ」を開きます。
2. 「詳細」シートの PostScript オプションで「ミラーイメージ印刷」の設定を「はい」にします。

第４章

Windows2000/XP からの印刷

第５章　Windows2000/XP での設定方法

１．オプションの設定

プリンタドライバのインストールが終了したら、プリンタに搭載されているオプションの設定を行います。オプションは、プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開いて設定します。設定項目は以下のとおりです。

両面ユニット	あり
	なし
カセット２	あり
	なし
カセット３	あり
	なし
ハードディスク	あり
	なし
カセット１　オプション (*1)	標準カセット
	ハガキアダプタ (*2)
プリンタメモリ	64 MB RAM
	128 MB RAM
	192 MB RAM
	256 MB RAM

*1 「封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

*2 ハガキアダプタは、ハガキサイズに印刷するときにのみ設定します。

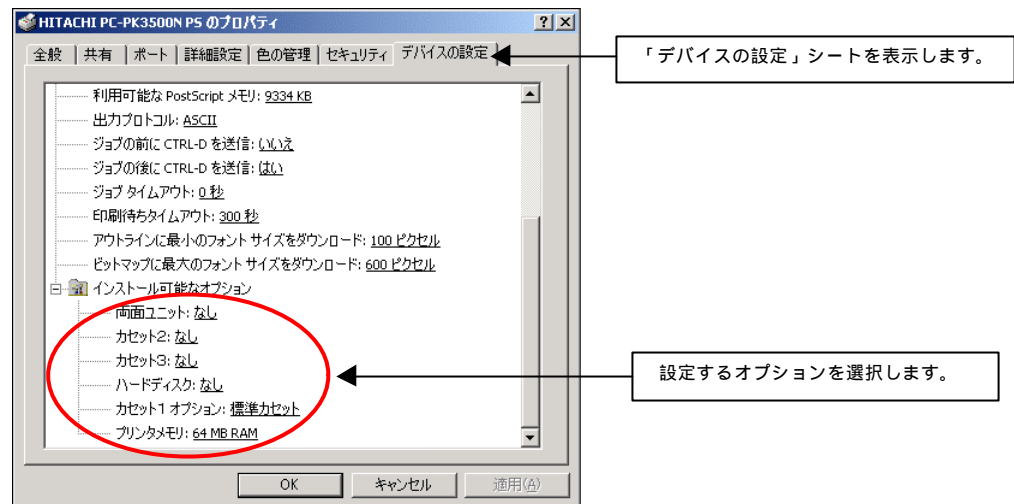
操作手順

1. Windows2000 をお使いの方は、タスクバーのスタートから「設定(S)」-「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択して、プリンタフォルダを開きます。
   WindowsXP をお使いの方は、タスクバーのスタートから「コントロールパネル」を選択し、その中の「プリンタと FAX」アイコンを開きます。

2. 「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択して、カーソルを合わせたまま右クリックし、「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(R)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」が表示されます。

3.　「ﾃﾞﾊﾞｲｽの設定」シートを選択します。

4.　「インストール可能なオプション」で、プリンタに搭載されているオプションを設定し、[OK]ボタンをクリックします。

<以上でオプションの設定は終了です。>

２．プリンタ機能の使い方

プリンタの機能の設定をするには、プリンタのプロパティを開き、プリンタプロパティの各シートで印刷条件を設定します。プリンタプロパティを開くには次の２種類の方法があります。

- アプリケーションソフトからを開く。
- プリンタアイコンからを開く。

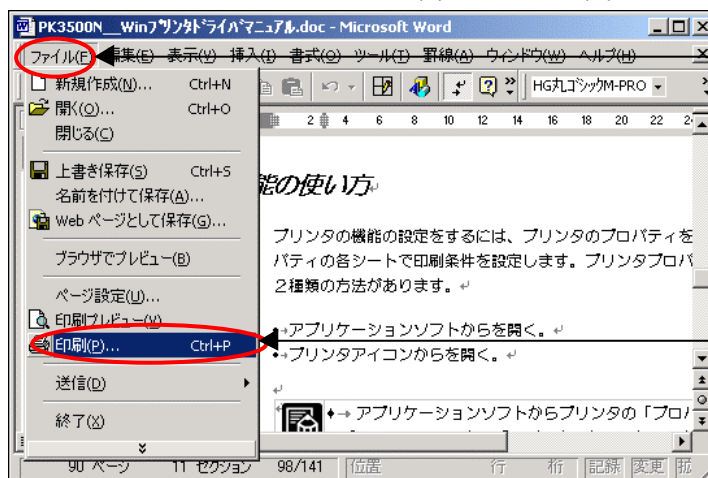
♦ アプリケーションソフトからプリンタの「プロパティ」を開くのと、プリンタアイコンから「印刷設定」を開くとで設定できる項目は同じです。設定した内容が、今回の印刷時のみ有効か、毎回有効になるかが異なります。

♦ プリンタアイコンから「印刷設定」を開いて設定する場合は、アドミニストレータの権限（フルコントロールアクセス権）が必要です。

2.1 アプリケーションソフトから開く

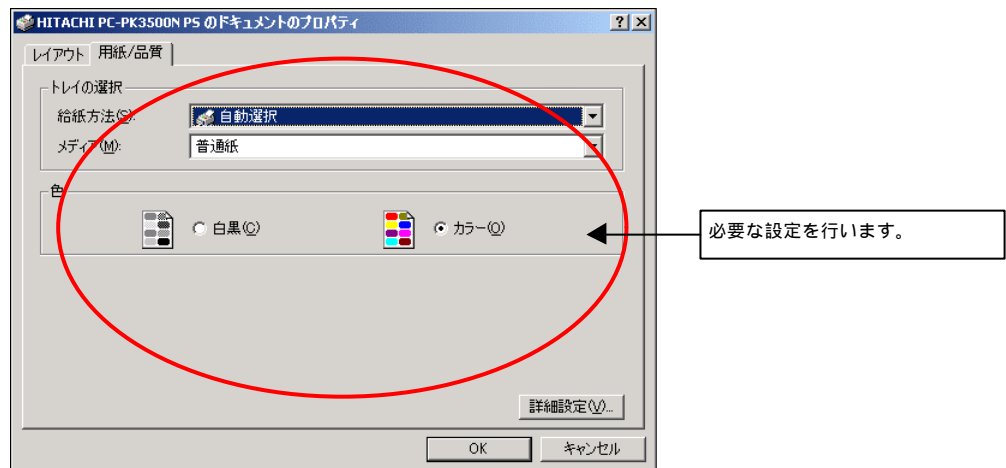
アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開く方法は、アプリケーションソフトにより異なります。詳しくは各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して下さい。ここでは Microsoft Word 2000 を例に説明します。

操作手順

1.　Microsoft Word 2000 の「ﾌｧｲﾙ(F)」－「印刷(P)」メニューを選択します。

▼「印刷」のプロパティが表示されます。

2.　「ﾌﾟﾘﾝﾀ名(N)」で「HITACHI PC-PK3500N PS」が選択されているのを確認し、［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ(P)］ボタンをクリックします。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS のﾄﾞｷｭﾒﾝﾄのプロパティ」が表示されます。

3.　必要な設定を行い［OK］ボタンをクリックすると設定が有効になります。

♦ 各設定項目の内容は、第５章「３．プリンタドライバの詳細設定」またはヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

♦ アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開くには、通常アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「印刷」メニューや「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」メニューから開きます。

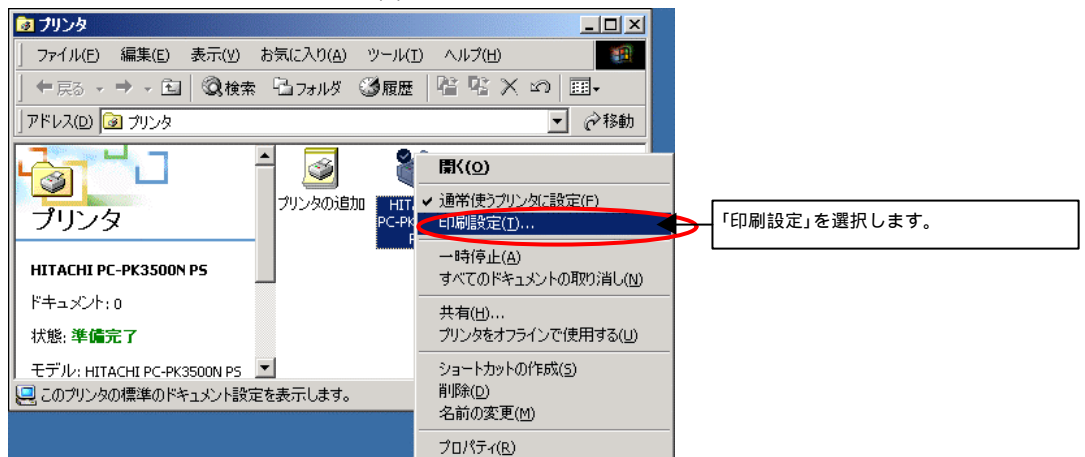
♦ アプリケーションソフトからプリンタのプロパティを開けない場合、プリンタアイコンから「印刷設定」を開いて、印刷条件を設定してから、目的のアプリケーションソフトを起動します。

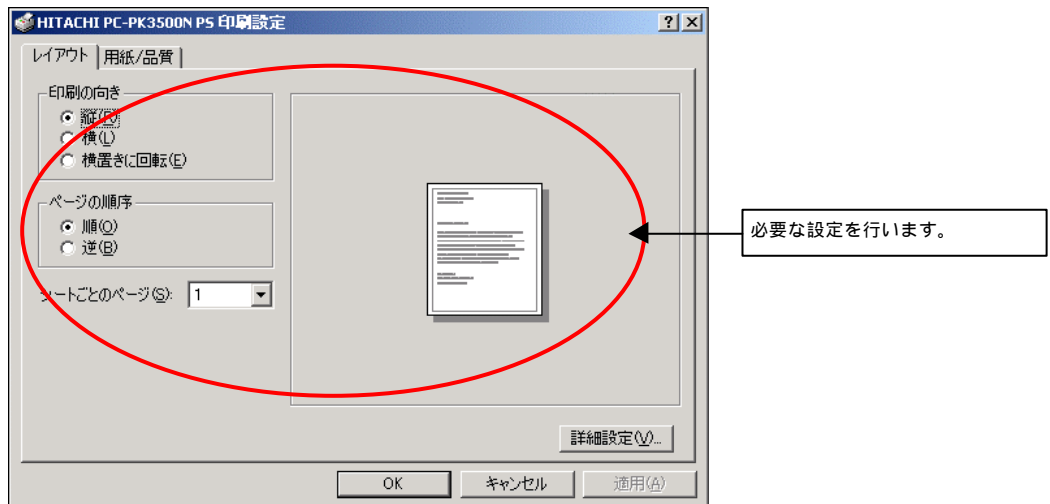
2.2 プリンタアイコンから開く

プリンタプロパティをアプリケーションソフトから開くことができない場合は、プリンタアイコンを開いてプリンタドライバを設定します。

操作手順

1. Windows2000 をお使いの方は、タスクバーのスタートから「設定(S)」-「ﾌﾟﾘﾝﾀ(P)」を選択して、プリンタフォルダを開きます。
   WindowsXP をお使いの方は、タスクバーのスタートから「コントロールパネル」を選択し、その中の「プリンタと FAX」アイコンを開きます。

2. 「HITACHI PC-PK3500N PS」のアイコンを選択して、カーソルを合わせたまま右クリックし、「印刷設定(T)」を選択します。

▼「HITACHI PC-PK3500N PS の印刷設定」が表示されます。

3. 必要な設定を行い［OK］ボタンをクリックすると設定が有効になります。

◆ 各設定項目の内容は、第５章「３．プリンタドライバの詳細設定」またはヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

３．プリンタドライバの詳細設定

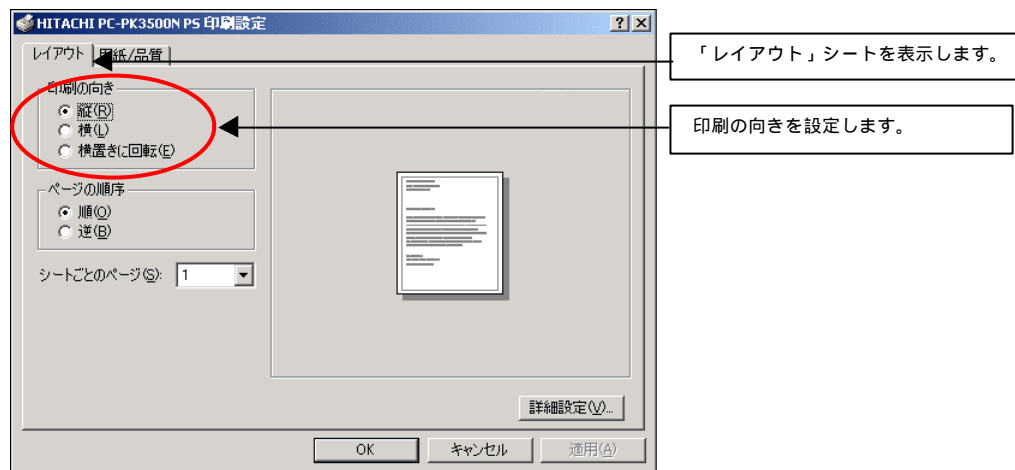
プリンタドライバの詳細設定はプリンタプロパティを開いて各項目を設定します。プリンタプロパティを開く方法は、第５章「２．プリンタ機能の使い方」を参照してください。

3.1 印刷の向きの設定

ドキュメントを印刷する向きを指定します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

2. 「レイアウト」シートを表示し、「印刷の向き」で設定する項目のラジオボタンをクリックします。

◆「印刷の向き」を指定することで用紙を縦長に使う（ポートレイト）か、横長に使う（ランドスケープ）かを設定できます。また、「横向きに回転」を指定すると、「横＋180°回転」して印刷します。

縦

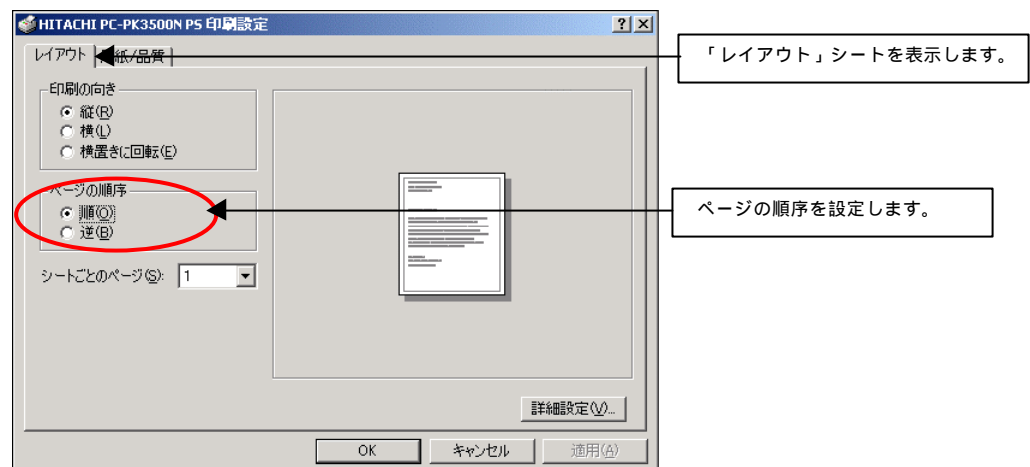
横

回転

3.2 ページの順序設定

印刷するドキュメントのページの順序を指定します。「順」では、１ページ目が一番上になるようにドキュメントが印刷されます。「逆」では、１ページ目が一番下になるようにドキュメントが印刷されます。

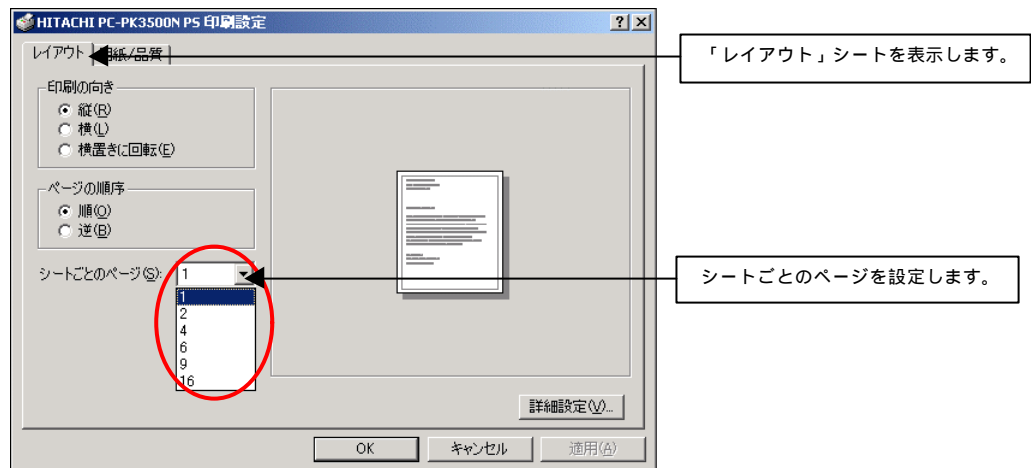
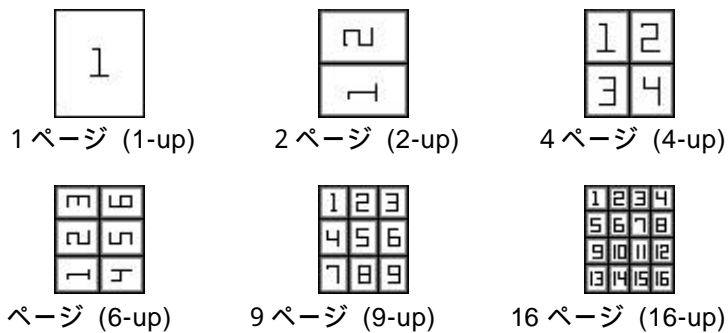
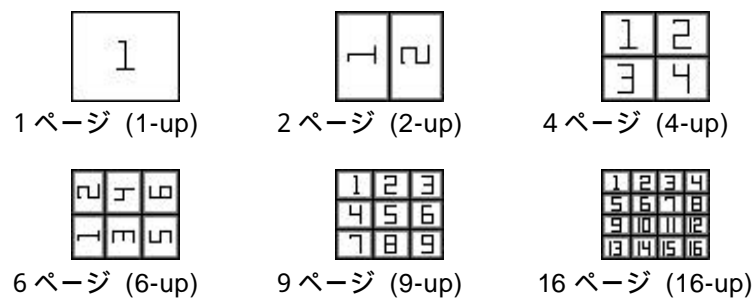
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートを表示し、「ページの順序」で設定する項目のラジオボタンをクリックします。

◆ レイアウトのページの順序は通常は順方向でご使用願います。逆順をご使用する場合、PC のシステム等によっては期待通りの印刷出力とならない場合があります。その場合は順方向で印刷してください。

3.3 レイアウトの変更

2 ページ、4 ページ、6 ページ、9 ページ、16 ページ分の原稿を縮小して並べて 1 枚の用紙に印刷することができます。印刷レイアウトの設定はプリンタドライバから行います。

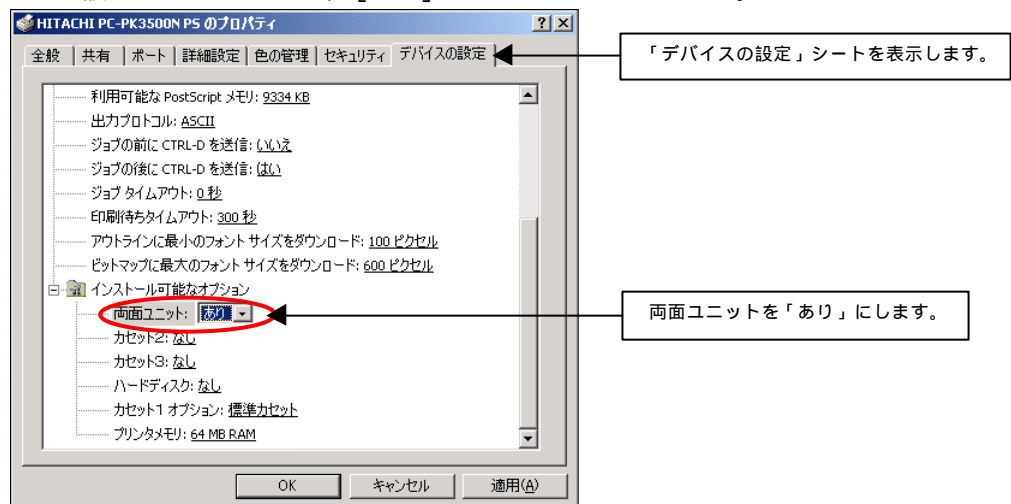
設定手順

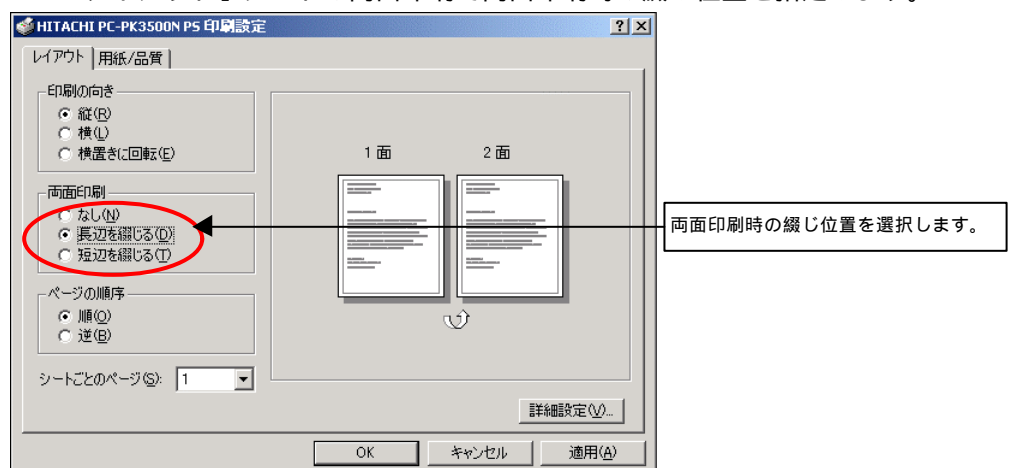
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートを表示し、「ｼｰﾄごとのﾍﾟｰｼﾞ」で設定するページ数を選択します。

●印刷方向が縦の場合（ポートレイト）

●印刷方向が横の場合（ランドスケープ）

3.4 両面印刷の設定

両面ユニットが追加されている場合に、両面印刷の設定を選択することができます。設定方法は｢なし｣、｢長辺を綴じる｣、｢短辺を綴じる｣の中から選択できます。

- ♦ 両面印刷を設定する前に、必ずプリンタアイコンのプロパティで「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「両面ユニット」の設定を「あり」にしてください。
- ♦ 両面印刷の設定で、「なし」は両面印刷を「しない」ことを意味します。

設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で両面ユニットの設定を「あり」にし、［OK］ボタンをクリックします。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
4. 「レイアウト」シートの両面印刷で両面印刷時の綴じ位置を指定します。

なし（片面印刷）　長辺を綴じる　短辺を綴じる

3.5 給紙方法の変更

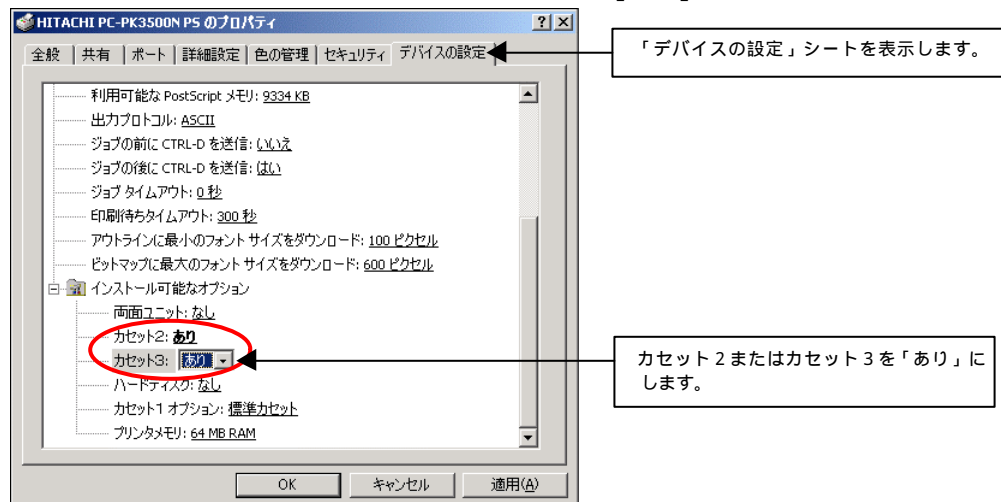
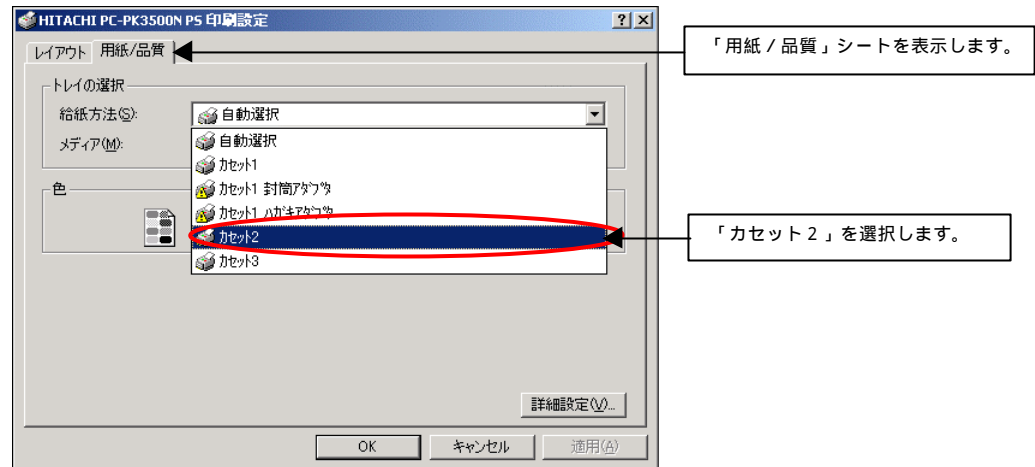
印刷するドキュメントをどの給紙部から出力するかを選択します。給紙方法は「自動選択」、「カセット１」、「カセット１　ハガキアダプタ」、「カセット２」、「カセット３」の中から選択します。

- 「カセット２」、「カセット３」、「カセット１　ハガキアダプタ」を設定する前に、必ずプリンタアイコンのプロパティで「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「カセット２」、「カセット３」の設定を「あり」、「カセット１ オプション」の設定を「ハガキアダプタ」にして下さい。
- 「自動選択」以外の特定のカセットを選択する場合は、必ず「自動カセット選択」を「オフ」にして下さい。詳しい設定方法は、第５章「3.19　自動カセット選択の設定」を参照して下さい。
- 「カセット１　封筒アダプタ」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

(1)　カセット２，カセット３を使用する場合

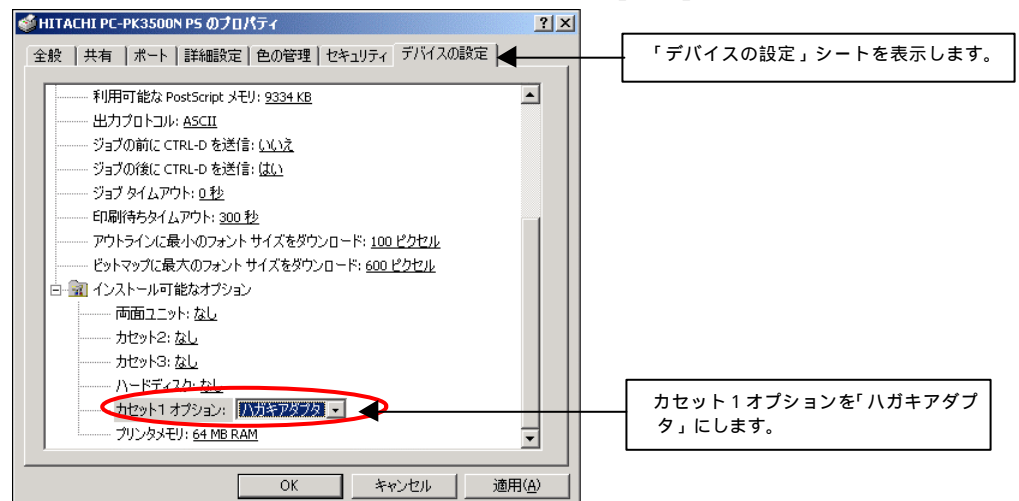
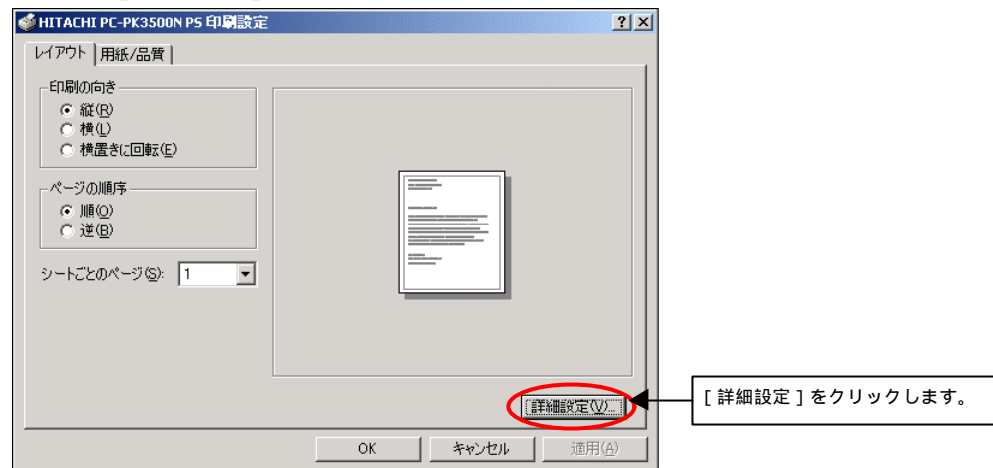
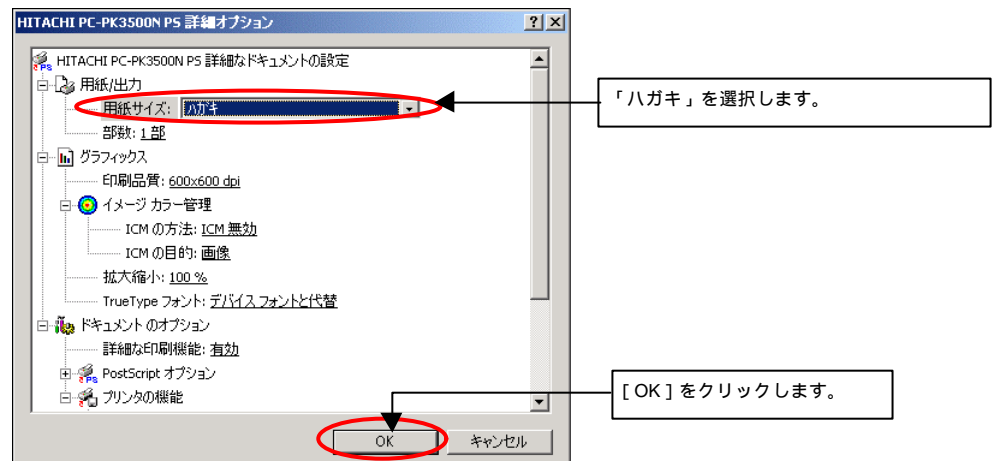
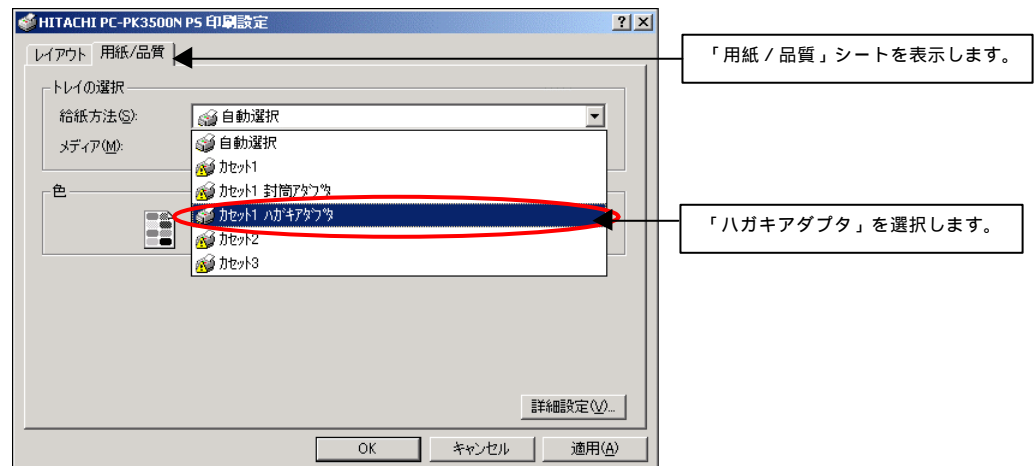
用紙サイズが「Letter」、「Legal」、「11×17」、「A3」、「A4」、「B4」、「B5-JIS」、「B5-ISO」のときに使用することができます。
使用する用紙をカセット２またはカセット３にセットします。

設定手順

1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「カセット２」または「カセット３」の設定を「あり」にし、［OK］ボタンをクリックします。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
4. 「用紙／品質」シートで給紙方法をカセット２またはカセット３を選択します。

(2)　ハガキアダプタを使用する場合

用紙サイズが「ハガキ」のときのみ使用することができます。

設定手順

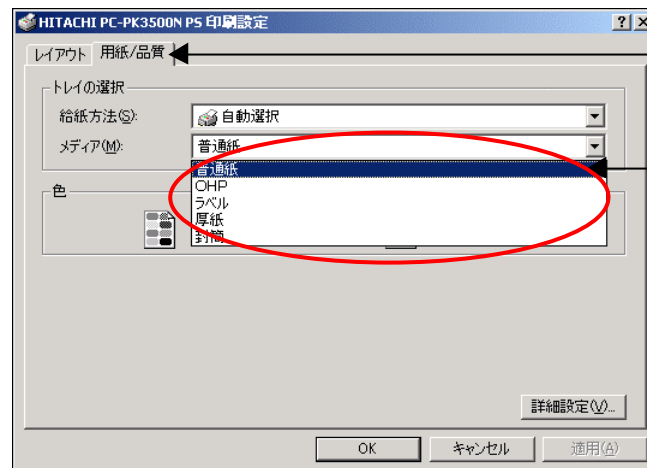
1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「カセット１オプション」設定を「ハガキアダプタ」にして［OK］ボタンをクリックします。

3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開いて、［詳細設定］ボタンをクリックします。

4. 用紙サイズをハガキに設定し、［OK］ボタンをクリックします。

5. 「用紙／品質」シートで給紙方法を「ハガキアダプタ」にします。

3.6 用紙種類の変更

印刷を行う用紙の種類を変えて印刷することができます。「普通紙」、「OHP」、「ラベル」、「厚紙」から選択します。

♦「封筒」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

設定手順

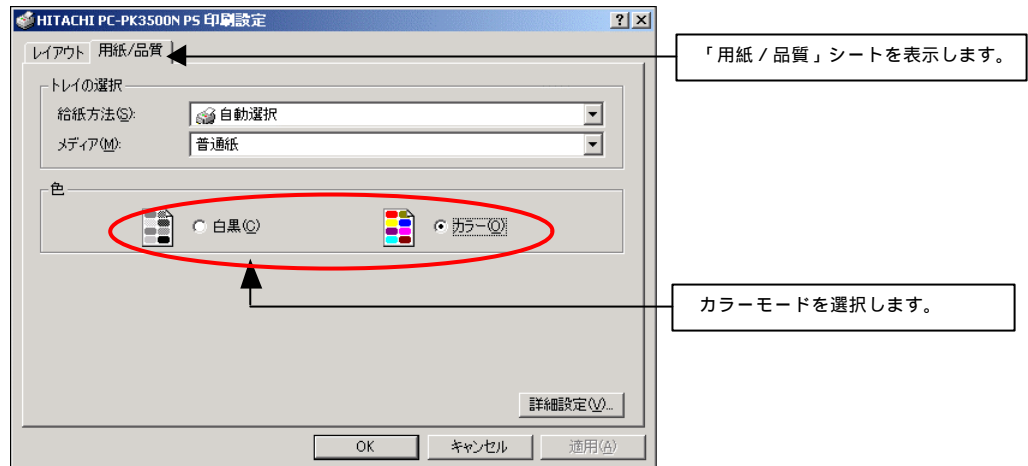
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

2. 「用紙／品質」シートの「メディア」で用紙種類を選択します。

♦「OHP」、「ラベル」、「厚紙」を指定すると、給紙方法の設定にかかわらず、カセット１から印刷されます。これらの用紙種類はカセット１に給紙して下さい。

3.7 色の設定

カラー出力するか、グレースケール出力するかを選択します。

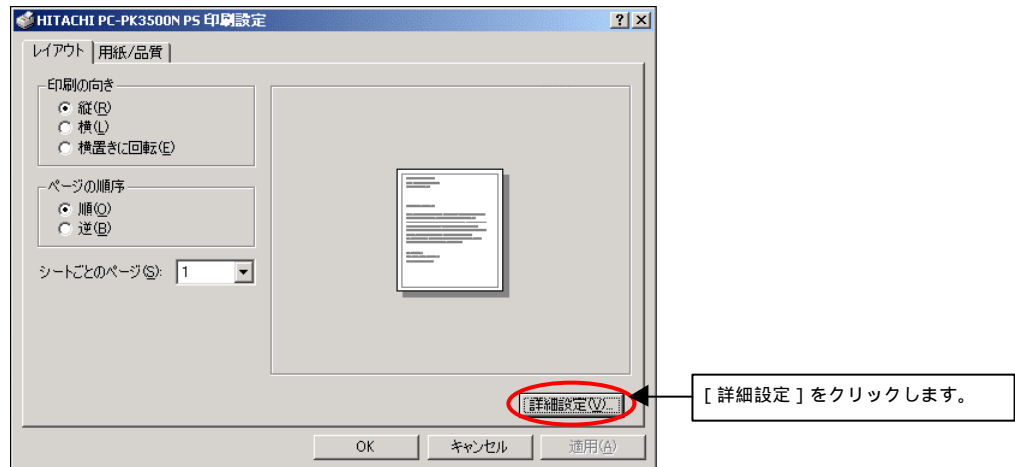
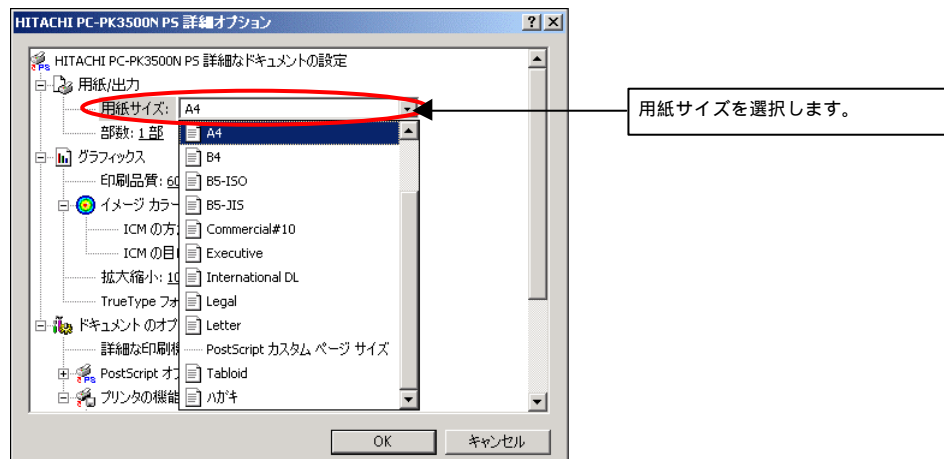
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「用紙/品質」シートで「白黒」または「カラー」を選択します。

◆ モノクロ印刷を行う場合は、必ず詳細オプション設定のカラーモードを「モノクロ」に設定して下さい。「色」で「白黒」を指定していても、カラーモードの設定が「カラー」に設定されていると、正しく印刷できないことがあります。
設定方法は、第５章「3.16 カラーモードの設定」を参照して下さい。

3.8 用紙サイズの設定

印刷する用紙サイズを設定します。本プリンタで印刷できる用紙サイズは、「Executive」、「Letter」、「Legal」、「A3」、「A3 ノビ」、「A4」、「11×17」、「B4」、「B5-JIS」、「B5-ISO」、「ハガキ」「PostScript カスタムページサイズ」です。

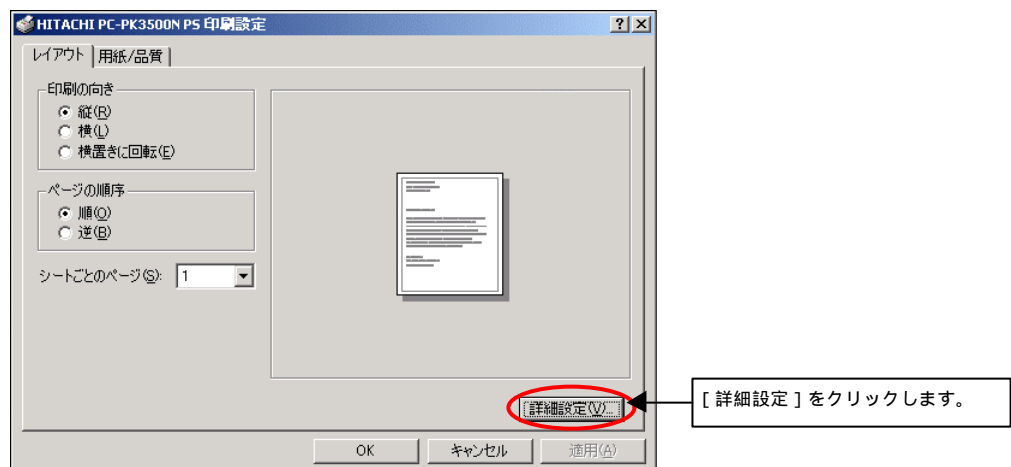
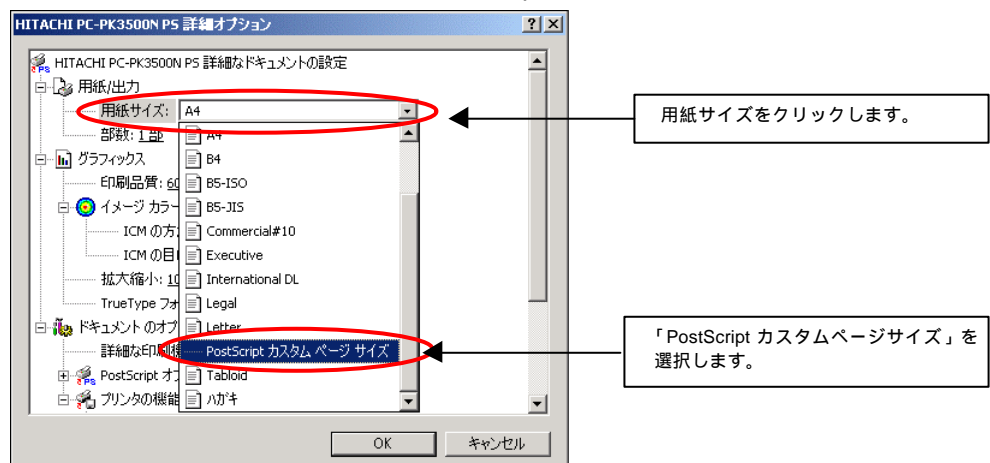
操作手順

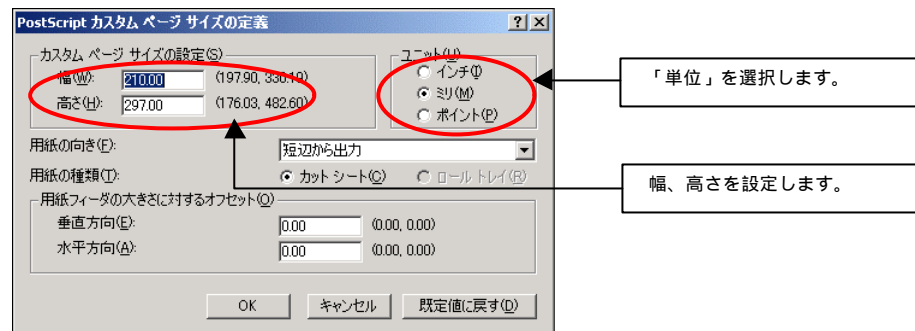
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 用紙サイズをクリックして、ドロップダウンリストボックスから選択します。

- 上記用紙サイズ以外の用紙を指定しないで下さい。上記以外の用紙サイズを指定した場合、上記サイズの中で一番近い用紙サイズで印刷されます。
- カセット２及びカセット３から Executive、A3 ノビ、ハガキ、PostScript カスタムページサイズのそれぞれの用紙サイズに印刷することはできません。
- ハガキサイズに印刷するためにはハガキアダプタが必要です。また給紙方法を「カセット１ ハガキアダプタ」に設定する必要があります。詳しい設定方法は、第５章「3.5 給紙方法の変更 (2)ハガキアダプタを使用する場合」を参照して下さい。
- 「Commercial #10」および「International DL」は、本プリンタでは使用できませんので、選択しないで下さい。

3.9 PostScript カスタムページサイズの設定

カスタムページサイズを定義します。「カスタムページサイズ設定」、「ユニット（インチ、ミリメータまたはポイント）」、「用紙の向き」、「用紙の種類」、「用紙フィーダの大きさに対するオフセット」を設定することができます。

操作手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 用紙サイズをクリックして、「PostScript カスタムページサイズ」を選択します。

▼「PostScript カスタムページサイズ定義」画面が表示されます。

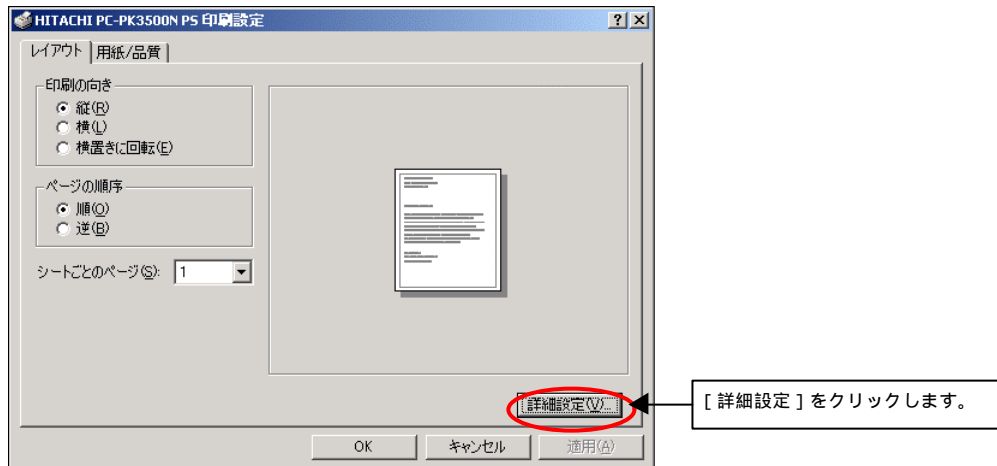
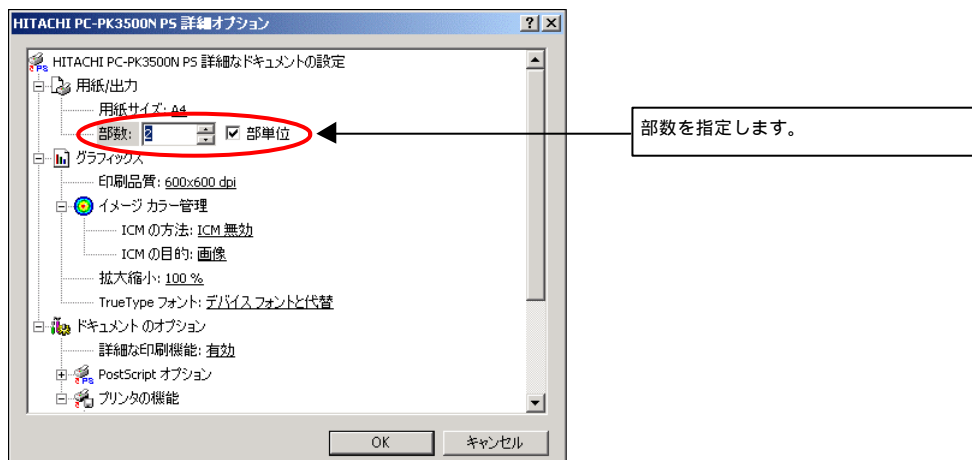
4. 「ユニット」を選択し、カスタムページサイズ設定で「幅」、「高さ」を設定します。

- 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の?ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。
- アプリケーションソフトの「ﾌｧｲﾙ」-「ﾍﾟｰｼﾞ設定」から PostScript カスタムページサイズを選択する場合は、必ずこの設定手順で設定してから、選択して下さい。

3.10 印刷部数の指定

印刷する部数を設定します。アプリケーションからも設定できます。設定範囲は1～999 部の範囲です。

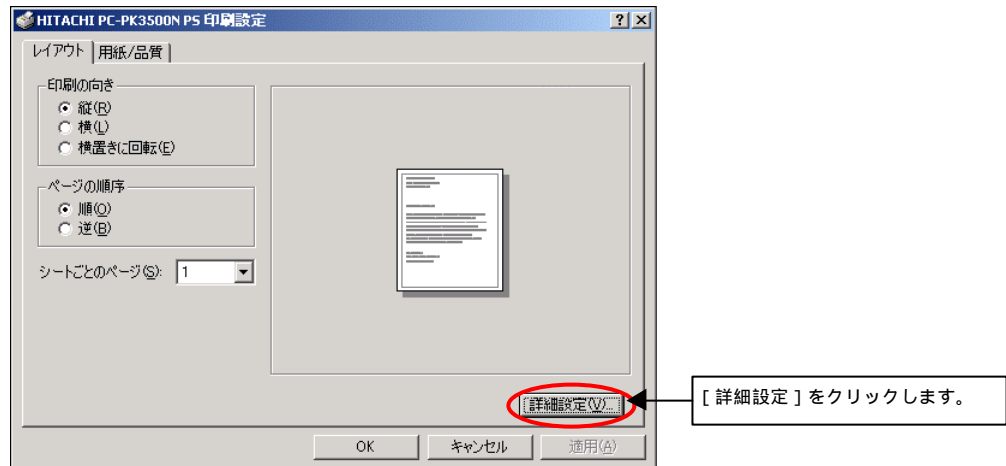
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 「部数」をクリックして、印刷する部数を指定します。

3.11 解像度の設定

印刷する解像度を選択します。解像度は 600×600dpi、1200×600dpi から選択します。

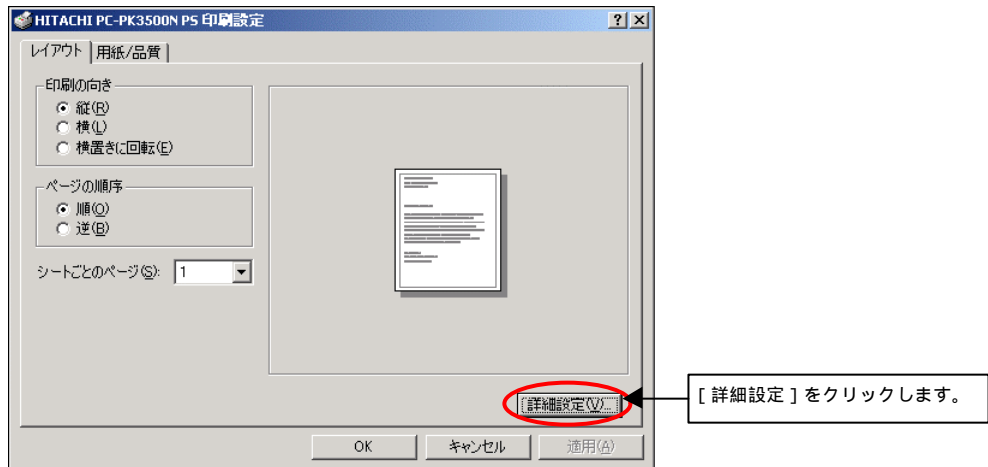
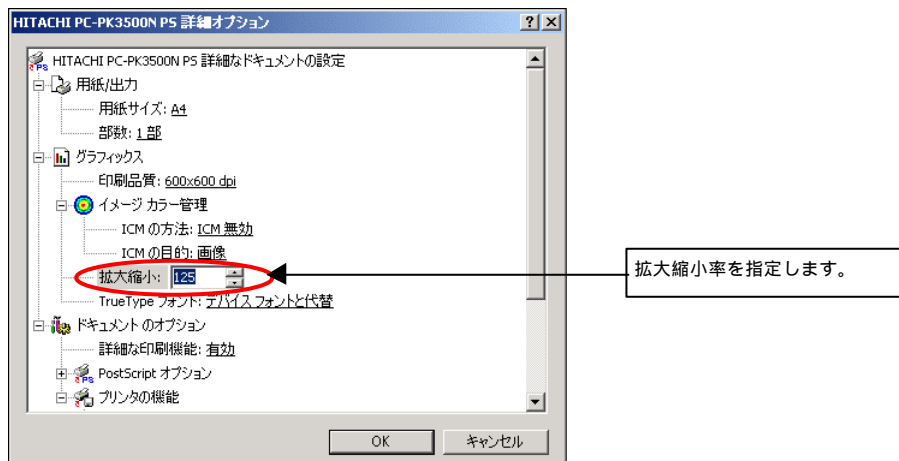
設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 「印刷品質」をクリックして、印刷品質を設定します。

3.12 拡大/縮小印刷

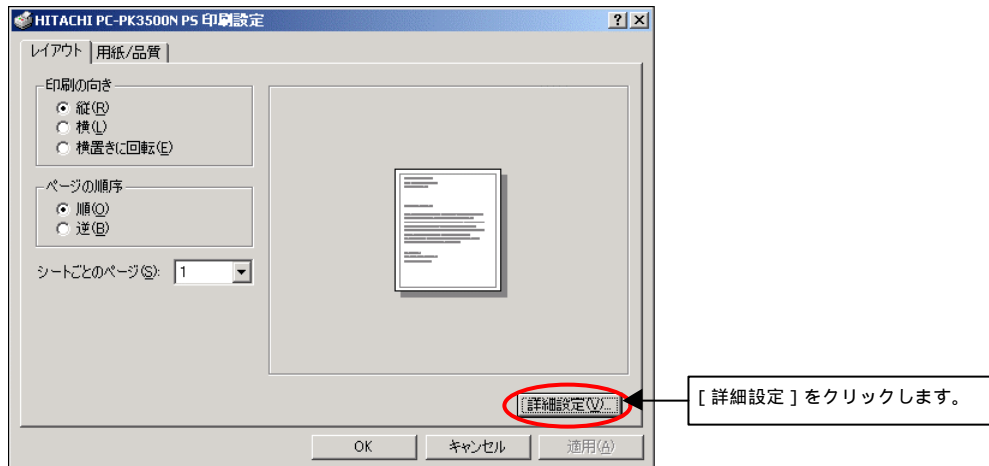
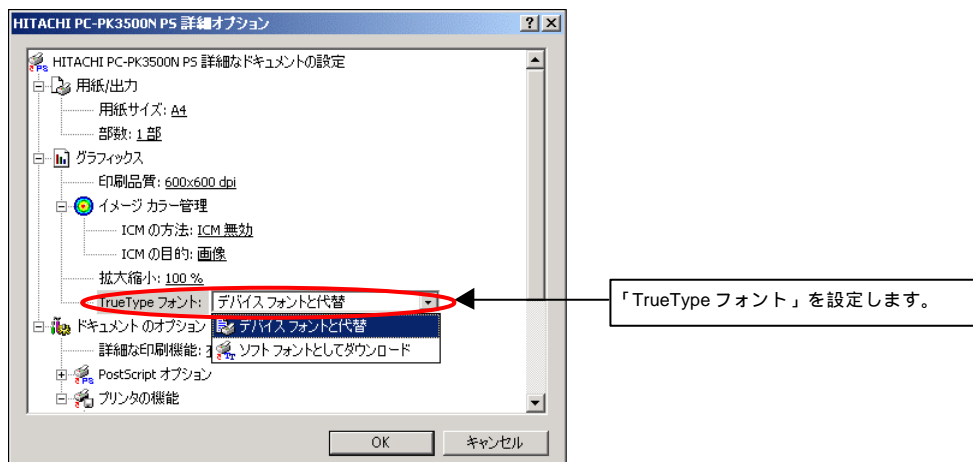
ドキュメントを拡大または縮小する割合を指定します。設定範囲は 1%～1000%で、任意の倍率で拡大縮小印刷を指定できます。ただし、拡大して印刷する場合は指定の用紙サイズに収まる範囲だけが印刷され、用紙サイズからはみ出した部分は印刷されません。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 「拡大縮小」をクリックして、で拡大縮小率を設定します。

3.13 フォントの設定

「デバイスフォントと代替」か「ソフトフォントとしてダウンロード」するかを指定します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙／品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 「TrueType ﾌｫﾝﾄ」をクリックして、TrueType ﾌｫﾝﾄを設定します。

●「デバイスフォントと代替」の場合

デフォルトでは TrueType フォントが入っている文書は、プリンタフォントを使って印刷されます。

●「ソフトフォントとしてダウンロード」の場合

プリントフォンタを使わずにダウンロード TrueType フォントを使って文書を印刷します。

♦ 各設定項目の内容は、ヘルプを参照して下さい。ヘルプはプロパティ右上の ? ボタンをクリックして、続けて調べたい項目をクリックすると説明が表示されます。また、各項目にカーソルを持っていき、右クリックしてもヘルプが参照できます。

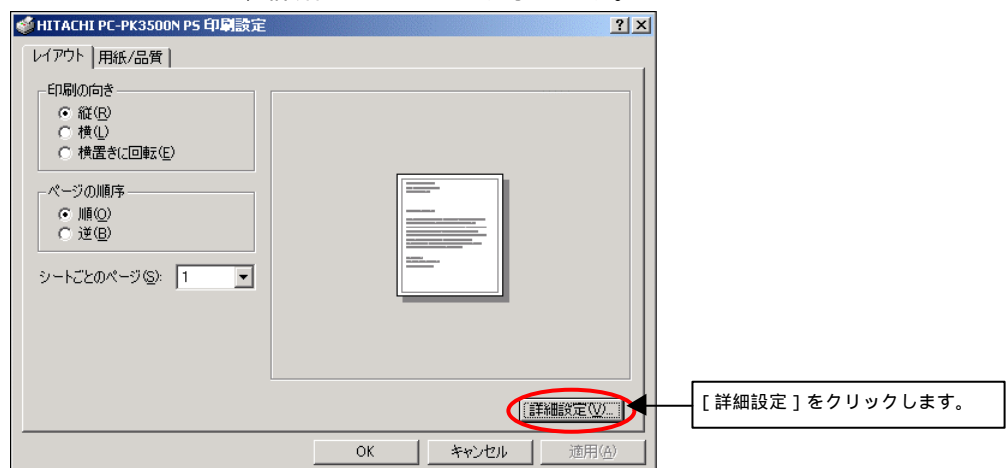
3.14 PostScript 出力オプションの設定

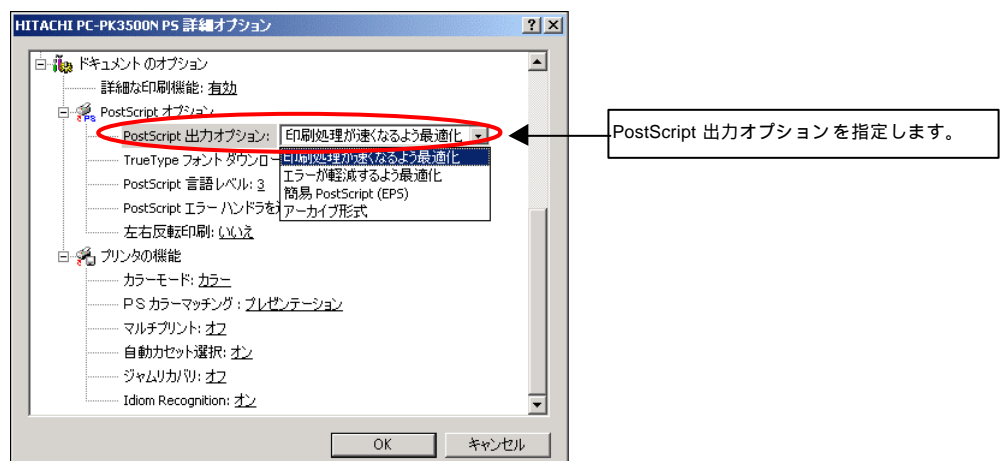
PostScript ファイルの出力形式を指定します。一般的には、「印刷処理が速くなるよう最適化」を使ってドキュメントを印刷します。

印刷処理が速くなるよう最適化	通常はこの設定で印刷します。
エラーが軽減するように最適	Adobe の文書構造規約(ADSC)に準拠したファイルを作成する場合に指定します。ドキュメントのそれぞれのページが、独立したオブジェクトになります。 この機能は、PostScript ファイルを作成し、別のプリンタで印刷するときに便利です。
簡易 PostScript(EPS)	別のプログラムで印刷するドキュメントに、イメージとしてファイルを埋め込む場合に指定します。
アーカイブ形式	後で使用できる PostScript ファイルが作成されます。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

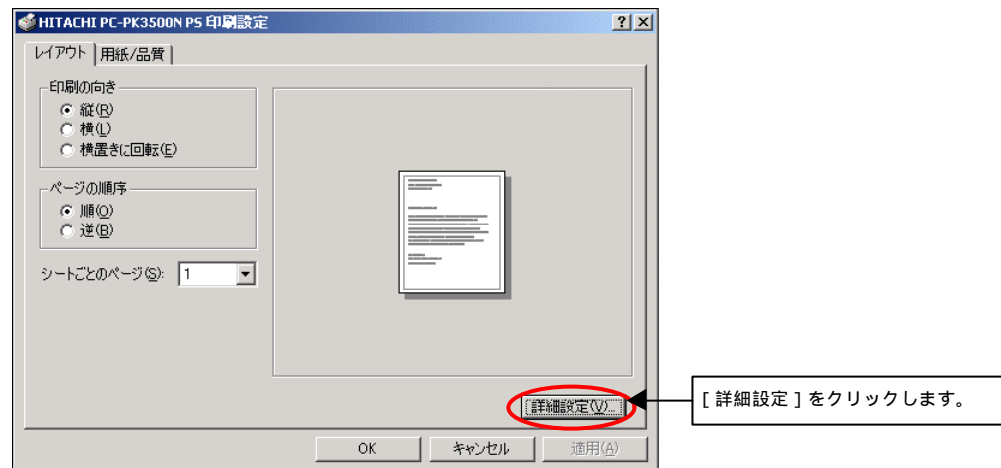
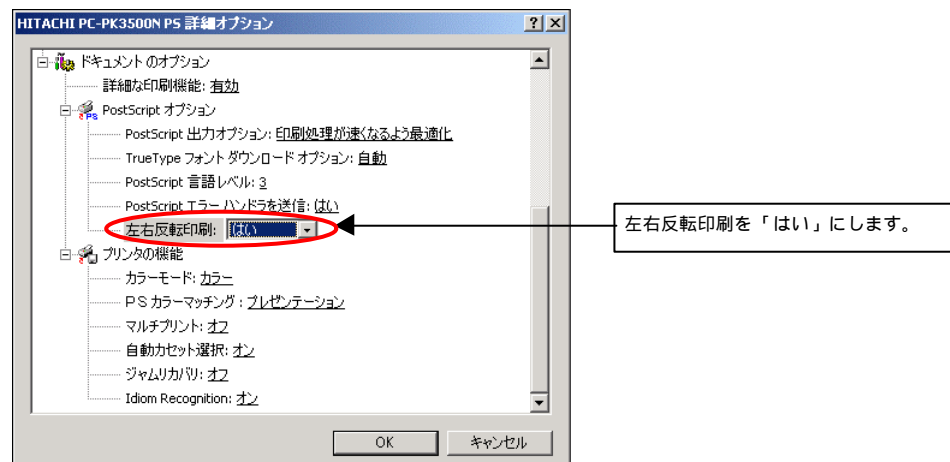
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. 「PostScript 出力オプション」をクリックして、で PostScript 出力方法を指定します。

メモ

◆通常、印刷を行う場合は「印刷処理が速くなるよう最適化」を選択してください。エラー印刷が発生する場合は、「エラーが軽減するよう最適化」を選択すると出力できる場合があります。

3.15 左右反転印刷

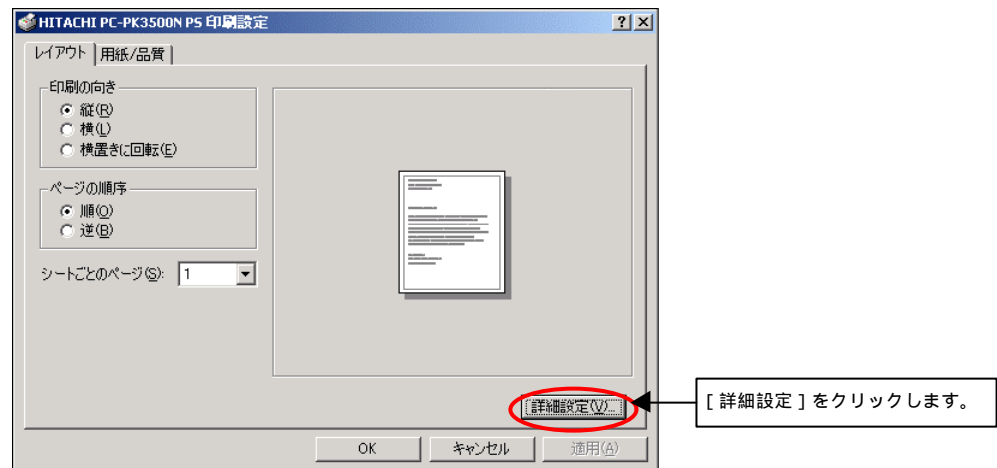
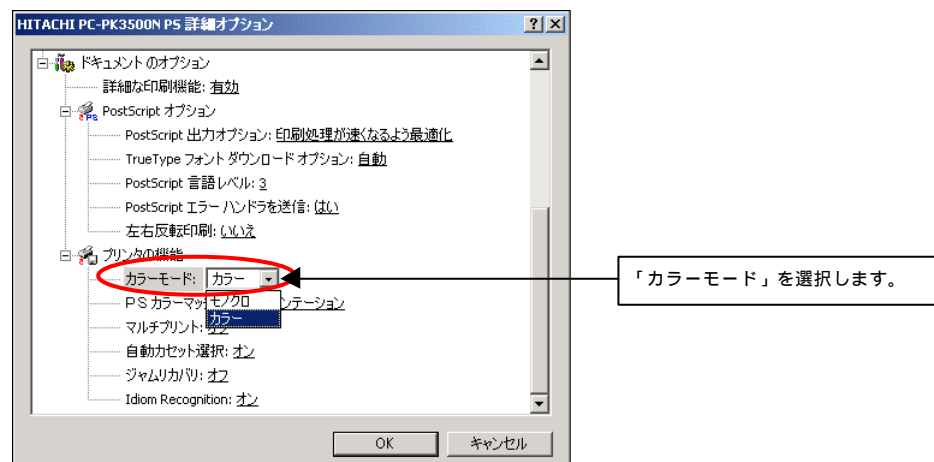
左右反転印刷は印刷を行うイメージを左右反転して印刷します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. PostScript オプションの「左右反転印刷」をクリックして設定します。

3.16 カラーモードの設定

カラーモードを選択します。印刷目的に合わせて「カラー」または「モノクロ」から選択します。

設定手順

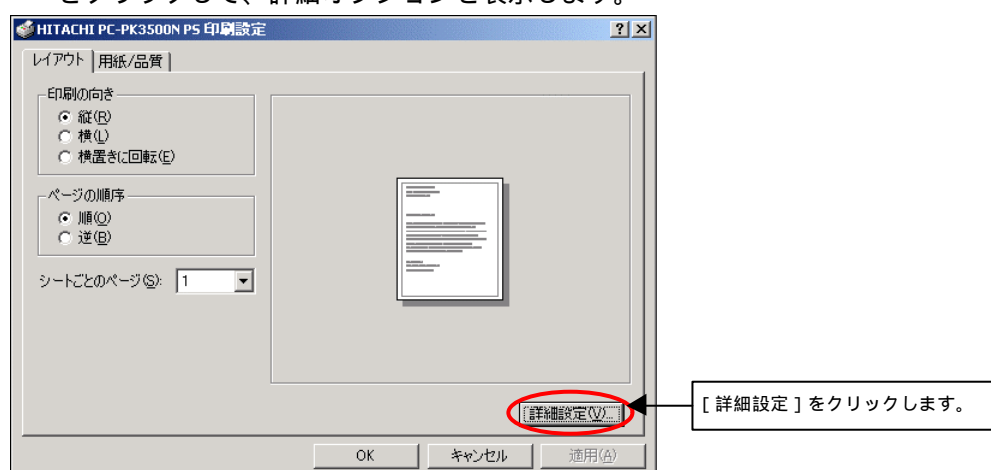
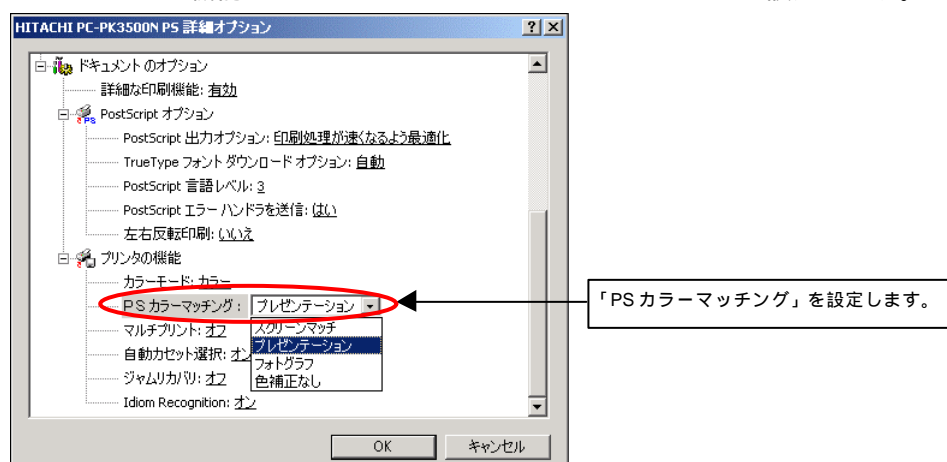
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. プリンタの機能の「カラーモード」をクリックして設定します。

3.17 PS カラーマッチングの設定

カラーデータを印刷する際に､目的に合わせて色補正の種類を選択することができます。その種類は「スクリーンマッチ」、「プレゼンテーション」、「フォトグラフ」、「色補正なし」から選択します。通常は「プレゼンテーション」に設定されています。

スクリーンマッチ	画面と印刷結果のそれぞれの色を、可能な限り近いものに再現します。
プレゼンテーション	鮮やかさを強調します。プレゼンテーション資料を印刷するときに最適です。
フォトグラフ	写真などの画像を印刷するときに最適です。
色補正なし	補正を必要としないときに使用します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. プリンタの機能の「PS カラーマッチング」をクリックして設定します。

3.18 マルチプリントの設定

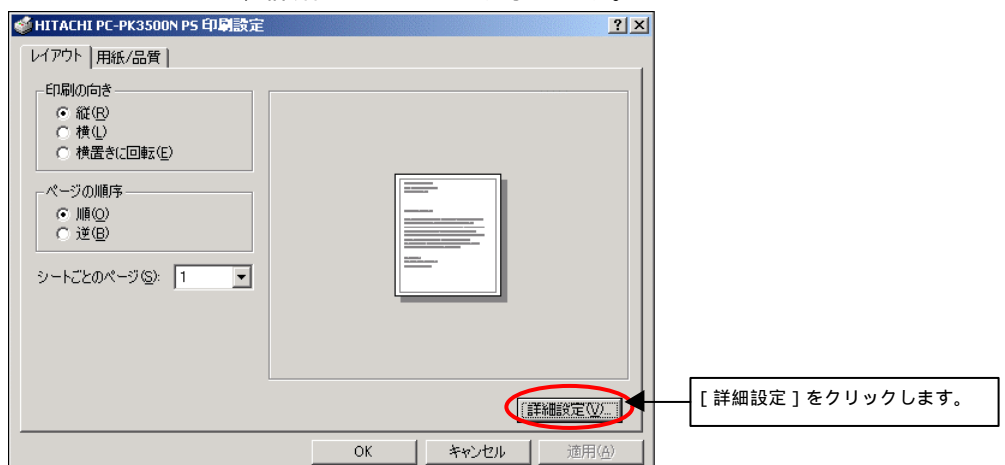
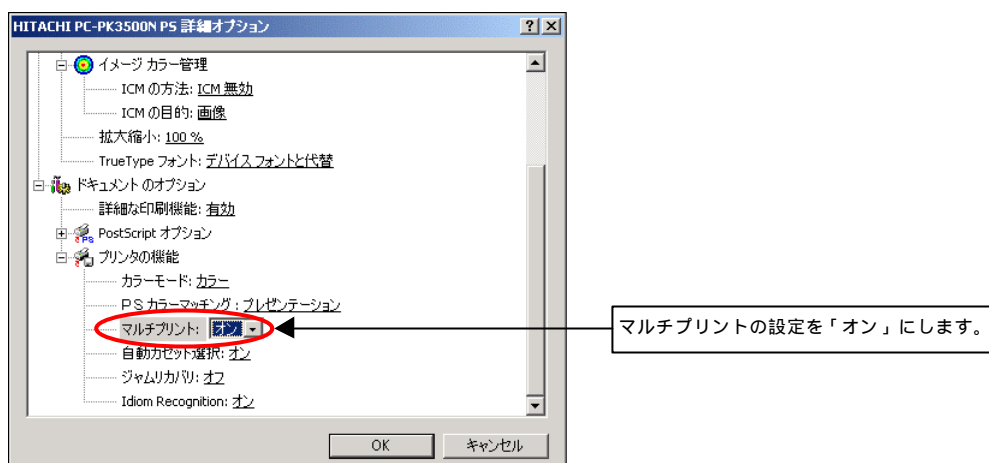
ハードディスクがプリンタに搭載されている場合に、マルチプリントを設定することができます。マルチプリントは２ページ以上のデータで部数が２部以上のときに有効です。

例えば、３ページデータを２部印刷する場合、通常１、１、２、２、３、３と印刷されますが、マルチプリントを「オン」に設定すると、１、２、３、１、２、３と印刷されます。

- ♦ マルチプリントを設定する前に、必ずプリンタアイコンのプロパティで「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「ハードディスク」の設定を「あり」に設定して下さい。
- ♦ マルチプリントを「オン」に設定する場合は、アプリケーションソフトの部単位印刷を「オフ」にして下さい。

設定手順

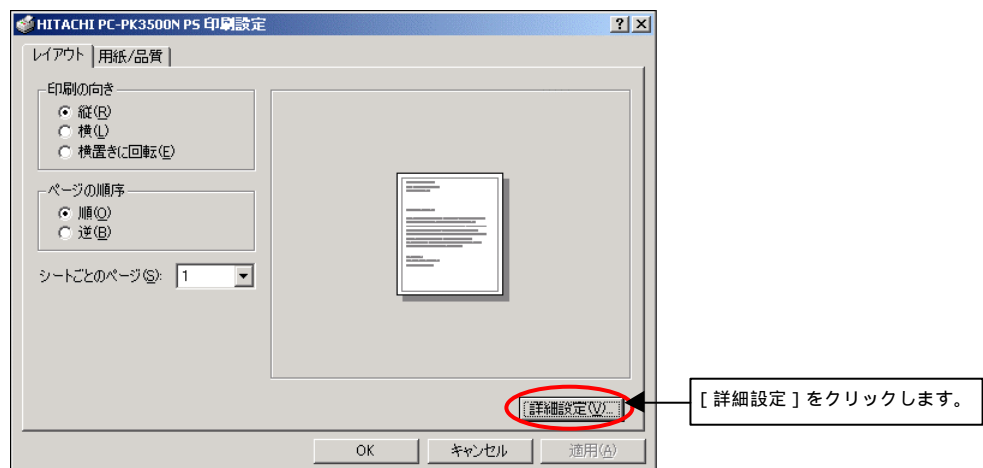
1. プリンタアイコンからプリンタのプロパティを開きます。
2. 「デバイスの設定」シートの「インストール可能なオプション」で「ハードディスク」の設定を「あり」にして、プロパティ画面を閉じます。

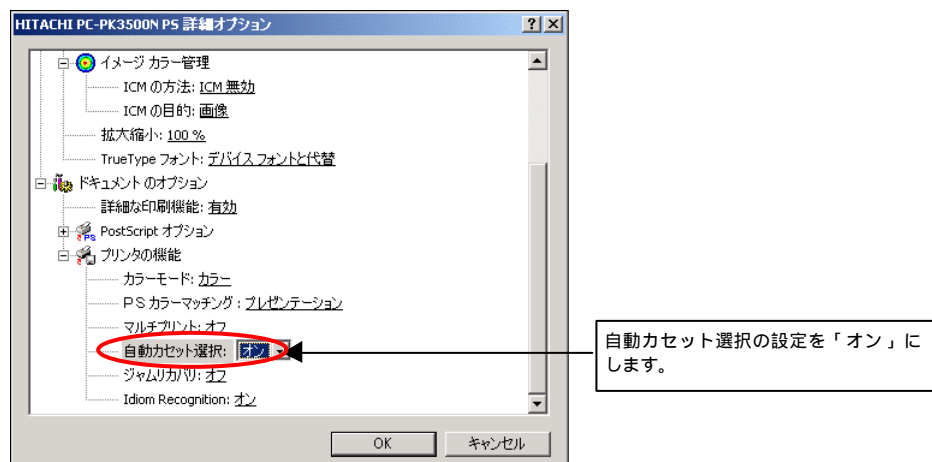
3. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
4. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

5.　プリンタの機能の「マルチプリント」をクリックして、マルチプリントの設定を「オン」にします。

3.19 自動カセット選択の設定

指定した用紙サイズが入っている用紙カセットを、自動で選択するかしないかを設定します。この設定は、カセット２または、カセット２およびカセット３の両方がプリンタに搭載されているときに有効です。

例えば、自動カセット選択が「オン」の場合、印刷中にカセット１が用紙切れになると、全カセットを検索し、カセット２に指定の用紙サイズがあればカセット２から、カセット２になければカセット３からという順番でカセットを自動検索して給紙します。
自動カセット選択が「オフ」の場合、自動検索は行いません。カセット１に用紙切れが発生した場合、指定した用紙サイズを補給するようプリンタパネルにメッセージが表示されます。

設定手順

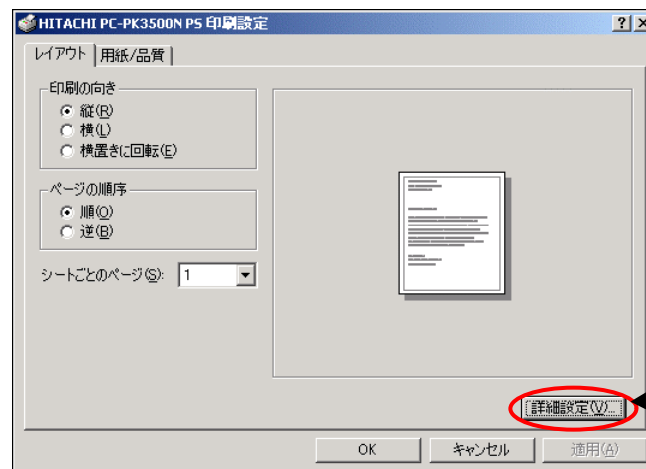
1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. プリンタの機能の「自動カセット選択」をクリックして、設定を「オン」にします。

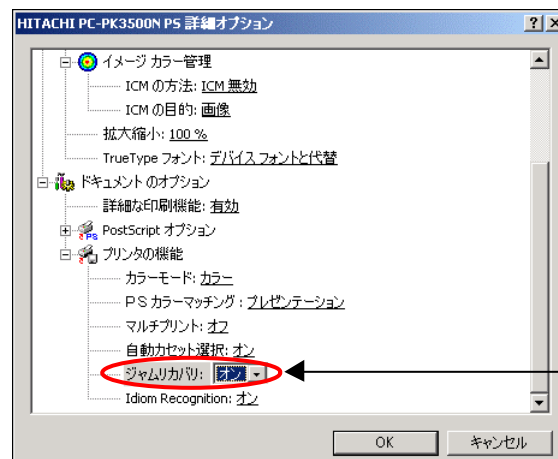
お願い

◆自動カセット選択を「オン」に設定する場合は、給紙方法で「自動選択」を選択して下さい。（第５章「3.5 給紙方法の変更」参照。）

3.20 ジャムリカバリの設定

用紙がつまったときに、紙づまりを起こしたページから印刷を開始するかしないかを設定します。「オフ」に設定した場合、紙づまりが起きたページが印刷されないことがあります。「オン」に設定した場合、紙づまりが起きたページから自動的に再印刷します。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。

2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. プリンタの機能の「ジャムリカバリ」をクリックして、「ジャムリカバリ」の設定を「オン」にします。

3.21 Idiom Recognition（熟語認識機能）の設定

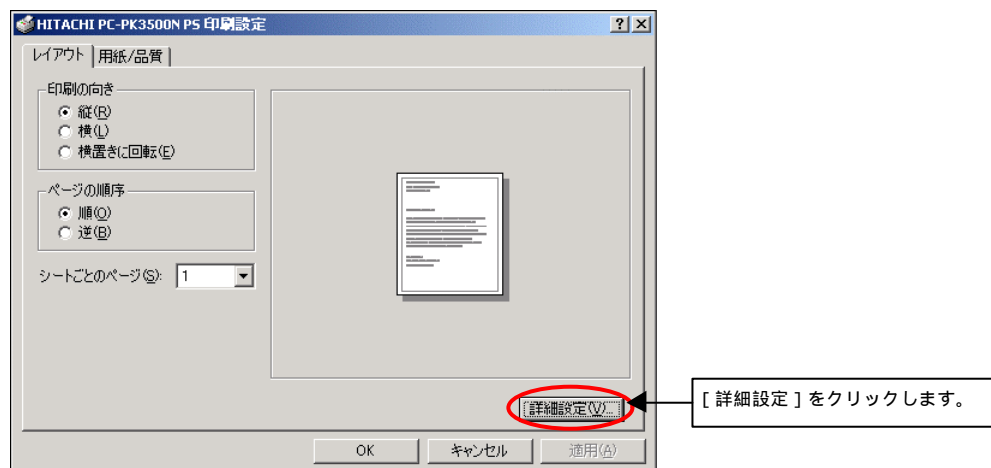
熟語認識機能を使用するか使用しないかを設定します。

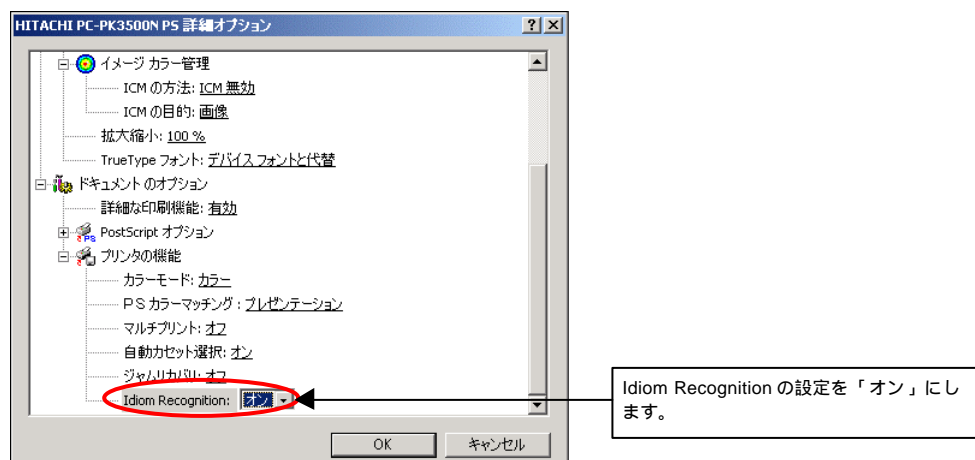
「オン」が設定されているときは、プリンタドライバが、どのアプリケーションソフトが起動しているか、またそのアプリケーションソフトがどんな命令を呼び出しているかを認識し、アプリケーションソフトのもつニュアンスを考慮し、それをできるだけ高速に印刷できるよう調整します。また、アプリケーションソフトが生成したデータを自動的に PostScript 3 の言語構造に変換し、プリントのクォリティとパフォーマンスを高めます。

「オフ」が設定されているときは、これらの調整・変換は行いません。

「オン」に設定して予期せぬ結果が生じた場合は、「オフ」にして下さい。

設定手順

1. プリンタの「ドキュメントのプロパティ」または「印刷設定ダイアログ」を開きます。
2. 「レイアウト」シートまたは「用紙/品質」シートを表示し、［詳細設定］ボタンをクリックして、詳細オプションを表示します。

3. プリンタの機能の「Idiom Recognition」をクリックして、設定を「オン」にします。

第６章

スクリーンフォントのインストール

第６章　スクリーンフォントのインストール

本プリンタには、標準で和文 2 フォントと欧文 136 フォントを搭載しています。プリンタドライバをインストールすることにより、すべてのフォントをお使いいただけますが、お使いのパソコンにスクリーンフォントをインストールすることで、パソコンのスクリーン上の表示と印刷結果を同じにすることができます。（推奨）

本プリンタに搭載されているフォントは、以下の２種類があります。

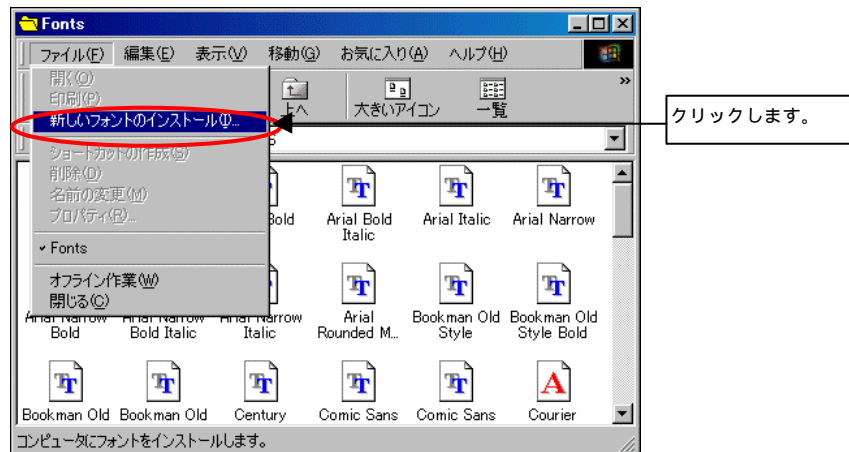
- TrueType フォント
- PostScript（Type1）フォント

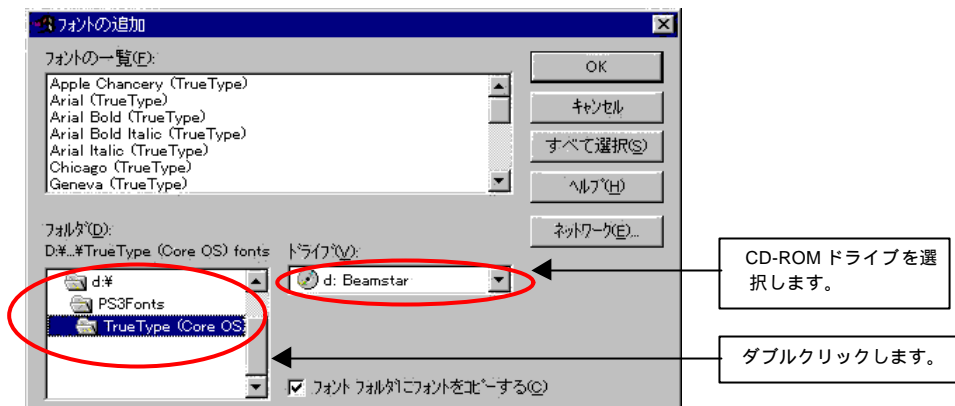
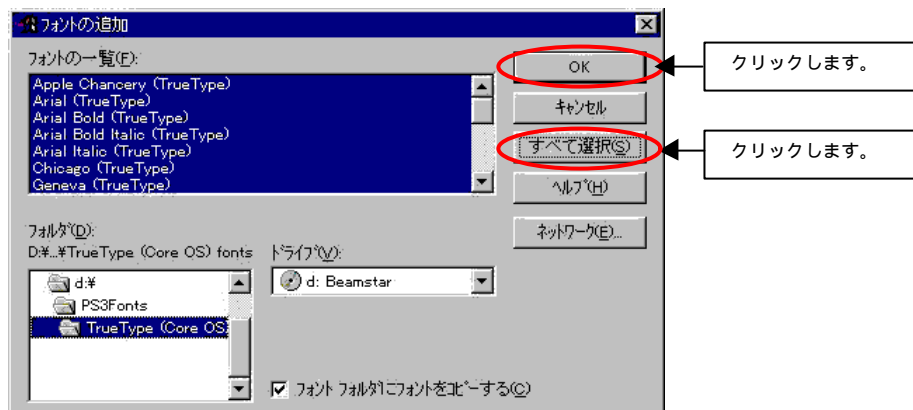
♦ スクリーンフォントをインストールしていない場合、システムにインストールされている既存のフォントの中から類似したフォントが割り当てられ、パソコンのスクリーンに表示されます。それにより、スクリーンの表示と印刷結果は異なります。

1．TrueType スクリーンフォントのインストール

パソコンに、TrueType スクリーンフォントをインストールします。

インストール手順

1. Windows95/98/Me/NT4.0/2000/XP を起動し、タスクバーのスタートから「ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ(P)」を開きます。
2. [ﾌｫﾝﾄ]アイコンを開きます。
3. 「Fonts」ダイアログボックスが表示されたら、「ﾌｧｲﾙ(F)」-「新しいﾌｫﾝﾄのｲﾝｽﾄｰﾙ(I)」を選択します。

4. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブ（ここでは D ドライブ＝CD-ROM ドライブ）にセットします。

5. CD-ROM をセットしたドライブを「ﾄﾞﾗｲﾌﾞ」のリストボックスから選択し、「ﾌｫﾝﾄ」の一覧から、「PS3Fonts」-「TrueType (Core OS) fonts」の順にダブルクリックします。

6. [すべて選択(S)]ボタンをクリックし、[OK]ボタンをクリックします。

＜以上で TrueType フォントのインストールは終了です。＞

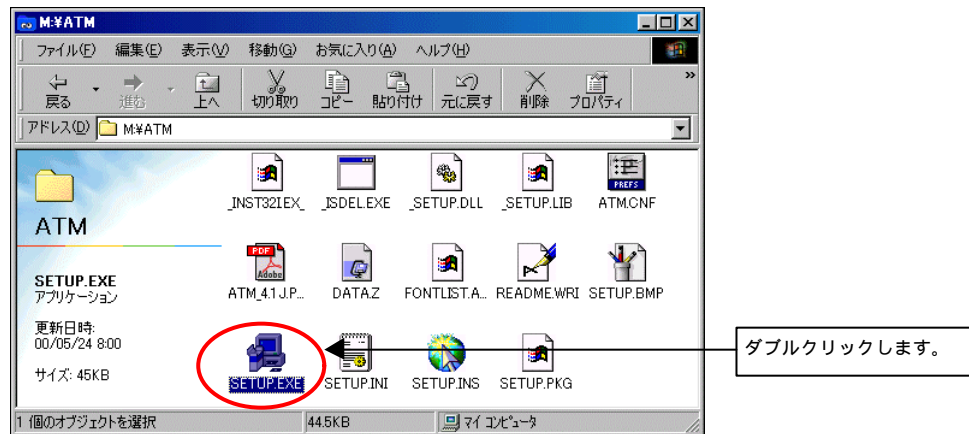
２．PostScript スクリーンフォントのインストール

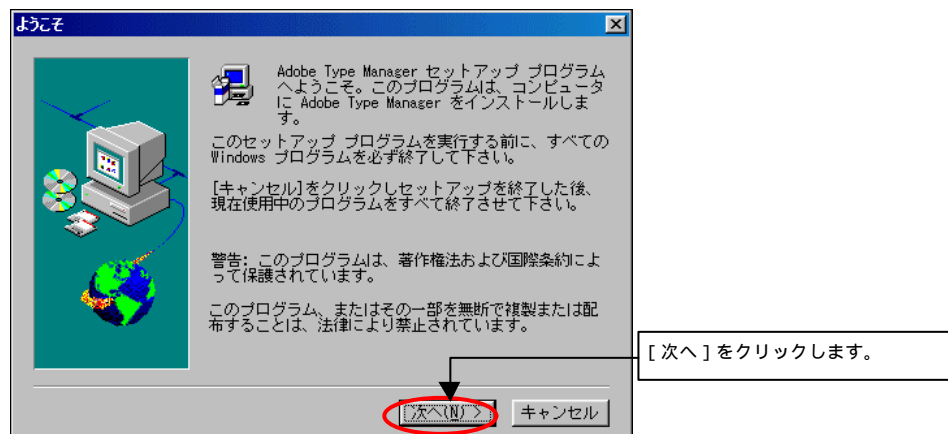
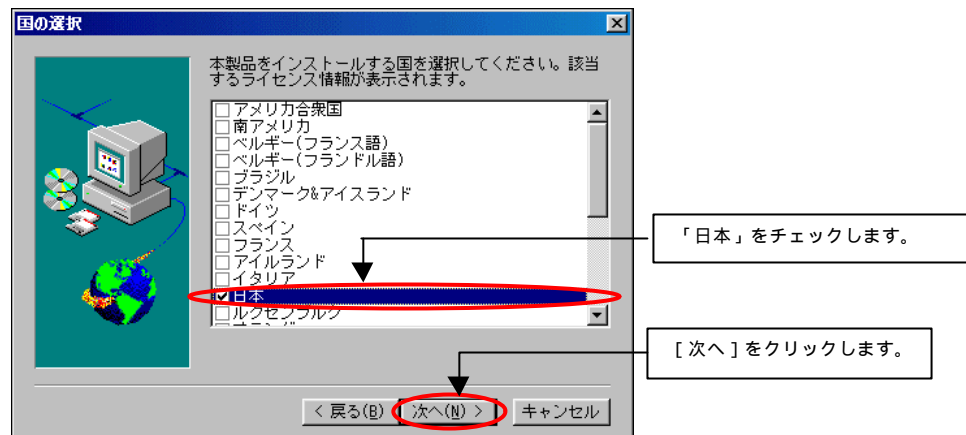
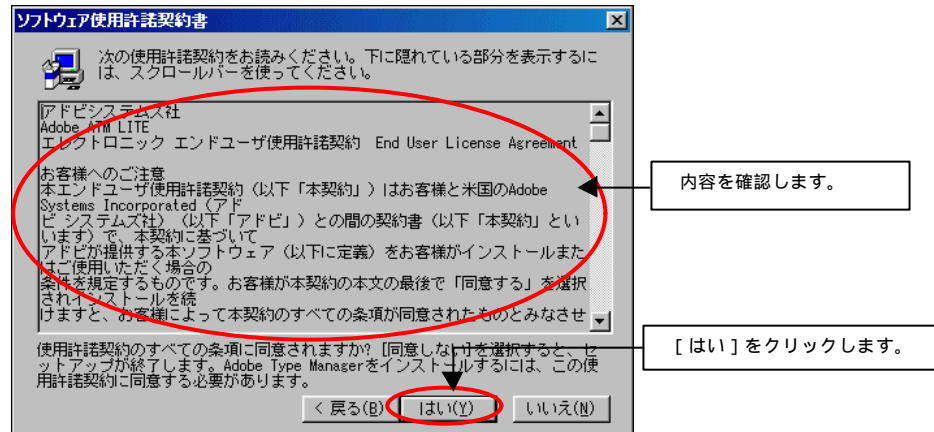
パソコンに、PostScript スクリーンフォントをインストールします。PostScript フォントをインストールするためには、Adobe Type Manager が必要になります。

♦ Adobe Type Manager の詳しい内容については、ユーザーガイド（ATM_4.1J.pdf）を参照して下さい。

(1)　Adobe Type Manager のインストール

インストール手順

1. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
2. CD-ROM 内の「ATM」フォルダを開き、「SETUP.EXE」をダブルクリックします。

▼Adobe Type Manager のインストールウィザードが起動します。

3. セットアップ画面が表示されますので、以降、手順に従いインストールを進めます。［次へ］ボタンをクリックします。

4. 本製品をインストールする国を選択あします。「日本」を選択し［次へ］ボタンをクリックします。

5. 「ソフトウェアの使用許諾契約書」が表示されます。内容をよくお読みになり、［はい］ボタンをクリックします。

6. ユーザ情報を入力します。名前、会社名を入力後、［次へ］ボタンをクリックします。

7. **ユーザ情報の確認ダイアログが表示されます。確認後、［はい］をクリックします。**

8. **インストールするコンポーネントおよびインストール先ディレクトリを指定します。「プログラムファイル」を選択し［次へ］ボタンをクリックします。**

9. **インストールするプログラムフォルダが表示されます。確認後、［次へ］ボタンをクリックします。**

10. インストールするディレクトリ、プログラムフォルダの確認ダイアログが表示されます。確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

▼インストールが始まります。

11. インストールの完了ダイアログが表示されます。［終了］ボタンをクリックします。Adobe Type Manager Read Me ファイルの表示」がチェックされている場合は［終了］ボタンをクリック後、Read Me ファイルが表示されます。

12. プログラムを使用するには、コンピュータを再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、［終了］ボタンをクリックします。

＜以上で Adobe Type Manager のインストールは終了です。＞

(2)　PostScript スクリーンフォントの追加

追加手順

1. タスクバーのスタートから「プログラム」または「すべてのプログラム」－「Adobe」－「Adobe Type Manager」－「Adobe Type Manager4.1」をクリックし、Adobe Type Manager を起動します。
2. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
3. 「追加元(S)」を「ﾌｫﾝﾄ参照」に設定し、CD-ROM 内の「PS3Fonts」-「Type 1 Fonts」の順にフォルダを開きます。

4. インストールするフォントを選択し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

5. 追加状況が表示されます。

6.　「追加先(D)」へフォントが追加されます。

＜以上で PostScript スクリーンフォントの追加は終了です。＞

7. ユーザ情報の確認ダイアログが表示されます。確認後、［はい］をクリックします。

8. インストールするコンポーネントおよびインストール先ディレクトリを指定します。「プログラムファイル」を選択し［次へ］ボタンをクリックします。

9. インストールするプログラムフォルダが表示されます。確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

10. インストールするディレクトリ、プログラムフォルダの確認ダイアログが表示されます。確認後、［次へ］ボタンをクリックします。

▼インストールが始まります。

11. インストールの完了ダイアログが表示されます。［終了］ボタンをクリックします。Adobe Type Manager Read Me ファイルの表示」がチェックされている場合は［終了］ボタンをクリック後、Read Me ファイルが表示されます。

12. プログラムを使用するには、コンピュータを再起動する必要があります。「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択し、［終了］ボタンをクリックします。

＜以上で Adobe Type Manager のインストールは終了です。＞

(2)　PostScript スクリーンフォントの追加

追加手順

1. タスクバーのスタートから「プログラム」または「すべてのプログラム」－「Adobe」－「Adobe Type Manager」－「Adobe Type Manager4.1」をクリックし、Adobe Type Manager を起動します。
2. 本プリンタドライバの CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。
3. 「追加元(S)」を「ﾌｫﾝﾄ参照」に設定し、CD-ROM 内の「PS3Fonts」-「Type 1 Fonts」の順にフォルダを開きます。

4. インストールするフォントを選択し、「追加(A)」ボタンをクリックします。

5. 追加状況が表示されます。

6.　「追加先(D)」へフォントが追加されます。

＜以上で PostScript スクリーンフォントの追加は終了です。＞

第７章

プリンタドライバの削除

第７章　プリンタドライバの削除

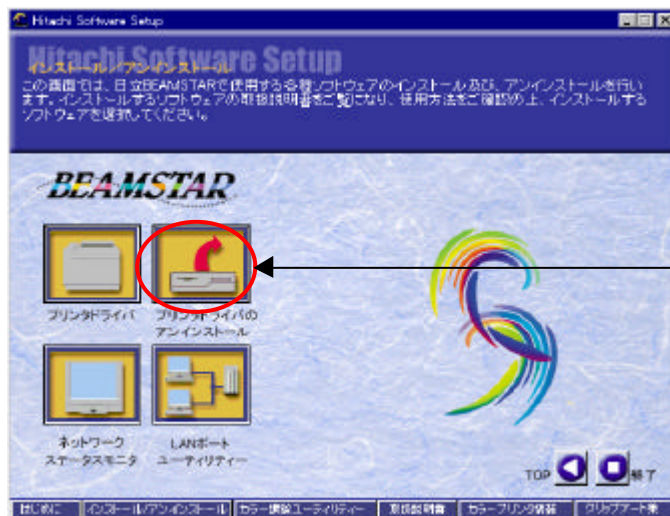
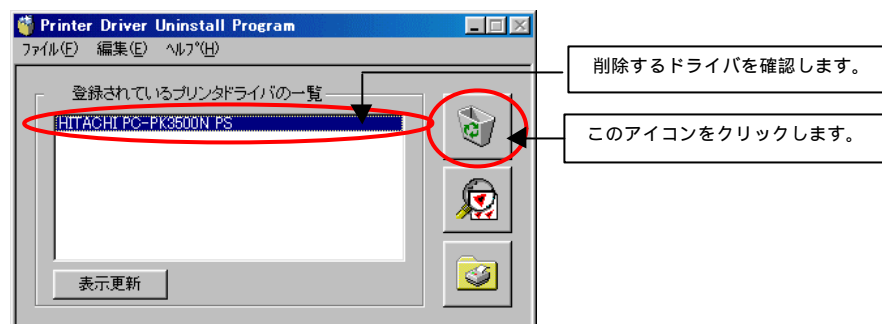
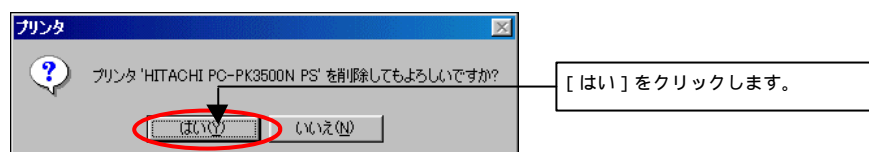
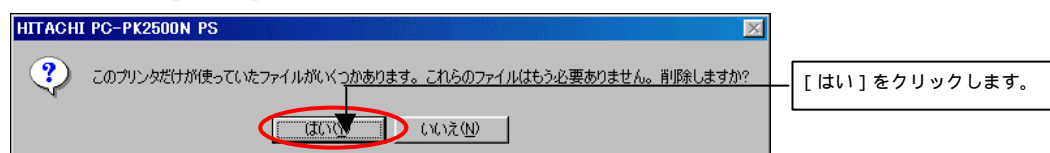
日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると自動的にソフトウェアセットアップ画面を表示しますので、メニューに従いドライバを削除してください。

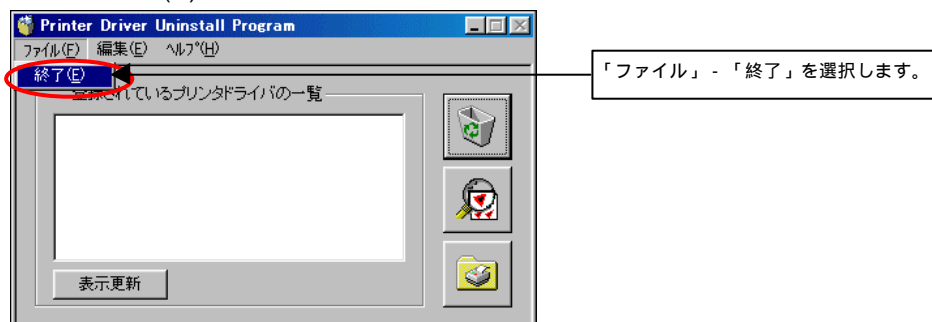
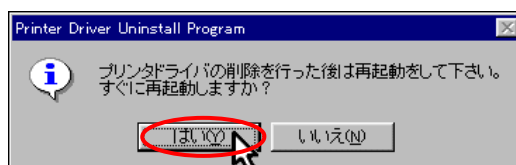
♦ WindowsNT4.0、Windows2000 または WindowsXP でプリンタドライバの削除を行うためには、アドミニストレータの権限が必要です。

操作手順

1. 日立ソフトウェアセットアップの CD-ROM を CD-ROM ドライブへセットすると、以下の画面を表示します。［インストール／アンインストール］ボタンをクリックします。

♦ 自動的にセットアップメニューが表示されない場合は、CD-ROM 内のルートディレクトリにある「Autorun.exe」をダブルクリックしてセットアップメニューを起動させてください。

2. ［プリンタドライバのアンインストール］ボタンをクリックします。

3. 「登録されているプリンタドライバの一覧」から「HITACHI PC-PK3500N PS」を選択し、ゴミ箱のボタンをクリックします。

4. プリンタ削除の確認メッセージが表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックします。

5. 本プリンタが使用していた不要なファイルを削除するメッセージが表示された場合は、［はい］をクリックします。

6. 指定したプリンタドライバが一覧から削除されたことを確認し、「ファイル(F)」－「終了(E)」を選択し、画面を閉じます。

お願い

♦ 下記メッセージが表示される場合がありますので「はい(Y)」を選択して、システムを再起動してください。

第８章

アプリケーション別設定方法

第８章　アプリケーション別設定方法

(1) Adobe Illustrator7.0/8.0J

「ファイル」メニューの「書類設定」で「プリンタの初期設定値を使う」を ON にしてください。
OFF にして印刷すると、印刷結果が粗くなることがあります。

(2) Adobe Illustrator9.0J

「ファイル」メニューの「書類設定」「プリント・データ書き出し」パネルで、「プリンタの初期設定値を使う」を ON にしてください。
OFF にして印刷すると、印刷結果が粗くなることがあります。

(3) Adobe Photoshop5.0/5.5/6.0J

「ファイル」メニューの「用紙設定」「Adobe Photoshop5.0」パネル内の、「ハーフトーンスクリーン」をクリックし、「プリンタの初期設定値を使う」を ON にしてください。
OFF にして印刷すると、印刷結果が粗くなることがあります。

(4) QuarkXPress4.0/4.1J

１．「ファイル」メニューの「印刷」「出力」パネルで「ハーフトーン」を「プリンタ」にしてください。
「計算値」にすると、印刷結果が粗くなることがあります。

２．「ファイル」メニューの「印刷」「出力」パネル内の解像度は指定できません。
「ファイル」メニューの「印刷」で「プリンタ」を選択し、「プリンタ固有機能」パネル内の「Resolution」で選択してください。

(5) Microsoft Word での印刷

用紙サイズを A4 にして印刷しても、Letter で印刷されることがあります。このときは、「印刷」－「オプション」を選択して、印刷オプションの「基本の用紙サイズ（A4/ﾚﾀｰ）に合わせて自動調整する」のチェックをはずして印刷して下さい。

(6) Corel Presentation 7.0

Corel Presentation 7.0 から印刷するとき、解像度の設定をアプリケーションソフト上の設定とプリンタドライバ上の設定を同じにして下さい。異なっていた場合、正しく印刷できないことがあります。

第９章

注意事項

第９章　注意事項

ここでは、本ドライバの使用時における、注意事項を示します。

(1) マルチプリントの設定

プリンタにハードディスクが搭載されていないときに、マルチプリントを「オン」に設定すると、複数部印刷ができません。プリンタにハードディスクが搭載されていない場合は、デバイスオプションシートの追加オプションにてハードディスクの設定を必ず「なし」にして下さい。

(2) アプリケーションソフト上でのカセット２及びカセット３の指定

アプリケーションソフトによっては、オプションの設定でカセット２またはカセット３の設定を「なし」にしても、ページ設定にカセット２またはカセット３が表示されることがあります。「なし」の設定で、アプリケーションソフト上からカセット２またはカセット３を指定して印刷すると、プリンタは自動選択トレイと自動的に判断します。

(3) 自動カセット選択の設定

自動カセット選択が「オフ」に設定されているときは、給紙方法が「自動選択トレイ」の指定でも、全トレイ検索は行われません。

(4) サイズ指定用紙（Windows95/98/Me）及び
カスタムページサイズ（Windows NT4.0/2000/XP）

カセット２及びカセット３からはサイズ指定用紙またはカスタムページサイズに印刷することはできません。カセット２またはカセット３を指定しても、サイズ指定用紙またはカスタムページサイズを選択することができますので、ご注意下さい。

(5) 「デフォルトに戻す」について（Windows95/98/Me）

「余白…」と「ユーザ定義…」の設定にも各々「デフォルトに戻す」ボタンがありますが、用紙シートの「デフォルトに戻す」ボタンをクリックすると、「余白…」と「ユーザ定義…」の設定も一括でデフォルト値に戻ります。

(6) ユーザ定義用紙（Windows95/98/Me）

ユーザ定義用紙ダイアログボックス内にある「横置き」をチェックすると、「幅」と「長さ」の上下限の値は入れ替わりますが、実際にボックス内に入力されている値は入れ替わりません。

(7) 用紙の種類と給紙方法

プリンタドライバ上で「普通紙」以外の用紙種類を選択しても、アプリケーションソフトのページ設定で「カセット２」または「カセット３」を選択することができますが、実際には印刷することができません。このとき、プリンタは「自動選択トレイ」と自動的に判断して、カセット１に指定の用紙種類を要求します。（ただし、要求するのは、OHP のときのみです。）

(8) 出力プロトコル（WindowsNT4.0/2000/XP）

出力プロトコルを「バイナリ」に設定して印刷すると、正しく印刷できないことがあります。出力プロトコルは、必ず「ASCII」に設定して印刷して下さい。

(9) モノクロ印刷（Windows NT 4.0）

モノクロ印刷をするときは、「カラーモード」で「モノクロ」を指定して印刷して下さい。「色合い」で「モノクロ」を指定して印刷すると、正しく印刷できないことがあります。

(10) 使用可能プリンタ

本ドライバは、PC-PK3500N でのみ使用可能です。他の型番のプリンタでは使用できません。

(11) プリンタドライバの機能設定

Lotus Freelance 97、Corel PrintHouse を使用して印刷をするときは、プリンタアイコンからプリンタドライバのプロパティを開いて、機能の設定を行って下さい。アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いて、機能の設定を行うと、設定が有効にならない場合があります。

(12) Microsoft Word（Windows NT4.0/2000/XP）

コントロールパネルからのプリンタのプロパティで設定した PostScript カスタムページサイズの幅と高さの値は、MicrosoftWord では設定が正しく反映されません。

(13) PostScript カスタムページ（Windows XP）

幅を高さより長く設定すると、176 ㎜以上 198 ㎜未満の範囲で高さの設定ができなくなります。